

# 北方圏

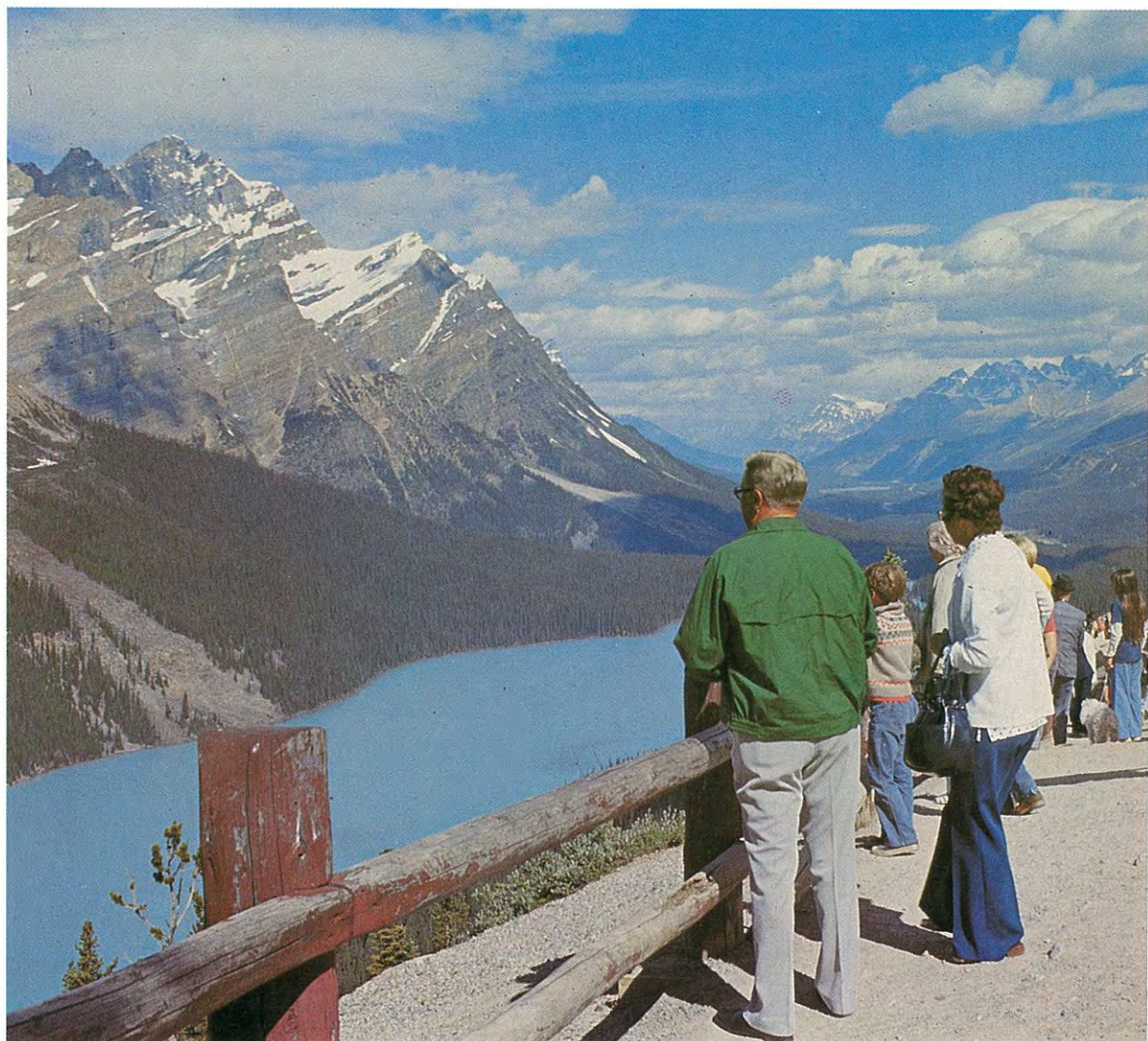
SPRING  
Vol. 23

〈座談会〉新発足した「北方圏センター」に期待する…!

北国の新しい生活を考える—北方圏セミナー誌上録音—

グラビア 北欧の春 / 北方圏各地からの「たより」

北海道から世界に飛びたつ…千歳空港を国際空港へ



社団法人・北方圏センター



## 北 欧 の 春

北欧の春は急ピッチでやって来る。二月半ばからは月に二時間半以上も日脚を伸ばし、半年以上北国を冷たく、重苦しく支配し続けて来た暗黒はやがて光の世界に座を譲る。そして、シラカバの淡い若葉が「ネズミの耳」ほどの大ききさになると春はもう本番、すべてがはみ出し、小鳥たちは終日音楽を奏で、理屈っぽいノルウェー人は陽気になり、口数の少ないフィンランド人も舌の回転がよくなる。また、すべてが生気を取り戻した春は祭りのシーズン。スウェーデン人は眠さを忘れてメイポールのもとで踊り明かす。しかし、ハイライトはやはり夏至祭。これを境に人々は野、山、公園へと足を向け、降り注ぐ太陽に体を温め、自然を満喫する。



豊かな北海道の  
明日を願って  
電源開発をすすめています

 **北海道電力**



②



⑤



⑥

①②ヘルシンキの白夜祭

③スウェーデンの警備兵

④スウェーデンの春まつりの楽隊

⑤朝市の娘さん(ヘルシンキ)

⑥⑦⑧ヘルシンキの娘さんたち

⑨春まつりでフォークソングを聴く人たち



③



④



⑦



⑧



⑨



▲スウェーデンの公園でひなたぼっこ



▲ヘルシンキの港



▶ タピオラの屋外プール

▼ スウェーデンのクングス・ゴードン(王様公園)



企画座談会

新発足した北方圏センターに期待する

サロンのふ囲気でフリー・トーキング

出席 北方圏交流推進委員長 辻井 達一氏 札幌青年会議所理事長 金井 英明氏  
拓銀業務渉外部長 山崎 栄二氏 司会・前北方圏調査会事務局長 宮嶋 勲氏

道内北方圏ニュース

第三回北方圏文化会議が開かれる ■創造的な冬の生活・滝川のシンポジウム ■北方圏へアプローチ・道青年会議所 ■札幌医大とヘルシンキ大学が提携・交換研究員セボ・アウテオさんが来道 ■北ヨーロッパを視察・帯広青年シエッタ元気に帰る ■ナホトカへ親善訪問を計画、ヨットマン五人が日本海横断 ■北方圏交流写真展道庁ロビーで好評 ■バイキング展開く

道民総ぐるみの北方圏センターへ やる気十分の東条猛猪新会長  
社団法人 北方圏センターが発足

釧路市長 鰐淵 俊之氏



北海道教育大学札幌分校助教授 伊藤 隆一氏

連載 自治体と人脈

商工業を中軸に

大きく変貌する岩見沢市

金子秀松

北方圏セミナー・北国の新しい暮らしを考える

講師・旭川大教授 山本 克郎氏

講師・教育大旭川分校教授 今村 源吉氏

講師・インテリアデザイナー シモン 忍さん  
コーディネーター 北大教授 関 清秀氏

友好と親善に大きな役割 (北方圏姉妹都市道内十四都市)

みんなの力で千歳を国際空港にしよう

絶対成功の決意を秘めて 北極点探検の植村直己さん

グラビア 北欧の春



在デンマーク 武田 龍夫  
在スエーデン・デザイナー 中村 昇

在スエーデン・ウプサラ大助教授 龍門恵喜二  
在カナダサスカチュワン州・主婦 高谷 尚子

70

1

62

34

113

52

18

9

8

17

30

40

企業と人

地盤揺がずグラウンドパーク

両ホテルの補完作戦

青木 つとむ

特別寄稿

私の北方圏観

帯広畜産大学名誉教授 大原 久友

北欧の魂 ムンク版画展を札幌で開催

地元エネルギーに取組む市、町のアイデア

確実か一億トンの可採埋蔵量 大きく期待できるサハリン石油・ガス

カナディアン・ロッキーの自然

(2) カナダ環境省北部森林研究所 プロジェクト・リーダー 小島 覚

北方圏の花 ハンショウブ

北方圏の民話と伝説

訳・ユーラシア民話の会 杉本 侃

私たちの町村へ美深町・雨竜町

ウエブの民話・エスキモーの民話

青い大地

シベリアの歴史

第8回 山中文夫

北アジアの歴史

北方圏ニュース

B・C州発見二百年祭来年盛大に開催  
クール川上流に禁猟区  
マンニット製造  
タバコの葉から生長ホルモン  
リボ核酸発見に成功、ガンの予防に有望  
地質博物館ハバロフスクに誕生  
モスクワ五輪の予想、ソ連スポーツ紙が前景気  
保存状態がよい四・四万年前のマンモス

ゴビ砂漠は古生物の宝庫  
ソ連のスポーツ人口陸上競技五、二〇〇万人  
クラスノヤルスク地方が日ソ沿岸貿易に参加  
スルグイト・ウレンゴイ間鉄道予定線の調査  
水田の水調整、ソ連の米作地帯  
沿海地方植物生長の調査  
魚の電場利用の新漁法  
採鉱犬が大活躍

北方圏Q&A  
重要日誌  
編集後記

イラスト・新井 進

120 119 117

15

15

15

15

15

15

15

14

14

77

115

108

67

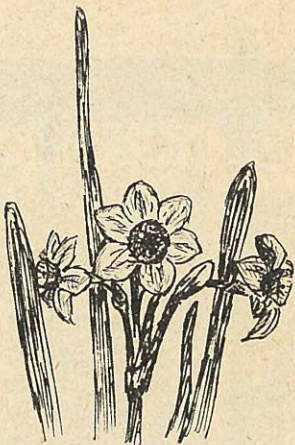
47

88

85

32

98



# 道民総ぐるみの北方圏センターへ

## やる気十分の東条猛猪新会長



東条猛猪会長

昨年十二月、拓銀頭取の輝かしい座を去ってから、その去就が注目されていた東条さん

の北海道づくりには欠くべからざるものと思

ったからです。北国の風土にマッチした地域社会づくり、北海道が持っている地域の特性を生かしながら、そこに住む人たちの生活を向上させていく。非常に重要なことですよ。北方圏構想の基本をキチンとわきまえ、就任の弁。しかも、やる気十分。

もともと、中途半端なことは大ざらいな人で、引き受けたらトントンまでやる。昨年十月、北方圏センター設立期成会会長を引き受けさせられたときから、もう今度の路線は決まっていたようなものだが、いったん引き受けたあとは、予算のこと、組織のことなど、機関銃のような事務処理ぶり、いかにも東条さんらしい素早い対応である。

拓銀頭取十五年間余り、道内では「バンカ」東条の印象が強いが、隠れたといつては失礼に当たるが、大変な国際人である。その海外とのお付き合いの最初は、昭和九年、大蔵省の財務書記官としてロンドンで大使館勤

の公職第一号は、社団法人・北方圏センター会長のポストだった。頭取時代は、本職オンリー。公職にはまったくといっていいほど顔を出さなかった東条さんだけに、今度の公職解禁には経済団体が待っていましたとばかりのプロポーズ。堂垣内知事も北方圏調査会の衣替え、拡大路線のリーダーには東条さんしかないとい猛アタックして、やっと射留めた。

「北方圏構想の志向していることが、あす

蔵省の財務書記官としてロンドンで大使館勤

めを二年間してから。

戦時中は北京で三年半。戦後は大きな貿易交渉でアメリカへと、拓銀へやってくる前から海外経験はみっちり。拓銀頭取になってからも、海外支店のオーブニングには、自ら顔を出し、東へ西へとまわったといわれない。むしろ、英語も堪能。

今年も、日本カリフォルニア会議、北海道アラスカ協会の経済懇談会へと、年二、三回の海外出張のペースを守りそうだという。道内でも指折りの国際経済人。北方圏諸国との付き合いが一層盛んになる北方圏センターのトップリーダーとしては、うってつけの人である。

新しいセンターは、道民総ぐるみでの支援体制を築いた。それだけに、経済交流から文化交流から、もっと道民に密着した生活交流まで、何でもこなすことになる。

「芸術面でも芸術面でも、生活面でも、いろいろな交流がありますね。これを地道にやっていたいかなければなりません。幸い、広く道内の有識者の英知を集めて出来たセンターですから、きっと大きな効果を生むでしょうし、なにはさておいても、センターを大いに利用、活用していただくことですね」とスタートに当たって、道民総ぐるみを強調している。

### 第三回北方圏文化会議開かれ

#### 積極的な要望や提案

#### 各部会で総括報告

北方圏文化会議が先ほど札幌市中央区北一西四、札幌グランドホテルで開かれ、道内各地から集まった各界代表が札幌在住の北方圏各国の人たちもまじえ、北海道の新しい生活文化創造や北方圏交流のあり方などについて話し合った。特に、今年北方圏センターと北方圏交流基金の設置が大きな話題になった。

に意見を出し合った。同部会には札幌在住や雪まつりで来札中の北方圏諸国出身者の姿もみられたが、過去二回の同会議ですでに総論的な話が出尽くしている半面、本年は北方圏構想推進の総合機関としての北方圏センター、交流推進のための北方圏交流基金設置も決ま

ていて話し合った。特に、今年北方圏センターと北方圏交流基金の設置が大きな話題になった。

文化、経済、生活文化のシンポジウムも

午後からは学術、芸術、生活文化、教育、団体交流、経済交流と文化交流の六部会に分かれ、話題提供者の話などをもとに各分野における交流の進め方、課題の取り組み方

#### 全体会議での総括

「学術部会」(報告者・北大助教授・吉崎昌一氏)

▽提案①北方圏センターは各大学、研究機関の持つ関連情報も含め学術データベースの機能も持たせてほしい②学術文化交流

促進のため北方圏諸国や道内各地に拠点づくりを進めてほしい。例えば情報検索が出来る設備、簡単な宿泊施設など③新しい研究者育成のための方法と資金について検討すること▽要望①国際交流基金のワクを確保して

「芸術部会」(報告者・札幌市教委文化課長・原子修氏)▽提案①北方圏の規模の総合芸術大学設置②自然史博物館の設置③北方圏交流基金の早期実現④北方文化の一つア

「生活文化部会」(報告者・道教育大助教授・伊藤吉の各氏はじめ在日、

北方圏文化会議が先ほど札幌市中央区北一西四、札幌グランドホテルで開かれ、道内各地から集まった各界代表が札幌在住の北方圏各国の人たちもまじえ、北海道の新しい生活文化創造や北方圏交流のあり方などについて話し合った。特に、今年北方圏センターと北方圏交流基金の設置が大きな話題になった。

文化、経済、生活文化のシンポジウムも

午後からは学術、芸術、生活文化、教育、団体交流、経済交流と文化交流の六部会に分かれ、話題提供者の話などをもとに各分野における交流の進め方、課題の取り組み方

促進のため北方圏諸国や道内各地に拠点づくりを進めてほしい。例えば情報検索が出来る設備、簡単な宿泊施設など③新しい研究者育成のための方法と資金について検討すること▽要望①国際交流基金のワクを確保して

「生活文化部会」(報告者・道教育大助教授・伊藤吉の各氏はじめ在日、



堂垣内知事を表敬訪問したセボ・アウティオ博士

セボ・アウティオ氏の  
専門は小児神経科。ヘル  
シンキの小児専門病院の  
チーフで、日本でいえば  
医長という立場にある。

札医大の  
北方医学  
研究室  
(宮崎雄  
二室長)  
が窓口と  
なって受  
け入れ  
し、同医  
大の小児  
科の中尾  
享教授の  
ところで  
診療、意  
見交換を  
重ねた。  
小児神経

また、二月二十二日、  
知事公館に堂垣内知事を  
表敬訪問したアウティオ

日本とこれら諸国では  
事情が違いため、整った  
社会福祉施設や生活様式  
も直ちに参考にはならな  
いが、今後の北海道の新  
しい生活、文の創造を考  
えるのに数々のアイデア  
が得られたという。

北方圏の学術交流の推  
進で札幌医科大学とフィ  
ンランドのヘルシンキ大  
学医学部との提携が実  
現。その交換研究員第一  
号として、ヘルシンキ大  
からセボ・アウティオ講  
師が一月二十五日に来  
札、三月二十三日まで札

### 札幌医大とヘルシンキ大学が提携 交換研究員セボ・アウティオさん来道

学ではフィンランドの方  
が進んでいるが、同氏が  
特に関心を寄せたのは、  
札医大のX線で頭部の断  
層写真を撮るコンピュ  
ターモグラフィ。ヘル  
シンキ大でも近く導入す  
るということで、熱心に  
学んでいた。また、ヘン  
シンキ大と札医大との今  
後の学術提携のテーマを  
どうするか、ということ  
で各講座をまわり、それ  
ぞれのチームと意見交換  
と精力的な行動。

一行は丹野和彦さん  
(北海道協同乳業)を団  
長に総勢三十二人で、日  
程は二月十五日から三月  
二日までの半月間。フィ  
ンランドではラハティで  
開かれていたノルディッ  
ク世界選手権を見学し、  
また、昨年帯広市を訪れ  
たタピオラ少年合唱団と  
再会、ストックホルムで  
は都市計画と福祉施設、  
オスロでは体育施設や体  
育大学、西ドイツではハ  
ンブルク市を訪れ、デン

帯広市第二次青年ジエ  
ットが北ヨーロッパ五カ  
国を視察、数々の見学、  
交流の成果を重ねて帰っ  
て来た。  
マークでは身体障害者施  
設、保育所などを視察し  
た。特に、今回は北ヨー  
ロッパの生活と文化視察  
がテーマのため市民との  
交流も多く、フィンラン  
ドでは班に分かれ、現地  
家庭に入って生活を体験  
し、オスロ、西ドイツ、  
デンマークでも農家を訪  
れ、それぞれ生活につい  
て話し合ってきた。

### 青年ジエット元気に帰る

北ヨーロッパを視察 帯 広

医大の関係者は「知識欲  
がおう盛というか、一番  
バッテリーとしてはいい人  
がきてくれた」とアウテ  
ィオ氏を高く評価してい  
る。

〔団体交流部会〕(報告  
者・道国際文化協会・福  
田潤三氏)▽提案①北海  
道姉妹都市連絡協議会  
(仮称)をつくり、全道  
ネットの完備と交流の促  
進②北海道から直接北方  
圏諸地域へ通ずる定期空  
路、航路の開設▽要望①  
受け入れ交流も積極化し  
てほしい②日ソ友好文化  
会館と北方圏センターが  
協力して北方圏交流を促  
進してほしい③主要港に  
相互保税地帯や北海道貿  
易公社的なものをつく

### 創造的な冬の生活

滝川のシンポジウム

冬の楽しさの再発見  
と創造的な生活へのアプ  
ローチを掲げ、去る二  
月、滝川市の第一回雪と  
親しむ青少年体験シンポ  
ジウムが開かれた。  
雪と寒さを克服し、北  
国の暮らしを快適にする  
ため体験を通じ、冬の楽  
しさを積極的に見出し出そ  
うというのが開催の趣

旨。江部乙町旭沢の市立  
自然の家で歩くスキーの  
あと、明神町スエヒロホ  
テルでシンポジウムを開  
き、新しい冬の生活創造  
について盛りだくさんな  
意見を交換し合った。  
うち、歩くスキー(写  
真)には約百五十人が参  
加、中には吉岡清栄市長、  
三笠宮寛仁親王殿下はじ

北方圏構想推進に積極  
的に取り組んでいる日本  
青年会議所北海道地区協  
議会(村井幸雄会長)の  
今年度の事業計画が決ま  
り、北方圏へのアプロ  
チを一層強めている。  
同地協は、道内四十六  
の青年会議所で構成し、  
地域社会づくりに貢献し  
ているが、国際化社会の  
時代にあって北方圏志向  
を高めている。これまで  
の北方圏交流事業として

は、日ソ相互交流の「日  
ソ青年交流会議」を続け  
ており、今年は六回目を  
迎える。また、昭和四十  
九年から三年間「北方圏  
青年ジエット」を行い、  
北欧、カナダ・アメリカ  
へ勤労青少年を派遣して  
いる。  
交流基金に三百万円  
今年、これらの実績  
を踏まえて、日ソ青年交  
流会議を北海道で開く。



### 北方圏へアプローチ 道青年会議所・事業計画

全ソ連青年団体委員会か  
ら三人を招待する。北方  
圏交流の啓発活動とし  
て「北方圏における北海  
道」をテーマに、各青年  
会議所に講師を派遣、セ  
ミナーを開催する。また、  
北方圏交流基金に対し、  
青年会議所会員から三百  
万円余の基金をきよ出  
し、交流事業促進に一役  
買う。これらの事業の総  
括として、十一月には、  
会員、勤労青少年あわせ  
て六十人の青年ジエット  
を北欧諸国に派遣する。



### ナホトカへ親善訪問を計画

#### ヨットマン五人が日本海を横断

札幌市のヨットマン五人が六月下旬に、小樽からソ連・ナホトカをヨットで親善訪問する計画が進められている。

このクルーは、札幌市中央区南三西八、会社員、大倉綾夫さん(三八)をキャプテンに、同市北区丘珠四六七、会社員、谷好章さん(三〇)、同市中央区南十四西十四、会社員、川人進さん(二九)、同市北区篠路町拓北七一、会社員、小林文樹さん(二七)、同市北区屯田四の四、東海大二年、久保田茂さん(二二)の五人。いずれもヨット歴五年以上のベテランで、最初の計画では、昨年実施する予定だったが、小樽市民の船が親善訪問したため今年にのぼした。

### 北方圏交流写真展

#### 道庁ロビーで好評

北海道、(社)北方圏調査会の主催による北方圏交流写真展(写真)が、三月六日から十八日まで道庁東側の道民ホールで開かれ、道職員、来庁者に好評を得た。

同写真展は、北方圏構想の推進策を大きく盛り込んだ北海道発展計画の

渡航、ナホトカでは二、三日寄港して親善交流する。

大倉さんらは、母港の小樽祝津から短期間で渡航できる外国をと考えていたところ、小樽市と姉妹都市のナホトカが浮かび、日本海横断一番乗りということも意欲をそそいで計画が具体化した。



展示写真は、北方圏交流の機運を大きく高めた四十九年九月の札幌での北方圏会議をはじめ、経済、文化、学術、スポーツなどの交流と北方圏諸地域の産業、生活、自然など百二十点に、北海道の将来の姿を描いたイラストも加えて、道民ホールを一時、北方圏ギャラリーに変えた。会場を訪れた人々は、目で見ると北方圏により親近感をみせ、美しいカラー写真の北方圏紹介を羨しむなど、初めての北方圏写真展は強い関心を呼び好評だった。

なお、同写真展には、北方圏諸地域の在日大使館、在札幌領事館、道内経済、文化団体、大学、報道機関等各団体の協力を得た。

### バイキング展開く

札幌市北四西二、東急デパートでバイキング展が開かれた。

北海道新聞がデンマーク、スウェーデン両王国大使館の後援を得て開いたもの。展示は剣、短剣、ヤリ、ヤリ先、カブト、オノ、タテの武器類はじめ遺跡から発掘したバイキング船の一部、模型、当時の日用品、衣類、装身具など百点で、いずれもデンマーク国立博物館、リーベ古代博物館、ロスキレ・バイキングンッ博物館、モスカード先史博物館、フレドリックスタッド等から出陳の遺品で、海にロマンを求めて生きた勇者の姿をしのばせてた。

### BC州発見二百年祭

#### 来年盛大に開催

#### カナダ

#### 目玉は世界帆船ショー

ブリティッシュ・コロンビア州が明年キャプテン・クックの同州発見二百年祭を大々的に開こうと準備を進めている。

有名な海の探検家ジェームズ・クックが二隻の船を率い、北米西岸を北上し、同州バンクーバー島に到着したのは一七七

八年、これがB・C州が歴史に登場した始まりとなっている。これを記念し、同州では明一年間を通じて、州内各地で盛りだくさんの行事を計画しているが、ハイライトは七八年六―七月に予定している帆船ショー。日本からも、日本丸、海王丸二隻が参加することになりそうだ。(トラベル・ジャーナル)

クルル川上流に禁猟区 渡り鳥保護条約にもとづき

ニットは従来から緩下剤などに用いられているが、レニングラード血液学・輸血研究所の研究で、腎不全、緑内障、ヤケド、ある種の中毒や外傷などにもよく効くことがわかり、ウクライナ、ドニエプロペトロフスクの酵素製剤工場がこの薬の製造が始まった。年間四十万ボトルを製造し、ソ連内外に供給する。

(APNIIタス)

### タバコの葉からア

このホルモンの量産は技術的に可能であり、これを農作物の生長過程のコントロールに利用すれば大きな経済効果も期待出来るという。

するRNAの発見で問題が解決されることになった。というのは、このRNAは動物の血液からも得られるからで、将来、遺伝情報を伝達するRNAを利用し、病気を治療することも出来る。(APNIIタス)

### ルモン)抽出

植物の生長ホルモンではジベレリンがよく知られているが、科学アカデミー会員で生理学者のミハイル・チャイラヒヤン氏とその協力者はタバコの葉からもう一つのホルモンのアンテンシンを抽出した。他の植物の芽にその水溶液を注ぐと、すぐ生長刺激効果が現れ、十二日後には早くも開花の兆候を示した。

極東の豊富な地下資源の標本を集めた地質博物館がハバロフスクに開設された。

### マンニットを

植物界に広く存在する糖アルコールの一種マンニットを

岩石、有用鉱物、各種動物植物の化石、地図、模型など千五百点以上の展示品のほか、鉱物資源開発の状況を展示もあ

### 製造

植物界に広く存在する糖アルコールの一種マンニットを

抗ウイルスたん白の生産を促進するリポ核酸(RNA)の発見に成功した。インタフェロンはインフルエンザや肝炎の治療に大きな効果をあげ、ウイルス性の病気やある種のガン予防や治療に有望な物質とされるが、一

リポ核酸の発見に成功した。インタフェロンはインフルエンザや肝炎の治療に大きな効果をあげ、ウイルス性の病気やある種のガン予防や治療に有望な物質とされるが、一

地質博物館がハバロフスクに誕生

### 地質博物館がハバ

ロフスクに誕生



### モスクワ五輪の予想

ソ連スポーツ専門家が前景気

モントリオール五輪後 完成もありそうだ。また、メキシコ・オリ  
世界各国のスポーツ紙は モスクワ五輪（一九八〇  
年）の各競技の優勝記録 を載せているが、ソ連の  
スポーツ専門家の話によ ると、まず棒高跳びは五  
尺八〇をめぐって優勝争 いが展開され、この記録

回世界記録を上回る好記 録を出しており、モスク  
ワ五輪前に新記録も予想 される。

### マラソンで世界 記録更新

マラソンでは昨年十二 月福岡の国際マラソンで

走り高跳びは男子が二 尺三六、女子二尺〇三、  
トラック短距離では現在 のレベルにそう変わらな  
いことが考えられるが、  
五千尺では一三分〇秒、  
一万尺では二七分〇秒の  
記録が出そう。

ロジャース（米国）とモ  
イセーエフ（ソ連）が好  
記録を出しており、クレ  
イトンが作った世界最高  
記録二時間〇八分を更新  
し、二時間〇五分台の記  
録の可能性もある。

### スポーツ人口 五、二〇〇万人

盛んな陸上競技

ソ連のスポーツ人口は 約五千二百万人。最も盛  
んな種目は陸上競技で競  
技人口は六百十五万九千  
七百六人となっており、  
以下バレーボール（五百  
十七万九千七百七人）、スキ  
ー（四百九万八千人）、サ  
ッカー（三百八十八万四  
千人）、バスケットボール  
（三百五十一万三千人）  
射撃（三百六万七千人）  
チェス（二百七十九万四  
千人）、卓球（二百三十三  
万四千人）の順。

（APN）

### 保存状態がよい 四・四万年前のもの

昨年七月二十三日東 シベリア・ヤクト自  
治共和国キルキリヤク 川岸の永久凍土中から  
生後約八カ月のマンモ スの赤ちゃんの遺体が  
発見されたが、放射性 炭 素による測定の結果、  
四万四千年も氷づ けになっていたことが  
わかった。

あまり保存状態がよ いため当初せいぜい八 千年から一万年前の遺

### マンモスや恐竜の骨を発見

シベリアやゴビ砂漠で

体と想像されていたも の。レニングラードに運  
び、各分野の専門家の綿 密な調べで、死亡年代判  
明のほか生えなかった乳 歯、胃では食べた草の残  
りもみつかり、内臓器は すべてよく保存され、腹  
部の血管の一部には血の かたまりも残っていた。  
この個体はかつてブリ テン諸島からアラスカに  
一億年以上も昔にすん

### ゴビ砂漠は古生 物学の宝庫

一億年以上も昔にすん

（APN）

### クラスノヤルスク地方が 日ソ沿岸貿易に参加

東シベリア・クラスノ ヤルスク地方の貿易機関  
がソ日沿岸貿易に参加す ることになり、初取引が  
石川県の協同組合の間で 行われる。

現在ソ連で沿岸貿易に 参加しているのは極東と  
東シベリアの十一の自治 共和国、地方、州だが、  
ダリントルグ（極東輸 出入貿易事務所）はクラ  
スノヤルスク地方の参加

により沿岸貿易はより均 衡のとれたものに発展す  
るものと期待している。 シベリアの企業が出した  
いはタイガの産物とそ の加工品、地方工業製品、  
これに対し日本側は消費 物資、設備などを送る。

### スルゲートーウレ

ンゴイ鉄道予定線 の調査

シベリア運輸設計研究 所のスタッフがスルグー

トウレンゴイ間七百キ の鉄道予定線全線の調査  
を完了した。

この新線は西シベリア ・チュメン州北部の油田  
と大ガス田を直結するも ので、一九八〇年に開通  
の予定だが、最初の百キ は革命記念日直前、さら  
に五十キが年末までにそ れぞれ完成した。（AP  
N）

### 水田の水調整、ソ 連の米作地帯で

ソ連最大の米作地帯ク ラスノダール地方では、  
今まで水田の水調整は人 手に頼ってきたが、先ほ  
どギドロコンストルクツ イヤ工場は水田や運河の  
水量を自動的に調整する 総合設備を開発した。

この設備の導入によっ て水田の余分な水が調整  
され、人手も必要なくな る。また、稲の生育に必

要な水の量が随時守られ るので、一畝当たり一ト  
の増収が見込まれる。

（APN）

### 沿海地方の植物生 長の大がかりな調査

ソ連科学アカデミー極 東センター太平洋地理研  
究所は膨大な木材資源を 持つプリモリーエ（沿  
海）地方の植物の生長条 件を評価する大がかりな  
調査をしている。

同研究所では調査によ って得られた大量の資料  
をもとに同地方の植物生 長状態を評価した貴重な  
地図を作成した。なお、 この作業に従事した地理  
学者は極東南部のこの地 方の降水量は、今後二、  
三十年間は比較的少ない ものと予想している。

### 魚の電場利用の新 漁法

魚は絶えず弱い電場を つくり出している。魚が

攻撃したり、防衛したり する時、この弱い電場が  
強まる。このような時に は魚群の中の電荷が非常  
に大きくなって個々の魚 の動きを調整し、群全体  
の動きを決定することが 出来る。このような魚の  
電場を利用して漁労位置 を決めることを思いつい  
たソ連の学者が、電気を 記録する高感度の装置を

### 探鉱犬が大活躍

これまでしばしば話題 になった探鉱犬が最  
近またマスコミに登場し ている。

犬による探鉱が可能で あることは、この十年間  
ソ連の多くの地域で行わ れたテストで確認され  
た。犬の種類に関係なく シェパード、エスキモ  
ー、ボクサー、ドーベル  
マン、フォックステリア  
などいずれも訓練すれば 十分役立つ。探鉱犬はこ  
れまで黄鉄鉱、銅、スズ、 タングステン、ニッケル

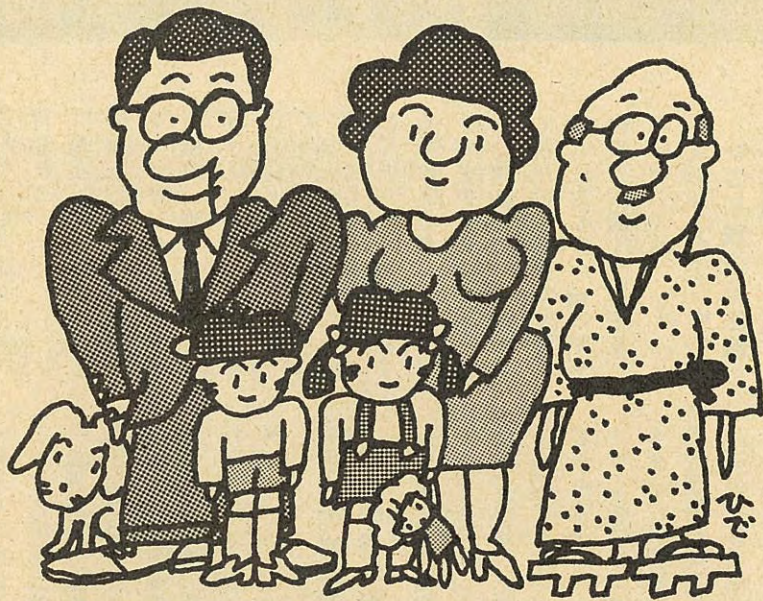
などをかき出している。 犬は気候、気象、地勢に  
関係なく、どんな計測機 器も発見出来なかつた鉱  
床も探知したし、かぎ出 せる鉱床の深さは十三  
尺、湿地ではもっと深く まで威力を発揮する。例  
えば北ウラル地区での銅 鉱ではエスキモーター犬を使  
い、予定区域の探鉱を一 カ月で終えたが、地球科  
学的方法だと同区域で結 果が出そろうのに約半年  
を要したという。（AP  
N）

開発し、漁船に取り付け た。

いまのところ、魚群の つくり出す電気を記録で  
きるのはいずれも一キの 範囲内だが、最初の実験  
が内陸の湖で行われ、好 成績を収めた。この方法  
は淡水魚群の位置を知る のに有効だった。（AP  
N）

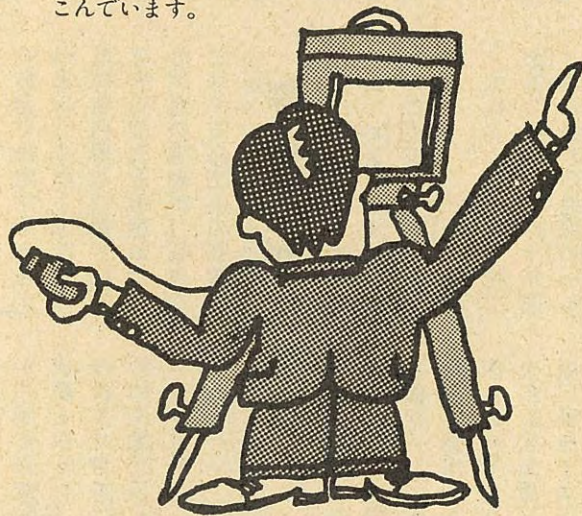
（APN）

（APN）



# 北海タイムスは 北海道の家族のための 新聞です。

道民に親しまれる新聞を。これは北海タイムスが創刊いらい持ち続けている姿勢です。日常生活に欠かせない身近な情報をきめ細かく、家族みんなて楽しめる内容をもりこんでいます。



## 北海タイムス

北海道を身近に感じる新聞

札幌本社=札幌市中央区南1西10条 電話231-0131 支社=東京・大阪・留萌・深川・岩見沢・滝川・夕張・北見  
旭川本社=旭川市1条8丁目 電話23-4171 支社=帯広・釧路・小樽・倶知安・室蘭・苫小牧・函館 支局=稚内・名寄・紋別・士別・富良野・網走・江別  
栗山・千歳・根室・静内・浦河・余市・岩内

# 北方圏センターが発足

## 北方圏調査会がセンターに移行

### 総合調査交流機関として推進

北方圏に関する総合調査交流機関としての北方圏センターが発足した。

これまでの社団法人・北方圏調査会を基盤に発展的に組織拡充をはかったもの。四月七日、札幌グランドホテルで、北方圏調査会の臨時総会を開き、北方圏センターに移行のための定款改正を議決し、引き続き五月十一日に北方圏センター発足総会を開いてスタートした。センター施設は、いま建設中の札幌市中央区北三三七の再開発ビル十二階の全フロアとなっており、十二月に完成するが、それまでに体制整備をはかっておくため、施設完成に先だってセンター組織を発足させた。本格的なセンター機能を持った活動は五十四年一月からとなる。

北方圏センターについては、四十九年九月の北方圏環境会議の成果を道民生活に還元するため、同年十月、北方圏調査会が「北方圏総合調査研究機関（北方圏リサーチセンター）の設置に関する意見」を国、道に提出し、設置促進を訴えてきた。道は、北方圏構想推進のためには、先導的役割を果たす機関が必要だとし、今年度からスタートした道発展計画作成の段階で北方圏センター設立を盛り込んだ。また、知事の私的諮問機関として北方圏交流推進委員会を設け、その方向づけを諮問。同委員会は、五十一年八月、北方圏リサーチセンター構想をさらに拡充した「北方圏センター」設置構想を答申、これに基づいて道は、センター設置へのワンステップとして同年十

一月、北方圏情報センターを北方圏調査会に付置し、北方圏に関する図書、資料、情報収集に着手した。センター設置をいつの時点で実現させるかが問題となっていたが、交流の急速な活発化などから早期実現の機運が高まり、五十二年十月、道内各界の代表が参加した北方圏センター設立期成会（会長・東条猛猪拓銀会長）が設立され、道など関係機関に働きかけるなど、官民一体の熱意が実ってセンター誕生となった。

### 北方圏センターの事業

センターの活動の事業としては、①北方圏にふさわしい生活環境の整備、学術、文化の振興、経済発展に必要な調査、研究 ②北方圏の資料、情報収集と提供 ③講演会、研究

会、展示会開催 ④北方圏に関する諸会議の開催 ⑤生活、文化、スポーツ、経済、学術など各分野の人的交流の推進などがあげられている。センター施設は、この活動拠点となる。情報収集機能（図書、資料、展示室）調査研究機能（研究室、語学研修室）レセプション機能（国際会議室、大小会議室、レセプションホール）の三機能を持ち、広く道民に活用してもらおう。また、運営面では、専門家、学識者による専門委員会を分野別に設置、実践的な活動を強化する。

### 交流基金を創設

北方圏センター発足に合わせて、財団法人・北方圏交流基金の創設準備も進み、四月中に外務省の認可がおりる。人的交流を促進し、相互理解を深めるため、各種交流事業を援助するもので、道の三千万円と経済界、市長会、町村会、さらに民間団体の協力も得て基金を造成、スタートする。同基金には国際交流基金からの事業費導入もはかり、事業の充実をしていく。北方圏センターとともに北方圏構想推進の両輪の一つになるわけで、同交流基金に対する期待は大きい。

# ザロンの心人園

## 《北方圏構想の

### 出席者

- 辻井 達一氏  
北方圏交流推進委員会会長  
(北大助教授)
- 山崎 栄二氏  
北海道拓殖銀行  
業務渉外部長
- 金井 英明氏  
札幌青年会議所  
理事長
- 宮嶋 勲  
司会 北方圏調査会事務局長

員会の当初からの問題になっていたと思う。その時のことを思い返してみると、北方圏に関する「たまり場」みたいなものがないと不便で、人も資料も一カ所に集められる場があった方がいいのではないかという議論が



された。一挙に大きくということもできないので推進委のたまり場みたいなものという考えがあった。それが北方圏情報センター設置で、道の努力によって非常に早く進んだ。不思議なくらい早くできたわけです。その当時、皆の頭の中には、京都の国際文化会館みたいなものがあったら、ということがあったと思う。それができるか、できないかは別にして、そこで、一番問題になったのは、会館ができた時に維持できるかということだった。入れ物ができるといことは、維持、経営を考えなければならぬ。維持するために催し場の貸し出しなど事業をしなければならぬ。当時は、これがうま

くいかない、センターの話も進まないのではという話だった。  
**北三条ビルが浮かびあがる**  
しかし、いろいろの方の努力で、北三条ビルのワンフロアをという話が浮かび上がった。北方圏というのは、障害が出たら何となくそれを乗り越えられる機運があつて、非常に幸いだった。場所については、文化会館的なことを考えていたから、狭いとか、仮住まいか、長期的なものか議論はあつたが、楽観論が制し、折角の案だからこれでいこうじゃないかとなった。名称も、情報センターとする情報に偏るので、北方圏センターという広い意味のものがいいとなった。本当なら中身が先にできるのだが、中身をどうするかはこれからの問題です。  
**驚くほどスムーズに**  
私の記憶では、北方圏というのは、何か障害があるたびにうまく流れてきたと思う。道庁の審議会とか委員会でおもしろい話でても、早く実現され、かたちになるケースはあまりない。長い目でみれば実現するのだが、ご意見拝聴ということでおさまるのが多い。その点、北方圏

# 気であつた味

## 《総合推進機関》

国際的視野に立って北国・北海道にふさわしい生活文化、産業社会をつくりあげようという北方圏構想も次第に道民の間に浸透、定着しつつある。これをさらに道民運動として幅広く推進するため、その総合調査・交流機関として北方圏センターが発足した。今年十二月、札幌市中央区北三西七の再開発ビルの施設完成に合わせ本格的な活動を開始するが、センター発足にあたり、これからの北方圏構想の推進、センターの運営などについて語ってもらった。

### 北方圏調査会が衣がえ

宮嶋 北方圏調査会も発足して八年目を迎えました。道の北方圏構想のレベルに乗り、北方圏構想が道民の間に定着しつつあるのが現状だと思います。北方圏調査会七年の実績から、さらにワンステップし、新しく北方圏センターという大きな組織に衣がえしたことは皆さんご承知のとおりです。そこで、今日は、北方圏センター発足にあたり、これまでの苦労話や、これからのセンターに対する考え方、ご意見などをうかがい、センター運営の参考にしたいと思います。初めに、辻井先生から、北方圏交流推進委員会の会長という立場で、センターづくり構想など、これまでの経緯を含めてお話をして下さい。

### 欲しいと思った「たまり場」

辻井 北方圏についてのセンターをつくりたい、情報交換の場が必要でないかということが、交流推進委



センターについては、非常に早く、うまく事が進み、議論したかいがあった。

**宮嶋** 北方圏センター設立期成会の会長には拓銀の東条さんになっていただけていますが、その窓口として調整にあたってこられた山崎さんのご苦労もあつたと思えます。

**北方圏調査会の基礎が：**

**山崎** 北方圏センター構想が生まれ、いままでいろいろの局面を上手に打開して来られたのは、北方圏調査会が基礎をつくってきたからといえます。使命感に燃えてやってこられ

たことに敬意を表します。期成会をつくる時から話ができていたように、官がつくるのではなく、民間ベースでやるという当初からの考え方が貫かれてきている。東条会長が期成会の会長を引き受けましたが、はたからみても大変な熱意をみせており、各界のご支援があれば、立派なセンターができると思えます。

**宮嶋** 金井さんは北方圏諸国へも出かけ、青年会議所も北方圏志向を強めていますが、その立場からどう考えておられますか。

**金井** 青年会議所は地域の豊かな

日本はがむしゃらなスピードつくっておく必要があるように思いますが、GNPでも世界三位の座にのり。例を寒さの克服にあげても住し上がったが、その原動力の燃料衣食三方面からの技術開発によって海外からの輸入に頼っている。総合的に解決しなければならぬこの現状では、いつ第二、第三の。生活、産業創造の面において



**アイディア提供 集団に**

清水建設(株)北海道支店 土木技術課長 佐野 暁

石油ショックの荒波をかぶるかも、センターは北海道にふさわし知れない。そうした際、一番打撃は技術革新の提案者、その推進体を受けるのは日本の北端で、寒冷制づくり、また、アイディア提供集地の北海道でないでしょうか。この団として活躍してほしいと考えてうしたことを考える時、常々、多いる。

(敬称略)

社会づくりを続けてきていますが、その手法自体は東京中心の南方志向だった。四年ほど前から、北海道の青年会議所運動がこのままでいいのか、という疑問が起こり、運動のベイスに何を持っていくかと議論した。日本のなかでも北海道はちがうのではないか。北欧、カナダなどに生活レベルの面で北海道と類似点があるのでは、と北欧に青年ジェットを飛ばしたわけです。これは、青年会議所の国際的組織があるから一応はできたが、百二十人の代表を送り出すのに予備知識がなく、旅行代理店ベースの情報だけで、トータルの情報になかった。その点からも、北方圏センターの今後の活動に、青年会議所として大いに期待をしています。

**宮嶋** 北方圏センターの今後の役割と申しますか、機能が大事になりますが、この点についてお話しただき、それから今後の北方圏構想全般の推進についてご意見をきかせてもらいたいと思います。機能の面について、辻井先生いかがですか。

**辻井** 最初に申し上げましたように、フリー・トーキングの場として

**北方圏学会があつても：**

ど、市民がふらつと入ってくるようなこと。性格はちがうがアメリカンセンター的なものを考えていいのではないだろうか。

**宮嶋** 北方圏センターは情報収集、調査研究、交流推進機能を持つわけですが、その運営が大きな問題になります。運営ということでは山崎さんはどうお考えですか。

**道民参加が理想的**

**山崎** このようなセンター構想は緊張しない方がいいと思う。一つは、サラロ的なふん囲気が欲しい。市民が自由に入ってきて議論風発というか、そういうものがあつていい。日本人はサラロづくりが得手でないから、ここを一つのモデルにしてみたい。

北方圏と一口にいっても地域も広く、文化度からいってもグローバルな問題だ。情報収集、調査研究といつてもどこから手をつけ、何をしたいか迷うこともある。一つ一つ着実に実績をあげていけば、道民参加という理想的なカタチにいくのではないだろうか。理想の姿を最初に考えておくことはいいが、仕事の進め方としては、最初から広がりを持たせず、できるものからやっていく、

**北方圏センターに期待する**



**北方圏学術の研究情報を**

北海道大学触媒研究所教授 東 克彦

十数年前までノルウェーからでなド、デンマークはどうなつていといと手に入らなかつた。X線分光ののだろうか。こんなことについて有名なスウェーデン・ウプサラも誰が、どこで、どんな研究をしようか、大学のズイグバンが作り出した電で現ているか、教えてくれればと願つて、世界の研

の機能があると思う。話がはずむというの、芝居でいえば、大道具、小道具があるように、そこに北方圏



辻井 達一氏

の資料があつておぜん立てが整つているといふことではないだろうか。また、北方圏についての学問分野、研究者がたくさんいますが、雪氷、森

の機能があつておぜん立てが整つているといふことではないだろうか。また、北方圏についての学問分野、研究者がたくさんいますが、雪氷、森

の機能があつておぜん立てが整つているといふことではないだろうか。また、北方圏についての学問分野、研究者がたくさんいますが、雪氷、森

開業5周年記念謝恩 7月1日~8月31日挙式

# 109サマー・ウェディングパック

ご婚礼+ハワイハネムーン(札幌発着).....109万円

- ご衣裳(新婦3点・新郎2点)美容着付料
- 挙式、ご披露宴(会費制100名様)
- 109サマーウェディングパックは100名様より承ります。
- 100名様をこえる場合1名様につき5,000円を申し受けます。
- お写真、印刷物、お花、ハネムーンバッグ
- ハワイハネムーン(札幌発着)とうきゅうTOPツアー 4泊6日
- ハワイでは東急グループの一流ホテル、ご新婚バス付のお部屋をご用意しました。
- 前(後)泊1泊(2食付)ご招待よりお選び下さい。

○引出物、司会、芸能につきましてはご相談に応じます。  
旅行バッグプレゼント  
ハネムーンに最適/ヘアでプレゼント。

**札幌東急ホテル**  
〒060 札幌市中央区北4条西4丁目

お問い合わせ 231-5611  
お申し込みは

北海道をくまなくネット!  
暮らしに役立つ“ほくよう”の為替網  
ご送金・お取立にお気軽にご利用下さい。

いつも親身な  
**北洋相互銀行**

本店 札幌市中央区大通西3丁目 TEL (011)261-1311  
道内87か所 東京<内神田>・東京事務所



山崎 栄二氏

そういうセンターであって欲しい。にはまだわからない面があると思

金井 北方圏という言葉が、市民にはまだわからない面があると思

知恵を発揮するというか、その情報を出し、アピールしていくことがセ

辻井 金井さんのお話でつきるんですが、何かをしょっちゅうやって

あそこにはあの人がいる

もう一つは、サロンということ

北方圏センターに期待する



基礎調査と資料の集約を

小山設計事務所 所長 小山 保雄

北方圏という言葉聞いてから いう自然現象に対応するための開

なる。ホストでもホステスでもか

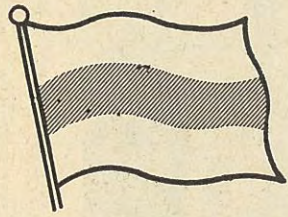
まわれないし、一人でも複数でもいい

宮嶋 さきほど申しました機能の

板谷商船株式会社

取締役社長 板谷 宮吉

内色市樽小 1丁目5番3号 電話 代表 0134(34)1118番



北方圏センターに期待する



道民の文化資産

道貿易物産振興会 事務局長 国谷 憲三

昭和四十六年設立された北方圏もいべきものである。今後、同

情報のネットワーク

辻井 いわゆる学際的ということ

宮嶋 情報収集面では、海外の情

山崎 組織の調整とともに、それ

その学問の組織化というか調整と

研究者同士の交流も

辻井 ヘルシンキ大と札幌医大の

宮嶋 北方圏センターが十二月に

中道機械株式会社

取締役社長 中道 昌喜

本社 札幌市中央区北1条東3丁目 電話 (011) 231-8611・241-4191

支店 札幌・道央・旭川・北見・釧路・帯広・苫小牧・函館・小樽・滝川・留萌

来展望としてワンステップ踏んで独立した施設という声もありますが、

辻井 大きいのができるのに越したことはないが、場所の問題もある。こういうものは郊外に建てる。道立図書館のように、野幌にあつては使い切れない。対市民サービスも考え、いい場所がないとだめですね。

宮嶋 単に北方圏センターではなく、北海道の国際交流の場で、そのあるじが北方圏ということですね。辻井 ちょっとした宿泊施設が欲しいですね。

山崎 そうですね。東条会長が知冒頭から私ごとで恐縮ですが、ことはいいりません。まず話し合私は友愛団体フリーメーションの会、理解し合うことが基礎です。員として各国の人たちと交流を重人の交流、その上に立った信頼関係、友好増進とともに多くのこと係がないと何ごととも真の発展は望んで学んできました。そうした意味めません。ただ、一般にはそのき



### 交流のきっかけづくりを

フリーメーションズ・日本グランド・ロッジ 高津 健 三

北方圏センターに期待する  
合いから、今センターが中心になっかけがつかめないこと、主婦は、北方圏との交流を積極化する主婦、子供には子供なりの交流のは非常に結構なことで、私も希望があるはずですし、その道づのお手伝いが出来ればと思っておけ、きっかけづくりから仕事を始めますが、何もむずかしく考える

### 北方圏センターに期待する



### 住居意識の徹底的追求を

旭川女子短期大学部 講師 宇佐美 智和子

北方諸国の居住水準が高いの物、雑誌、住宅関係法規、資料、を、単に国民性や歴史の違いなど啓もうおよびパンフレットに至ると片付けないで、彼らがどのようまで。次いで北方諸国の住宅史をにして住意識を高めてきたか、特に行政とのかわり合いにおいかにして快適な住まいを獲得しつて詳しく調べる)時代に見合う居る限り集める。小・中・高・大ではあり得ないということが明らかになる。学に当たる教科書から一般向け書かにされるのではあるまいか。

ていたという。できるだけ多くの人、それに染まっていけない、定着した意たちに経験させてやりたいが、財政識を持たない頃にいるんなやりとりのなこともある、青年会議所三千六百人の会員が、いち早く昨年十二月に基金ぎょう出を決めた。この交流基金に非常に期待している。

山崎 交流基金の使い方ですが、次の北海道をになう若い人たちを出してやりたい。北方圏構想自体が先をみた構想ですから、若い人たちはめていくことが必要だ。

辻井 もっと若い子供を考えているのではないだろうか。少し先をよみすぎですか。

山崎 大賛成ですね。  
辻井 国、政治にかかわりがなく、

が、地方自治体としては思い切った構想だと思えます。

辻井 交流というからには、よそから、人を招くということもある。また、フィンランドの工芸、デザイン関係はすぐれたものを持っていて。日本人の留学というかたちで送り出すのも必要でないかと思う。

### 交流基金は若い人のために

金井 多少経済力のある人は行けるが、北海道人の意識を持った若い



金井 英明氏

勤労青少年の人々に北方圏地域を学ばせてやりたい。四年前の青年ジェットは、十一月に行った。北国の冬の生活を知るためだったが、最初の二、三日は北海道と同じ初冬で、いい環境ではなかったが、家庭のなかに入って暖房とか生活を実際に見て大変感動した。二十歳から二十五歳の若い人たちだったが、帰ってから地元の市長や助役に感動して報告し

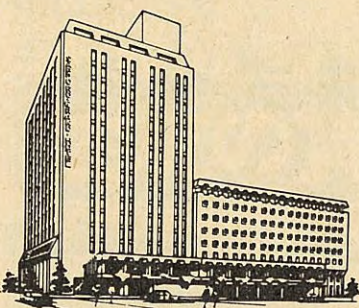
### 子供は交流の底辺を広げる

辻井 子供は手間がかかるかもしれないが、母親ともからんでくるし、交流の底辺の広がりになる。子供の交流をするというのは、基金の特徴になるのではないか。

山崎 さつき感動という話がありました。小さい子供の素直な目で感動もするし、鮮烈な印象を受けるでしょう。

金井 ただ感動するだけでなく、自分たちのまちを目標を持ってつくっていかうと市町村に提言もしている。地域社会づくりの次の運動に作用している。これは大きいと思う。

宮嶋 小、中学校の先生と会う機会があるので、道内どこでもいいから国際教育を学校のカラーにするところがあれば、援助しますと話をしている。道徳教育や放送教育を特色にしている学校があるのだから、国際教育をやる学校があってもいい。どんなことをやればいいのかとどき先生もいますが、例えば地球儀です。日本の地図では日本が真ん中になるが、外国に行けば、日本は極東のはずれになる。グローバルな見方は丸くなければならない。大きな地球儀を学校の正面玄関に置くこと



さっぽろの街の中の新しい北の街

札幌グランドホテル  
札幌市中央区北1条西4丁目 TEL011(261)3311

## 伊藤組土建株式会社

取締役社長 伊藤 義郎

本社 札幌市中央区北4条西4丁目1番地 電話 代表 札幌 (261) 6111  
東京支店 東京都中央区日本橋2の8の11 (旭洋ビル) 電話 代表 東京 (271) 3611  
仙台支店 宮城県仙台市錦町2丁目1番3号(大興ビル) 電話 仙台 (64) 1521  
営業所 室蘭・帯広・釧路・函館・盛岡・埼玉・横浜・苫小牧

も一つ。平面で見るとヨーロッパは遠いが、丸くし、北を通れば近いということがわかる。

また、国連加盟の国旗を並べておくと、子供たちは自然に覚える。北歐四カ国の十字の国旗は見分けがつきにくい、日常接しているとわかるようになるし、その国々への関心も高くなる。絵の交換も一つの方法で、冬のスケッチ交換や、向こうの子供たちに日本のイメージを書いてもらうということもあります。残念ながら、まだ立候補の学校の手が上がっていませんが。

向こうの人を呼ぶことも大切

辻井 さつき海外ボランティアという話がありました。北方圏のことはセンターのなかだけでやっているのが仕事ではなく、国内にもそういうボランティアを持ち、サマースクールやウィンタースクールというものをやっています。

宮嶋 従来の交流はでかけることばかり考えているが、思い切った受け入れることを考えていいのではなにか。青年会議所や道の青年婦人派遣の規模で向こうから呼ぶことを考えると、もっとちがった展望になりますね。



宮嶋 勲事務局長

辻井 ごく普通の市民を招くことですね。この人たちが帰った時に、日本に、北海道に行ってきたと、宣伝効果がある。

宮嶋 交流では、学術、生活面の交流もあるが、もう一つ、経済面の交流は忘れてはいけない。この辺は山崎さんどうですか。

山崎 大きい問題ですが、北海道から何かを持っていくというところまでいっていない。当面は、いただく方が多い。

宮嶋 とにかく、産業構造がそうなのか、片貿易では困る。

経済交流のための貿易公社

山崎 北方圏でどういうノーハウがあるかストックしておく必要がある。

宮嶋 道の発展計画の北方圏構想のなかの柱には貿易公社の設立がある。北海道と北方圏の経済交流の調査をされた先生方の結論が、この公

北方圏センターに期待する



技術者や農民の派遣を

士幌農業協同組合 技術顧問

塩田 弘行

北海道の農業技術が世界各国に比べ劣っているとは思わないが、段階技術者や農家が海外農業視察して、北海道と気候風土、生産上増産、機械化には極めて意欲的だの多くの共通点を持つ北方圏諸地し、また、それを実際に生かす畑の派遣、交流にも力を入れてほしいのはよくあり得ることである。

北方圏センターに期待する



生活環境づくりの先兵に

共成電機産業(帯広) 取締役営業部長 村部 弘志

先ほど、帯広市青年ジェットの環境に慣れきっています。これは団員として北歐五カ国を研修、視比較検討、その他により発想の転換し、現地市民との交流、生活体験、改善をはかるタネ、資料がな試験を通じ、多くを学んできましかつたからです。北方圏センター。特に、北国に共通の雪と寒さは自然環境が同じ諸国との交流を

社をつくるということ。現在の貿易組織の競合という問題もありますが、北海道の貿易体制を強化し、地域特性を生かすためには、先導的に、なかば官主導的なもので上手に展開していかなければ、いつまでも日本経済の〇・何%とかのままで過ぎてしまう。

山崎 水産、農業の技術を持っていくことでは北海道は優位だと思

宮嶋 生活面での交流では思い切

金井 いまの段階では、向こうから学ぶものしかないというのはい

あつていいのではないか。雪の二月よりも意味があるように思う。道では、昭和五十五年ごろに考えているようだが、その引き金になればと青年会議所では、いま、資金手当てをして試しにやってみようかと構想を練っている。北方圏の意識づくりの場になればと思う。

話は少し変わるが、札幌青年会議所は、交流の一つの場として札幌アイトパークの構想を二年前に提唱した。構想では三百三十万平方メートルで、アトリエやギャラリーなどがあり、アトリエを使用した人には、絵を何枚か寄贈してもらおうなど、文化レベルを高める広場を持ちたいという構想です。

第2回北方圏会議がカナダで

宮嶋 今年カナダのB・C州で天然資源会議が開かれます。第二回の北方圏会議ということで、次のステップへの関心を高める上で重要な会議ですが、これへの期待はどうですか。

辻井 実質的に二回目になるので、会議をやる時は、次の会議のことを考えておかなければならないということ。B・C州の会議の始まる前にいっはどうかと思う

光は北方から……… 貯蓄は「スミシン」で………

まとまったお金をふやす(預貯金で最高利回り)

住友の貸付信託

無料進呈

大型保存判全36頁 住友の貯蓄百科

(貯蓄選びのガイドブックです)

住友信託銀行 札幌支店

札幌市中央区北1条西3丁目(市役所西向)

〒060 TEL. 011(251)2171

- 元金保証
- お預け入れは1万円単位
- 1年以上(募集締切日より)たっていれば中途換金もできます。

北海道計器工業株式会社

取締役社長 金川 武司

札幌市中央区北5条西17丁目13番地 電話札幌(011)621-3561番

が、次の開催地の下相談をつけ、ある程度のメドをつけておく必要があるのでは。

もう一つは、前は環境で今度は天然資源が中心となっているが、その時々によってテーマがあつていいわけです。参加州、参加国と意見をとりまとめ、次は何をテーマにやるかということを下相談し、芸術でもいいし、交通問題や経済開発でもいい、一つずつ詰めていきたいですね。

山崎 やはり、互いに役割を認識し合つて、自分のところは何ができるか、きたんなく意見を出してもらい、そこから何か手がかりをつくりていくことが大事だ。回を重ねるに

### 北方圏センターに期待する



#### 生活文化のルール探究

藤女子短期大学 教授 伊藤弘子

生活文化のルーツをさぐってみ地に根をおろし、生活の豊かさ、することはどうでしょう。われわれ楽しさをつくり出し、生きる喜び日常生活の中に根をおろしていると生きがいを持って歴史をつくり生活習慣、民間の年中行事などにてきたことに深い関係を持つものについて衣・食・住、人間関係あると考えられます。これをさぐるのではないのでしょうか。北海道という

したがって、少なくとも何か前進しているということがなければ。いつも同じところにとどまっている会議では困る。先生がいったように今回はこれまで詰めたという実感を持って帰ってきて欲しいし、折角の会議だから実践面にとり入れていくことを考えて欲しい。

# 宿・味・結婚式

やすらぎとゆたかな味とよろこびと

札幌 センチュリー  
ローヤルホテル ローヤルホテル

〒060札幌市中央区南7条東1丁目 TEL(011)511-2121 干060札幌市中央区北5条西5丁目 TEL(011)221-2121

### 北方圏センターに期待する



#### 新しいスポーツの紹介を

士別市体育館長 北村大三

ビヒカラ氏の来訪によって歩くスの闘いに伝統を持つ北の諸国にスキーが紹介され、競技スキーとはばなければなりません。歩くスキー別な、今まで知り得なかつたいろーばかりでなく、スポーツ全般にいろの喜びを発見するようになりついで新しい紹介、振興策の実例しました。そして新たな、特に中老報告などに期待を寄せています。

行政だけでなく民間レベルも  
金井 環境会議の時にも話がでたが、行政や学問レベルばかりでなく、幅広い交流をしてはどうかという話があった。青年会議所のなかにも、B・C会議に出たいという人がい

る。地方行政レベルの話し合いとは別に、民間レベル参加の門戸をどこまで広げてくれるか、期待しながらみている。

宮嶋 そうですね。二回目からもう少し幅広くという声もあった。交流推進委の話し合いのなかでは、三年、四年に一度の大きな会議はあつてもいいが、専門家会議をひんぱんに開いてはどうかという話があつた。ヨーロッパでは、近いこともあつて小さな会議が多く開かれていく。北海道で開くとすると、大ごとになる。もっと国際会議慣れというか、定着させたい。二回目の会議を契機に国際会議をしょつちゅう開けるようにしたい。

### 千歳国際空港せひ必要

辻井 会議を開きやすいというところでいえば、アラスカのアンカレッジは、飛行機が通るといっただけで身近な感じがする。千歳空港を国際空港にしてくれれば、ずい分とちがうのではないか。センターの機能、事業を考えると千歳の国際空港化は欠かせないことだ。

宮嶋 日本フィンランド協会から知事あてに要請書を送ってもらつたり、アラスカ商工会議所会頭やアン

カレッジ市長からも知事あてに要請してもらうなど海外の声も集めてその実現を働きかけてもらつてはいる。

金井 何が一番のネックですか。  
宮嶋 一番の問題は需要の問題です。運輸省、大蔵省もいいという方向で、厚生省は検疫の問題で決つていくが、国内体制は政治的に解決できる。日航が将来の需要を見通してやってくれるかどうか。貨物の仕分けができれば、エアカーゴ（航空貨物）からどうかという話もある。  
辻井 需要は計算できない面もあるんじゃないですか。  
山崎 飛行機が飛べば、需要がでてくる。交通機関が中心にすえられる時代ですから、千歳が国際空港になると北歐もずい分近いという感じになる。

宮嶋 北方圏構想推進の重要な事業です。最後に北方圏構想推進は、道民運動に展開していかなければならぬと思います。これからの北方圏交流への期待をまとめてひとことずつお願いします。

### センターをフルに使うこと

辻井 北方圏を北海道で考えるのは当然なこと。東京で考えるのでなく北海道で考えることだが、それを

同じように、札幌だけで考えるのではなく、北海道全体の市町村、人がセンターを身近なものにしていく必要がある。南茅部町とカナダ、釧路の漁業交流とか個々の市町村で自前の交流をやっているところがある。それをセンターがバックアップし、センターをフルに使えるように役割、地方のことを考えてやっていく必要がある。センターを大きくするといふ考え方ができるので、その推進のためにも、いまできるものをフルに機能させていきたい。

### 生活上の先兵的役割

山崎 道民のセンターにするためには、行政もそういうことで動いてもらわなければならない。道の発展計画も、札幌一眼レフにしないというところで設定されている。センターはあくまでも物理的な建物でなく、全道的な意識面でのセンターということをうえつけていって欲しい。日本は西欧文化を、北海道は本州文化を取り入れてきたが、本州は西欧文化、技術の取り入れも限界にきている。従って北海道が新しい視点から北方文化を取り入れ、生活上の先

兵的作用をしていかなければならぬし、北海道を名実ともに日本のな

かの国際性豊かなところにした。若い人を北方圏諸地域に送り、いい意味の国際人にしていきたい。ある本で読んだが、北海道の人は北歐とかロシア文学を読む率が高い。それだけ北方圏地域に親近感があるわけ、いろんな活動を通じて北方圏意識を定着させ、センターを道民のものにしていきたい。

### 頭脳的第三セクターに

金井 北海道の快適な生活のために、北国に合った文化、生活、商品開発などを一生懸命考えていかななくてはならない。札幌の大通公園の噴水にしても、冬は使えない。スウェーデンでは、冬はスケートリンクになっている。環境やまちの美観なども含めて生活を快適にするため、デザインナー、学者、文化人などが真剣に取り組める場、将来の北海道の人材が道外に流出しないよう歯どめになる場、センターは、そういう場になつてもらいたい。事業運営に第三セクターという方式があるが、センターは、頭脳的第三セクターとして活動してもらうことに期待している。

宮嶋 今日貴重なご意見をいただきありがとうございます。





北海道教育大学助教授  
北方圏交流推進委員会委員

### 伊藤 隆一氏

出来る。この「伊藤ライブラリー」もいまではすっかり有名になったため、月間の貸し出しも五回も超える。見た人は「なるほど」と感心しながら、実際にわがふるさと北海道と比べてあまりにも北海道の「足りな

## 北欧と民族資料を交換したい

「へー、伊藤先生って大変な芸術家なのですね」と、びっくりさせたのは昨年五月、札幌で開いた工芸展。十三年ぶりの個展というから確かに珍しくもあつたろうが、卵の殻を細かく刻んで張りつ

はくわしい。昭和三十九年、シベリア経由で北欧を訪れてから、もうかれこれ、十三回も向こうへ行っている。近年は一年二回のペース。

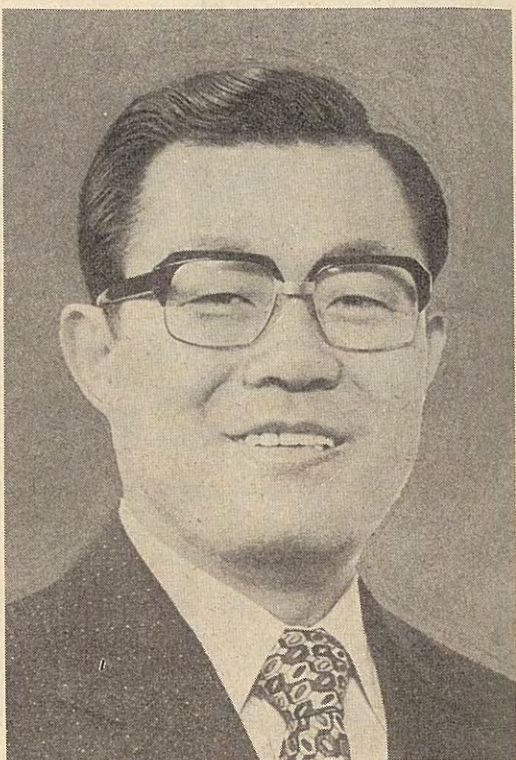
「本業のクラフトの研究は、やはり造形美術分野で優れている北

クリスマス、正月には海外から五十通近いカードが届けられる。フィンランド人が泊まったり、デ



市長に就任してまる五ヶ月。初の子算議会も無事乗り切って、やっと一息ついた。なにせ三期十二年の長期にわたった革新市政で

「就任直後の釧路市の経済は二百億の直撃による北転船の減船問題、中小企業の倒産による雇用



釧路市長  
鰐淵 俊之氏

## 北方圏構想を織込む総合計画

対策など難問が山積していた。また、市役所内部でも市政一新のための機構改革、人事を抱え寝食を忘れ、仕事に取り組んだ。このバックボーンとなったのは、市民

度予算は、約六百億円の大型予

算となった。「快適都市への出発」を掲げ、学校教育施設の充実、道路、下水道など生活環境整備を公約してきたが、今予算では学校教育施設に重点配分している。

「これからの日本経済は、水産、農林業とも国際協調をなおざりにはできない。輸入原料主体の工業化を進めるうえで、釧路西港を持つ釧路市は、わが国の流通拠点となる最有力地だ」とこれまでのような生産一本ヤリの釧路市経済の方向転換を呼びかけ、「全国的に企業誘致が難しいとき、手をこまねいてはいけぬ」と中央とのパイプを強めるため、市の東京事務所設置を決めた。また、北方圏構想にも真剣に取り組み、今年改定する市総合計画のなかに「北方圏構想」を盛り込み、資源、文化交流を検討する新機構を考

校間格差の是正に対応し、単年度でこれほどの新設校建設、増改築を手がけたのは初めてでしょう」とその実行力を力説する。この人は、逆境に強い人といわれている。高校時代に父の死にあり、卒業後は結核を病んで二年間の闘病生活。しかし、それにも負けず大学（北大）に進学、アルバイトをしながらの苦勞の連続。こうした辛酸の生活から得た体験がバイタリティーを培い、健康、社会福祉、教育に深い関心を寄せ

昭和三十六年から七年間市役所勤務。四十四年市議に当選、四十八年の市長選に山口氏と対決したが惜敗。涙もろく、映画「寅さんシリーズ」のファン。釧路市出身、四十一歳。

# 贈って喜ばれる館の洋菓子……

味を大切に作る心が  
館の洋菓子に生きています。

洋菓子の  
**館** やかた

小樽市花園銀座街  
☎23-2211  
札幌パルコ地下2階  
☎241-2014

くらしに夢と満足を

# 道央信用金庫

理事長 **小島 藤 伸**

本店 札幌市中央区南3条西3丁目 支店11カ店

## ここは心ゆたかな別世界。

お部屋ではあなたのための24時間ルームサービス

●シングルルーム ●ツインルーム ●ダブルルーム ●デラックスツインルーム ●和室

本格派中国料理、季節の和食堂  
ナウなフィーリングのティーサロン **1階**

●中国料理「錦」 ●和食堂「松風」 ●ティーサロン「ピカケ」 ●ロビー ●フロント

パーティからご披露宴、国際会議まで  
豪華なプリンスホールが魅力 **2階**

●大・中・小宴会場 ●結婚式場 ●写真 ●美容室 ●衣裳室 ●ロビー ●婚礼受付

すばらしい眺めと音楽の中で  
世界の名画とお料理を **12階**

●レストラン「ピノ」 ●スカイラウンジ「シャトレース」 ●ブティック「西武PISA」

地下鉄東西線西11丁目駅下車徒歩2分  
**札幌プリンスホテル**  
札幌市中央区南2条西11丁目 ☎060 TEL.(011)231-5310

36ホールのパブリックコース  
**4月22日(土) オープン**



**北海道カントリークラブ 札幌広島コース**  
札幌都広島町字中の沢450-1 ☎061-11 TEL.(01137)3-6511



# 生命と死を追求する表現派の巨匠 5月5日〜26日、道立近代美術館で

生命と死を追求する表現派の巨匠  
5月5日〜26日、道立近代美術館で



ムンクの代表作 マドンナ

「北欧の魂」とまでいわれるノルウェーの誇る画家、エドワード・ムンクの版画展が五月五日から二十八日まで、札幌市中央区北一西十七、道立近代美術館で開かれる。

社団法人・北方圏センター、道立近代美術館、日本美術館企画協議会、日本経済新聞社の共催、外務省、文化庁、ノルウェー王国大使館の後援。四十九年秋、堂垣内知事がノルウェーのオスロにある市立ムンク美術館を訪れた時、その人間性、生命と死を追求した圧倒するような力強い

「愛し悩む生きた人間を描かねば」と生涯続く決定的なテーマ「生命のフリーズ」の連作の構想を抱く。二十歳代後半から四十歳にかけては、これらの作品を描きまくる、ヨ

「愛し悩む生きた人間を描かねば」と生涯続く決定的なテーマ「生命のフリーズ」の連作の構想を抱く。二十歳代後半から四十歳にかけては、これらの作品を描きまくる、ヨ

「愛し悩む生きた人間を描かねば」と生涯続く決定的なテーマ「生命のフリーズ」の連作の構想を抱く。二十歳代後半から四十歳にかけては、これらの作品を描きまくる、ヨ

「愛し悩む生きた人間を描かねば」と生涯続く決定的なテーマ「生命のフリーズ」の連作の構想を抱く。二十歳代後半から四十歳にかけては、これらの作品を描きまくる、ヨ

「愛し悩む生きた人間を描かねば」と生涯続く決定的なテーマ「生命のフリーズ」の連作の構想を抱く。二十歳代後半から四十歳にかけては、これらの作品を描きまくる、ヨ

「愛し悩む生きた人間を描かねば」と生涯続く決定的なテーマ「生命のフリーズ」の連作の構想を抱く。二十歳代後半から四十歳にかけては、これらの作品を描きまくる、ヨ

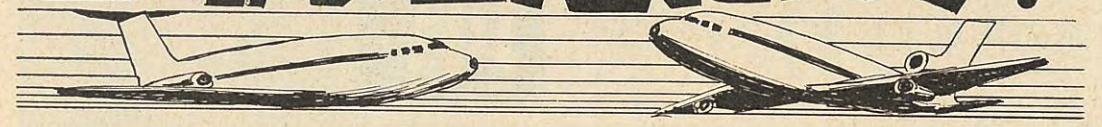
百十八点をよりすぐり、日本へ持つてくることになった。

作品の中には、代表の一つで愛に関する連作の中心的作品「マドンナ」(愛する女)の石版画(一八九五―一九〇二年作)をはじめ、木版、石版組み合わせて青、黄、赤、緑の四色を巧みに使った「波止場の少女たち」(一九二〇年)、灰色厚紙を使った木版画「波の中の恋人たち」(一九二六年)など、話題作もずらり。

ムンク展は、大がかりなものとしては七年前にわが国初公開、大変な人気を呼んだが、今回は版画ばかりとはいえず、初公開作品もいろいろえ、モノクロームと多色刷りをうまくミックスさせたユニークな展覧会ともいわれる。むろん、北海道ではいずれも初公開。ヨーロッパでもムンクの人気は、ここ数年急上昇。道内にも直接、オスロまで出かけて見に行つた熱烈なファンもいるだけに、多くの観客を集め、話題を呼ぶものとみられる。

観覧料は、一般五百円(団体割引四百円)、高校・大学生三百円(同二百五十円)、小学・中学生二百円(同百五十円)

# を国際空港にしよう!



## 北海道から世界に飛びたつ

北海道から世界に飛びたつ空港を―千歳空港の国際化を早期に実現させようとの動きが高まってきた。成田空港の開港が、逆に道内からの海外旅行を不便にすること、新千歳空港の工事の大幅な遅れ、さらに、北方圏構想推進にともなう北方圏諸国との交流が活発化していることが、千歳の国際空港化要求の大きな要因。堂垣内知事は年頭の記者会見で同問題を重点事項としてとり上げ、一月三十日に官民一体の「千歳空港国際化促進連絡協議会」(会長 榎

原 泰明副知事) が設立された。北の玄関口、北方圏交流の拠点として千歳空港の国際化は大きなウエイトを持つが、その実現には越えなければならない壁もある。しかし、道をはじめ関係市、航空関係団体とも、国際化へ積極的な取り組みをみせており、全道あげての運動展開で、早期実現の可能性は十分にある。千歳の国際化運動の背景と問題点をさぐってみた。

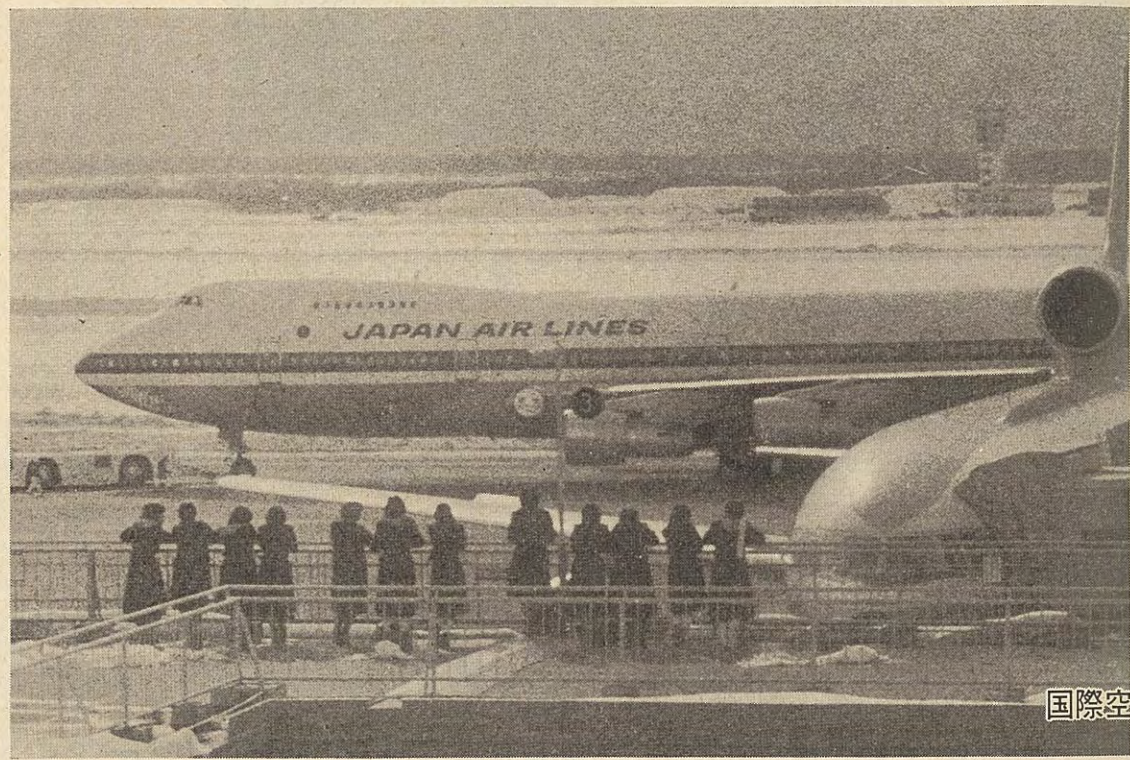
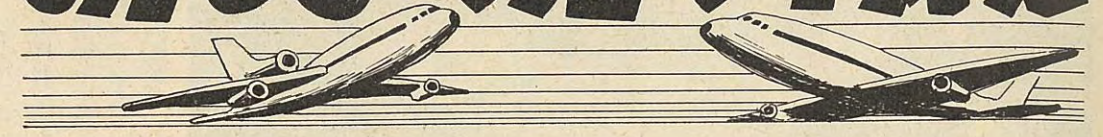


港の必要性が論議を呼ぶ千歳空港

### 促進協が発足

「千歳空港国際化促進連絡協議会」は道、札幌、千歳、苫小牧、室蘭の関係市、日航、全日空、東亜国内の航空三社、道商連、道経連など経済団体、さらに、札幌税関支署、札幌入国管理事務所など二十七団体で構成されている。同連絡協は「企画班」(全体的な国際化のプログラム作成)「CIQ班」(税関、検疫、出入国管理の検討)「エアカーゴ班」(航空貨物の取り扱い)「利用促進

# みんなの力で千歳



国際空

班(国際線の需要計画作成)の四分科会を設置、これらの問題に関する資料収集、調査、研究を進め、その調査結果をもとに関係自治体や団体が運動を展開していくことになっている。

### 成田以北は国際空港がない

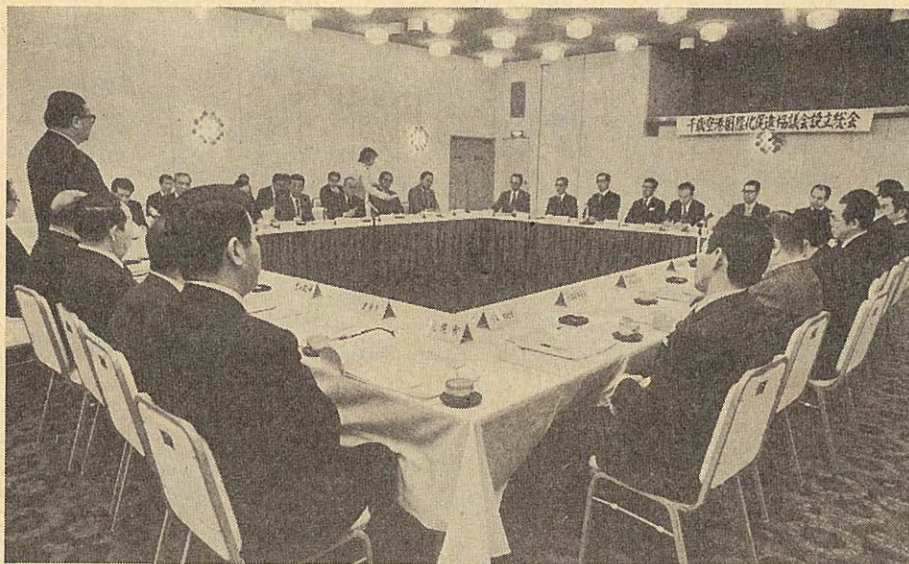
現在、日本で国際空港に規定されているのは、成田、羽田、大阪の三空港だが、現実に国際線が乗り入れられており、実質的に国際空港といわれているのが、新潟、名古屋、福岡、鹿児島、那覇と五空港ある。これを見ると成田以北に国際空港はなく、九州に二空港あって東北、北海道はゼロ。海外と結ぶ空の足は西高東低がきわだっている。

このような状況のなかで、道内からの海外旅行者は、年間六万人と人数的にはまだ少ないが、全国の伸び率が横ばいのなかで道内の伸び率は全国より三、四倍と高い。それだけ、海外旅行の潜在需要がまだまだあるとみることができる。

### 成田開港てさらに不便に

千歳空港国際化の運動の起爆剤の一つに成田空港の開港があるが、これまでの羽田発の国際線でも、一日

二十便の北回り線が、羽田から北海道上空を飛んでいく。「千歳から直結、発着できれば時間も経費もずいぶん分ちがう」という声は強かった。これが、国際線の成田移行でどうなるのか。道内客に多く利用されている



1月末に行われた千歳空港国際化促進協議会の設立総会（札幌東急ホテルで）

東南アジア線、ハワイ、ロサンゼルス、サンフランシスコなど、米国と結ぶ太平洋線は、飛びたつ時間が、午前九時から同十時に便が集中している。道内からの旅行者は千歳—羽田のあと、成田まで電車、車、バスを利用しなければならぬ。このため、千歳発の一番便を利用して、その日のうちにうまく国際線に乗り継ぐのが無理という場合がでてくる。東京、あるいは成田で一泊して利用するというケースが多くなり、千歳—羽田間の運賃に成田までの交通費、そして宿泊費と、負担はこれまで以上にかかることになる。海外から

ら帰ってきた時も同様のケースとなることが多い。成田開港は、これまで高い率で伸びてきた道内の海外旅行ムードに水をさす一面を持っているともいえる。

ところが、千歳が国際空港化したらどうなるだろうか。千歳—羽田、羽田—成田、そして宿泊という経費が不要となり、時間的ロスが解消されることはもとより、潜在している海外旅行者が、はっきりと需要数字になって現れてくるのは当然のこと。さらに、外人観光客、ビジネス旅行者も北海道に目を向け、外国航空会社、旅行関係社の日本旅行企画にも、札幌を中心とした北海道コースが登場することは当然予想される。

**精密産業の企業誘致も**

便利になるのは人の問題ばかりではない。国際航空貨物基地として、千歳周辺に輸出を主体にした精密産業などの企業誘致の機運が生まれてくることも予測される。輸入にしても、乳牛は、これまで八〇%が北海道向け。これが千歳へ直送できれば、東京—千歳の輸送費が一頭当たり二万五千円の節約になるといえる。千歳は



**くつろぎの、日航機です。**

空の上で、どうぞゆったりとおくつろぎください。私たち日航スチュワーデス、「お子さま、お年寄り、ビジネスマンの方々、皆さまにきめ細やかなくばり」といつも一人一人、心掛けています。どんなささいなお世話にも真心を込めます。なんなりとご遠慮なく私どもにお申し付けください。さ、この次のお出かけ、心の通う日航機でどうぞ。

ご予約・お問合せは

札幌/011(231)0231 旭川/0166(24)1234 釧路/0154(22)0157  
室蘭/0143(23)1144 苫小牧/0144(33)5010 函館/0138(26)9881  
帯広/0155(25)3530



日本航空

国際航空貨物基地として、立地条件に恵まれている。千歳の発展は、そのまま日本産業の発展につながる」と、道内経済界が千歳の国際化を強調しているのも、有形無形のメリットが生まれることを十分踏まえていること。

**エアカーゴ計画委も発足**

今年二月、「新千歳空港エアカーゴターミナル計画調査委員会」が発足したが、その設立世話人には今井道雄道商連会頭ら道内関係者のほか、植村甲午郎経団連名誉会長を会長に、中央財界人が名を連ねている。いま工事が行われている新千歳空港にわが国では初めての系統的な航空貨物ターミナルを建設、物資の集散を効率的にしようという構想。これも、千歳の国際空港化を前提にしている計画であり、北海道に国際空港をとという機運が中央財界にも浸透してきたことの証拠で、千歳の国際化に大きな力となっている。

**新千歳空港の工事の遅れ**

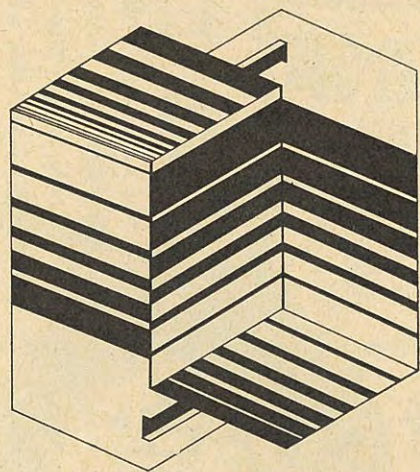
第二には、将来、国際空港にと建設を進めている新千歳空港の工事の大幅な遅れが現千歳空港の国際化促進につながっている。新千歳空港

は、現空港の南東一・五き苦小牧寄りになる。総面積は六百八十三畝。南北に走る全長三千餘、幅六十餘の滑走路二本と誘導路、計器着陸装置が三基。駐機場は旅客乗降用二十九バースなど五十六バースの規模。四十八年十二月告示され、五十三年開港の予定だったが、オイル・ショックによる総需要抑制のしわ寄せをもちに受けて、着工したのは五十年十一月。その後の予算も伸び悩み、第三次空港整備五カ年計画から第四次五カ年計画にずれ込んでいる。完成は今後の景気動向にもよるが、五十九年度、あるいは六十年以降になるのでは、という声もでてくる。

**六百万人を超える旅客**

現在の千歳空港は、一日の民間機の離着陸が百五十回。大型機の導入で、旅客数は着実に伸び、五十一年五百八十八万人、五十二年は六百万人を超えた。乗降客は今後さらに増加することは目に見えており、現空港の整備とともにやはり新空港の早期完成が必要となる。このためにも、現空港の国際空港実績を積み上げ、新空港建設の促進剤とすることが必要だ。

**鉄製品を通じて社会に貢献する**



**営業品目**

- 板金 線金 鋼網 棒
- 鉄タ 針形金 鋼
- 鉛 針形金 鋼
- 鉛 量接 C
- 力鉄 釘 軽溶 P
- 断熱パネル 鋼板



カラートタン  
雪印 亜鉛鉄板

**北海鋼機株式会社**

本社 札幌市中央区北1条西2丁目札商ビル 電話 231-5641  
工場 江別市上江別441番地 電話 2-3361  
東京営業所 東京都千代田区大手町2丁目6-2日本ビル 電話 270-3926

### 国際線週二便以上の発着

これらの要件に加えて、千歳空港の国際化推進の機運を高めた背景には、北方圏諸国との交流がある。四十九年九月、札幌で開かれた北方圏環境会議には、北歐、カナダ、アメリカの二十地域の代表が参加し、大成功に終わったが、その裏でささやかれたのは、不便な空の便。北方圏の拠点地域をめざす北海道に国際空港がないことが、北方圏諸国の参加者たちの目には、奇異に映ったに違いない。堂垣内知事が「北方圏との交流を深めるためには、どうして千歳空港を国際化しなければダメだ。アラスカなどは強く要望している。国際線を週二便以上発着させた」と積極的発言をしているのも、このような背景があったからだ。

### 北方圏交流促進を引き金に

この北方圏環境会議を契機に、経済、文化、スポーツ、学術と各分野での交流が盛り上がりつつあり、北歐、カナダ、アラスカへの視察旅行もひんばんになっている。今秋十一月にカナダのブリティッシュ・コロンビア州で「天然資源の総合管理」をテーマに開かれる北方圏会議

は、さらに北方圏交流促進の引き金になることが考えられる。

北方圏の拠点都市を目指す札幌市も、日米市長・商工会議所会頭会議などの国際会議の開催、さらに、冬季オリンピックの再招致に踏み切ったことから、千歳の国際化へ向けて運動が一段と強まっている。

同市は新千歳空港整備事業費として四十九年から予算を計上、五十二年度は一千六百四十五万円、五十三年度は一千三百三十万円を計上している。それだけ、他都市より千歳の国際化には、かかわりが強いといえる。加えて、六年後の冬季オリンピックをめぐる、ライバルのスウェーデンと激しい招致運動を展開しているだけに、有利な条件となる千歳空港の国際化は一日も早く実現して欲しいわけだ。

また、地元の千歳市も、当然のことながら国際化については、この自治体より積極的、現在、同市内には本州から六十を越す企業が進出しているが、どの企業も「千歳は北海道という感じがしない」という。空港から入る税は、同市の台所をうるおしているの、国際空港化すれば、さらに付加価値の高い施設が増えることが予想される。と同時に、千歳

市が中央経済界から目をつけられることは当然で、その経済的メリットは大きい。東峰市長は「来年にも国際線の一番機が飛んでくることを願っている」と、千歳空港国際化促進連絡協議会の強力なバックアップを得て、今後、早期実現に向けての運動を推進する構えだ。

### 航空各社も前向きな姿勢

いずれにしても、北方圏構想の柱でもある交流は、人も物も含めてダイレクトの交通手段を持つことが最大の効果を生むわけで、国際社会での北海道として特色ある北海道づくりを目指す、この北方圏構想が、千歳の国際空港化運動を高めた大きな要因といえる。千歳の国際化について採算面から必ずしも積極的でなかった航空各社も、成田空港開港が本決まりとなった昨年から前向きな姿勢をみせ、日航札幌支店の奥泉省吾支店長は「羽田以北に国際空港がないので、千歳が実現すれば、東北六県の利用客にも便利になるはず」という。

### 難点は自衛隊機の発着

永年の夢を実現するための官民一体の組織ができ、そのパワーが期待

されるが、千歳の国際化にはいくつかの壁があり、それを乗り越えなければならぬ。

その一つは、現空港が防衛庁の管理下であり、民間航空が借用しているという「共用空港」であること。民航機の一日の発着が百五十回に、自衛隊機の発着も六十〜八十回ある。この軍民共用空港に国際線が乗り入れる場合、支障がないとはいえない。新千歳空港というマイホームができれば、堂々と国際化を促進できるわけだが、現空港の家主の防衛庁は「防衛庁の飛行場という立場からすると国際空港になじまない」という意向だ。だが、金丸防衛庁長官は、北海道開発総合計画の中で、千歳空港への国際線乗り入れが盛り込まれていることについて「週二、三便なら協力できるが、便数が多くなると困難だ」と述べており、堂垣内知事がいう週二、三便は発着させた、という考えと一致している。しかし、具体的な乗り入れについては、相手側の意向もあり、また防衛庁と調整をはからなければならぬ。

### 北海道の魅力を引き出す

次に、国際航空は相手国との二国間交流が前提になるので、お互いに

平等なメリットがなければならぬ。北海道からの需要があっても、向こうからの需要が一致するかどうか。「千歳は魅力がないので、成田や大阪に降りる」といわれると需要バランスが崩れる。そのためには北海道の魅力を引き出すだけでなく、北海道の魅力を打ち出していくことも必要だ。北方圏交流を核にした国際交流、出かけるばかりでなく、受け入れるための諸策をも考えていかなければならぬ。

また、国際線の乗り入れ条件には、税関、出入国審査、検疫の各施設の整備が必要。定期航路開設となれば、当然配置されなければならないが、一気にそこまでいけるかが問題にもなる。国際線の臨時便を飛ばすとしても、公共性の高いもの以外については、厚生省はかなり渋い姿勢だけに一つの課題となる。

しかし、需要の喚起、防衛庁との調整、C I Q施設にしても、国内政治で解決できる問題であるだけに、北海道全体の力をまとめて中央に攻勢をかければ、国際空港としての離陸は可能といえる。

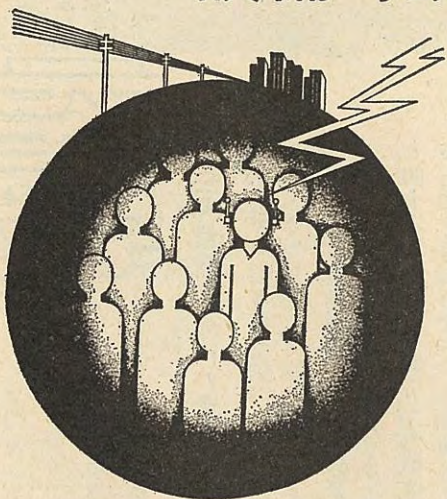
毎日新聞報道部

山田 吉一

世界をつなぐ電波のかけ橋

# 電信／電話

## 設備・拡張・改良・整備



株式会社 北海道通信電設

取締役社長 山本 勉

〈本社〉小樽市住吉町3番15号 ☎代23-3181

〈営業所〉札幌・小樽・函館・釧路・旭川・苫小牧

〈出張所〉北見・室蘭

# 北海道経済連合会

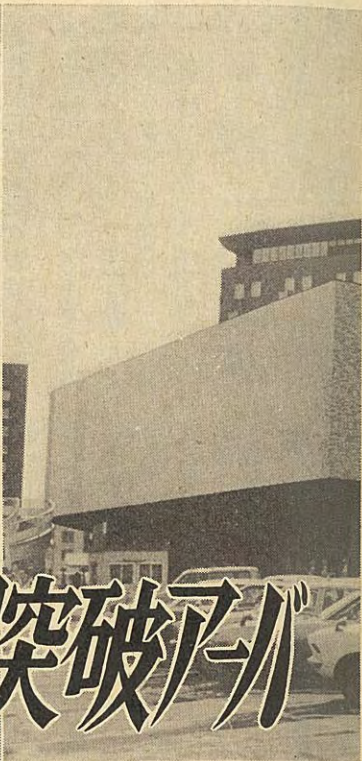
会長 岩本常次

060 札幌市中央区北3条西4丁目(日本生命ビル6階)

電話 011-221-6166



# 年商200億突破アバ



パーク総支配人  
林 英夫氏



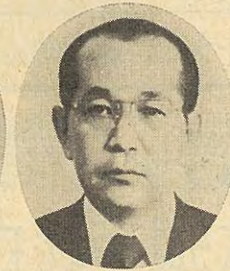
# 氷川雄三井観光開発



パーク営業本部長  
本堂 正己氏



パーク管理本部長  
梶原 俊夫氏



グランド副支配人  
石川 達也氏



グランド支配人  
大塚 敬一氏

同社の事業はホテル、レストランが主体で、本州の福岡、大阪、東京、銀座など六カ所あるアーバンホテル群のほか、関連事業として滋賀県大津や静岡県内を走る東名高速道路の日本ハイウェイサービス、千葉県鴨川のシーワールド、キャッツ・アンド・ドッグスチェーンも経営しており、年商約二百億円。現在のところ

か、定山溪章月グランドホテル、支笏湖グランドホテル、摩周グランドホテル、ホテル阿寒湖荘と、道内に六つの一流ホテルを有し、苫小牧にはゴルフ場、大沼には大沼牧場を経営するホテル業界ではナンバーワンの会社なのだ。  
これほどの会社でありながら、社名になじみがないのもムリはない。実は四十六年十二月、ちょうど札幌冬季オリンピックが開かれた前年、社名を変更したばかりで、その前身はといえば、社長の名前で、ああ、そうか、とおわかりのごとく北炭観光開発というわけ。この名称を聞けば、道民にはなじみの深い会社のはずだ。もともと同社は三井グループの一員。それもごく近い構成だったのだが、社名を変更、大三井の中核として名実ともにその地位を確立した。

三井観光開発（萩原吉太郎社長、本社・東京）——すなわち、この会社は、前述の札幌の二大ホテルのほ

か、定山溪章月グランドホテル、支笏湖グランドホテル、摩周グランドホテル、ホテル阿寒湖荘と、道内に六つの一流ホテルを有し、苫小牧にはゴルフ場、大沼には大沼牧場を経営するホテル業界ではナンバーワンの会社なのだ。  
これほどの会社でありながら、社名になじみがないのもムリはない。実は四十六年十二月、ちょうど札幌冬季オリンピックが開かれた前年、社名を変更したばかりで、その前身はといえば、社長の名前で、ああ、そうか、とおわかりのごとく北炭観光開発というわけ。この名称を聞けば、道民にはなじみの深い会社のはずだ。もともと同社は三井グループの一員。それもごく近い構成だったのだが、社名を変更、大三井の中核として名実ともにその地位を確立した。

三井観光開発——ハテ？  
札幌のマチの中で二、三人に聞いてみた。  
——三井観光開発という会社を知っていますか。  
四十歳くらいの主婦。「名前は聞いたことはあるけど、なにをしている会社ですか？ 観光についているからバスかロープウエーの会社ですか？」  
五十歳前後の会社員。「さあー聞いたことないね。何の会社？」  
——じゃあ、グランドホテルやパークホテルは。  
いずれも「もちろん知っていますよ。たまたま利用していますよ。」  
この話はウソではない。というのも、おほずかしい話なのだが、つい最近まで、記者自身も知らなかったのだ、ほかの人に聞いてみた結果なのだ。

三井観光開発——ハテ？

# 地盤揺るがず グランドパークホテルの補完作戦

道内での事業が百三十億円と全体の六五%を占めており、北海道を基盤にした企業という性格は変わっていない。その中でも札幌ブランド、札幌

# 他の追隨を許さぬブランドホテル

## 道・札幌の発展とともに歩む

札幌のマチの中心部にそびえ立つレンガタイルの重厚なたたずまい、広いロビー、豪華な室内装飾―どれもとって道内一の名にそむかない。それもそのはず、札幌ブランドホテルの歴史は、北海道と、札幌と、その発展とともに歩んでいるといつても過言ではない。簡単にその歴史をのぞいてみよう。

## 半世紀に近いその歴史

創立は昭和八年、北海道第二期拓殖計画の一環として、道、札幌市、札幌商工会議所の発意によって創立した。当時、本格的なホテルは市内はおろか、道内にも、東京以北にも皆無。その中で、将来の北海道、札幌の発展を見越して、建設の機運が盛り上がったものだった。建築資金

と、実に三〇%にあたり、他の追隨を許していない。

## 新館オープンも嬉しい誤算

「実は不況のさ中に新館がオープンしたとき、四十三億円くらいの見通しをたてたのですが、オープン景気もあって、食堂部門が予想をはるかに上回る伸びがあったこと、クリスタルホール(催事場)の利用が多かったことで、うれしい見込み違いがあった」と、大塚敬一支配人。

「これまでのところ、ウチの収入は客室部門三〇%、食堂部門三四%、宴会部門三一%、その他五%という割合。これは東京などに比べると、非常に客室部門の稼働率が低いのです。もつともこれはよそのホテルも同様ですが、札幌でのホテル経営の難しい点なのです」。

## デカンショ観光の悩み

東京と札幌の違い―端的にいえばこういふことだ。

ひとつには滞留人口が少ないという点。東京に比べて国際会議がなく、帝国ホテルなどにみる外国人の宿泊が六〇%以上などという数字にははるかにおよばない。二つには単価が安いということ。単価が安くて

左右するものだけに、社内的にも特に期待がかけられているわけだ。

は六十万円。延べ床面積は六、六〇〇平方呎。地上五階、地下一階の堂々たる本格的洋風ホテルが、平屋ばかりの札幌市内にこつ然と出来あがったのだから、札幌っ子には大変な驚きであったと同時に自慢でもあったらしい。当時、水洗トイレの設備は北大に次いで二番目だったというから、そのざん新さが知れる。

営業開始は同九年。唯一のホテルとして、大きな会議や会合、知名人の結婚式などはほとんど同ホテルで開かれ、北海道の開発に文化面での先駆的役割を果たしてきている。終戦後は同二十年八月から同二十七年九月までの間、進駐米軍に接収されるという不運もあったが。

## 国体で陛下もご宿泊

二十九年には、第九回国民体育大会の開催で来道された天皇、皇后兩陛下は同様ににかかるのだから収益率も低いというわけだ。三つには季節の変動が激しいということ。市内のどこのホテルでも観光シーズンには客室は満杯だが、シーズンはずすと、がら空きという状態になる。これらのことは、一つの企業だけの努力で解決できる問題ではなく、どうしても受け身にならざるを得ない。こういうところに大塚支配人のいう難しさがあるわけだ。そうかといつて腕をこまねいているわけにはいかないのが、商売の厳しさ。

## 東側ゾーンの大衆化が成功

「札幌観光協会や市、道などにも働きかけて、オフシーズンにも客を誘致できるように魅力づくりが必要だ。幸い、JALとタイアップしたスキーツアーが最近好評で、平均三万二、三千人ほどの利用客があったのですが、今年は個人消費の停滞や天候不順のせいもあって、例年の一〇%もダウンした。でも、うちが伸びた大きな原因は、これまで、敷居が高いといわれていた点を、食堂やクリスタルホールの活用で、みなさんに親しみやすいホテルにしたという点にあるのではないでしょう

か。いつてみれば東側ゾーンの大衆

陛下の御宿泊所になるなど、文化的な香りの高いホテルとしての風格はいやがうえにも高められ、同ホテルで食事をしたり、結婚式をあげたりすることが、札幌市民だけでなく、道民のステータスシンボルにまでなつたほどだった。

## 三十七年北炭の翼下に

その後も北海道の発展とともに業績は順調に伸びてきたものの、本州資本が、その将来性に目をつけ同三十四年には買い占めに動くというアランがあつたが、当時の岩田彦次郎会長が、どうせなら、北海道に地盤をもつ会社にといいことで、北炭に協力を求めたのが、同社とのふれあいの始まり。この結果、北炭の翼下に入り、三十七年には萩原吉太郎氏が六代目の社長に就任。四十年には北炭観光開発が直接経営にあたり、

化に成功したということですか。クリスタルホールの場合、かなり冒険ではあつたのですが、失敗を恐れずにやったことが結果的によかつた。今年はまだ十二月くらいの前約も入っているほどです。それと食堂も安くて味がよく量も多いということ。市民のみなさんに認められたということでしょう。おかげさまでコーヒートップ・ライラックなど、一七七席が平均四回転、多いときで七回転もしているほどです」といふ。事実、一階のライラックはいつ行つてもたくさんはいつている。

それではこれからの展望は―といえ「ウチの場合、食堂、宴会は心配ない。問題は客室部門のだが、これも現在では客室利用率が稼働率を上回っている。これは他のホテルと際立った違いですが、これにともなうて、収入率も年間を通じてもう少しがんばれば、よくなるはず。これが、これからの課題でしょう」と、明確な分析。札幌の、北海道のナンパーワンホテルとしての地位は、当然、ゆるぎそうにもない。

## 計数に明るい大塚支配人

同ホテルの従業員は五百十四人。その頂点はもちろん大塚敬一取締

ここで同社の一事業所としての地位が確立した。

## ホテル戦国時代も地盤不動

しかし、そのころから札幌市内のホテル業界も戦国時代の様相を呈してくる。三十九年には故市村清氏のリコー三愛グループが、ホテル三愛の営業を始め、引き続きローヤルホテルがオープン、年を追って東急、全日空、プリンス、国際、センチュリーローヤルなどが次々に開業しているが、ブランドの地位は揺るがない。冬季オリンピック、高度成長時代を迎えて業績も年々二〇%もの高率で伸びます。この間、四十一年には新館を建設。四十八年にも東側部分の新館建設に着手したが、四十九年に日本全体を襲ったオイル・ショックによる不況のアランは、同ホテルにも例外なく襲いかかり、五十年の完成が一年伸びて五十二年十二月、室数五百二十一、収容能力八百三十四人という大ホテルが完成した。五十二年の売り上げは四十六億円。パン、缶詰、食堂部門の外販部をあわせると六十億円に達した。

これは年間二百億円といわれている札幌市内ホテル業界(政府登録の九ホテル)の総売り上げからみる

役・支配人。大塚さんは大正十四年生まれ、五十〇歳。東京出身で早実の出。昭和三十三年に北炭に入つて以来経理畑一筋。四十九年に同ホテルの副支配人、支配人を経験。一時、三井観光本社に戻つたが五十一年十一月、新館オープンと同時に支配人に就任した。長い間、経理畑にいただけあつて計数には非常に強く、どちらかといえば、これまで営業畑が主流だったホテル支配人の中では異色ともいえるが、これからホテルが企業として伸びていくための経営者としては最適任といえる。

自分では、私は机の上で数字を分析しているのが一番楽しい。人と付き合うのが苦手です。というがどうしてどうして、話は論理的でわかりやすく、説得力もあつて、非常に頼りになる親分肌。一度話せばすっかりその魅力にとりつかれるというタイプだ。最近でこそ、量は控えているが、かつては酒豪とか。麻雀、ゴルフと趣味も多種。囲碁は二段の腕前。社員にいわせれば、豪放らいくだが、よく話を聞いて、適切なアドバイスをしてくれると、全幅の信頼を置いている。

## 営業一筋の石川副支配人



大塚 章氏



平賀 桂一氏



小笠原昭夫氏



渡辺 暁氏



南出 武志氏



西村 和彦氏



高橋 文男氏

大塚さんの片腕となつているのは石川達也取締役・副支配人。昭和六年生まれ、四十七歳。明大卒で三十九年に北炭観光入社。この人は営業一筋。人との付き合いが苦手という大塚支配人にかわって、対外的な付き合いを一手に引き受けている。腰が軽く、まめな人というのが大塚さんの評。この二人が営業と管理と、二本柱になつているのは心強い。

口八丁、手八丁の総務部長  
総務部長の杉岡章さんは昭和四年生まれの四十八歳。慶大卒

で四十三年、北炭から三井観光に移り、四十九年からの総務部長。頭が切れ、口八丁手八丁という評判。総務というポストは、どこの会社でも憎まれ役のところがあるが、シビアにこのポストをこなす杉岡さんは、まさにびつたりのはまり役。施設部長の平賀桂一さんは五十二歳。北大を卒業してすぐ北炭に入り、昨年までは北炭の施設を担当していた技術屋さん。ホテルも縁の下の力持ちとなる技術がこれから重要と、大塚支配人が北炭からしゃにむに引張ってきた人。

生き字引の販売部長  
小笠原昭夫販売部長は奈井江の出身、四十四歳。二十七年ランドホテルに入つて以来、接客、客室を担当している。麻雀、ゴルフは抜群のウデ。営業部長の渡辺暁さんは二十一年からランドホテルに勤務する生粋のホテルマン。二十二歳から四十七歳の今日まで食堂、宴会、営業とホテルの第一線をくまなく歩いてきた。いわばホテルの生き字引。札幌出身。

## 愛されるホテルを目指すパークホテル

### リコー・グループが建設

同社が誇るもう一方の雄、パークホテルは三十九年の創立。そもそもは故市村清氏が、札幌の将来を見越して、東北、北海道一の規模のもの

を...という事で建設したもの。二百二十二室、三百八十三人の収容人員は当時としてはかけ値なく最大のものだったが、設立のねらいはよかつたものの、約四カ月といわれる北海道の観光シーズンでは、東京風の

時四十五億円の負債があつたものを北炭が三六%を引き受けて再出発した。三年間の金利たな上げののち、四十五年から支払いを始め、六年足らずで十数億の負債を返済した。

### 五輪・地下鉄で息吹き返す

この好成绩のウラには、五輪の誘致が決まり、地下鉄の工事が始まつたという社会的な変化もあつたものの、パーク自身が、積極的に古いカラからの脱皮を図るための努力が今日の隆盛につながつたという面を見逃してはならない。

会に、結婚式に、パークの利用価値はグンと高まつた。加えて地下鉄も開通、足の便も飛躍的に便利になつた。ホテルの利用がふえると同時に客室の利用もふえた。いつてみれば、札幌市民型のホテルと観光型のホテルという組み合わせが、びつたりと両輪となつて動きはじめたといえる。

### 客室部門の強化をはかる

四十年五月から取締役・支配人に就任した林英夫さんは、こう、当時を振り返る。

### 大宴会ならパークへ

「札幌のマーケットリサーチを徹底的に行つた結果、宴会場に活路を見出した。東京では平均八十人前後の宴会が、札幌では百十八人。これを吸収するために、千六百六十五平方呎という当時はバカでかいパークホールを新設、宴会を一手引き受けたのが良かったのです。これで大規模な宴会はパークでという評判が定着した」。

このホールの新設はあつた。宴

昨年の年商は三十五億円。しかしその内訳は客室二〇%、宴会四〇%、食堂三五%、その他五%と宴会の比重が非常に高い。宴会指向の同ホテルにとっては当然のことながら、客室の比率が低いのが同ホテルの悩みにもなつてきているのだが...

### 一月三井観光と合併

同ホテルは今年一月三十一日に三井観光開発と合併、林さんは、同社の専務取締役・総支配人になつた。これで名実ともに札幌ランドホテルとも兄弟ホテルになつた。これまでは、同系列とはいへ、別会社。これからは同じ三井観光の社員として

### グランド・パーク補完作戦へ

「合併のメリットは大きいと思ひます。客室や宴会など二つのホテルで効果的に運用できる。宴会場や客室はこれまで偏つた受注があつたのですが、合併によつてローテーションを組んで活用できる」と、林さんはその効果を語る。

このことは、グランドホテルの大塚さんも同意見。この二つが、協力して「戦線」に乗り出していけば他のホテルにとつては、かなりの脅威になりかねない。

限られた客を、この過当競争の中で奪い合うのだから、ホテルの個性がこれからは重要になってくる。その意味ではパークには一つの顔ができてきつてくる。

それは林さんの顔だ。やさしいお

じいちゃんというふん囲気が、ホテル中に満ちている。同ホテルの motto は「愛されるホテル。心のこもつたサービス」。これは即、林さんの長いホテル勤務でつちかつた根本の原理でもある。

### パークの顔・林支配人

林さんは、札幌出身、五十九歳。二十七年札幌ランドホテルに入社以来、フロント、宿泊、宴会、食堂すべての部門を経験した生え抜きのホテルマン。今でも、どこにでも顔を出す。VIPの送迎は欠かさない。社員の一人は「私たちが一生懸命やつてもかなわないと思う。お客さま本位の気の配り方。いつになつたらあんなのでしょいか」と嘆息まじりにいうのである。

このことは半面、うるさいオヤジということにもなりかねないのだが、若い人達の意見をよくとり入れる柔軟性もある。若いころはよく飲んだアルコールも、胃の手術をしてからかなり減つた。それでも三年に一度くらいは酔つてころぶというから、始終武勇伝をやらかす酒のみにとつてはうれしい話。

### 料理の長老本堂営業本部長

料理の長老本堂営業本部長





小山内信一氏



野瀬 勝氏



横田 行雄氏

本堂正己営業  
本部長(役員待遇)は六十歳。  
岩手県出身。  
昭和八年、東京丸の内の中央亭を振り出しに各地のホテルを回り三十八年、ホテル三愛の調理部長。それ以来パークの料理の最高責任者として腕を振るう。四十三年、天皇陛下ご来道の折、献立を差し上げた。五輪のときはプレスセンター食堂のシェフとして好評をうけている。現在、道氷彫刻連合会会長。全日本司ちゅう師協会道支部副会長もしている。酒は量はいけながビール二本ほどで歌も出るほがらかな人。料理に関する古今東西の書籍集めは有名で、八百冊の蔵書を持つ。



伊達 東氏



藤井 昭司氏



藤村 信氏



島田 晴行氏



水野 正己氏



山中 鉄男氏

### 慎重派梶原管理本部長

梶原俊夫管理本部長(役員待遇)は札幌出身、五十二歳。北炭出身で四十一年北炭観光からパークに出向したのが、パークとのふれ合い。ずっと文書畑で五十年から管理本部長に就任した。石橋をたいて渡る慎重派で管理部門にはうってつけの人。寝酒の水割り二杯で二日酔いになったという特技?をもつ。暮は初段。カメラは、狂いのつく部類。

### 営業ベテラン小山内さん

営業副本部長の小山内信一さんは四十九歳。東京出身。二十八年、立大卒。日本ハイウェーサービス大津の支配人などを歴任。五十年グランドホテル食堂部長から今年三月パークにきた。十数年、商売上手な西日本地方でもまれてきただけあって、営業のベテラン。

野瀬勝・総務部副部長は四十二歳。福岡出身で中大法卒。卒業後数年間弁護士事務所にいただけあって法律

に明るく社内一の法律通。三十九年ホテル三愛に入り、一貫して管理部門。五十年現職に就任。いわゆる九州男児という評。ゴルフ、麻雀、酒、なんでもこい。特に麻雀は第一人者とか。でっかい声でうるさいですよともつばらの評判。これだけでも総務部のカナメとしては適任とみた。

### 多士済々の副部長級

経理部副部長の横田行雄さんは四十七歳。夕張出身。北炭出で事務畑。四十六年六月に北炭観光に移り、五十一年にパーク出向。温厚できちう面という評は経理マンとしてはうってつけの人物。努力家でもある。伊達東・用度担当副部長は四十四歳。札幌出身。成蹊大卒後、第一ホテル(東京・新橋)を振り出しに三十八年ホテル三愛入り。四十九年から経理部副部長。伊達藩の子孫で、副部長の中で一番の読書家。登山、スキー、テニスに興味。用度に関しては敵なしの力。

藤井昭司・販売部副部長は四十二

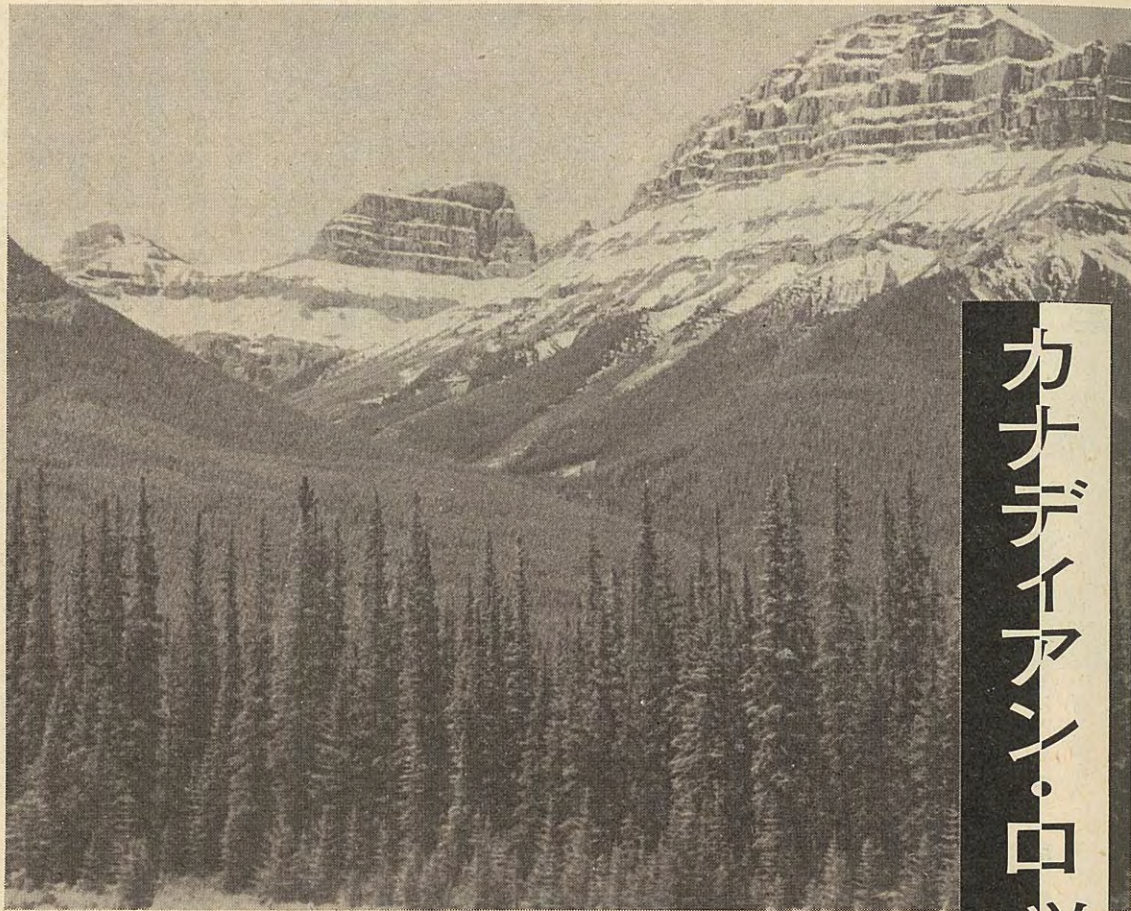
歳。岡山出身。三十五年中大商卒。三十九年三愛入社後、セールス一途。四十七年現職。豪放な性格で付き合いが上手。麻雀は払う方が多いくせに好きなんだなというのは野瀬さんの評。

藤村信・宿泊部副部長は五十一歳。札幌出身。二十七年札幌グランドホテル入社以来、客室専門のベテラン。四十年ホテル三愛に移り、四十八年に現職。頭が低くてうってつけの接客マン。

宴会部副部長の島田晴行さん。四十二歳。東京出身。ウェーターとして品川プリンスホテルを振り出しに三十九年からホテル三愛入り。四十九年に宴会部副部長。接客マナーでは抜群。センスもいと定評がある。

水野正己・食堂部副部長。四十九歳。東京出身。日本食堂、交詢社、クラブ・マヌエラなどを歩き、三十九年からホテル三愛勤務。長いパーテンドー生活で、カクテルには明るい。四十九年から現職。釣りが趣味。山中鉄男・調理部副部長。四十五歳。本堂さんの後を引き受ける第一人者。東京出身。親分肌で、面倒見がよい。

毎日新聞報道部・青木つとむ



# カナディアン・ロッキーの自然

## その2

### 覚

### 小島

カナディアン・ロッキーに生育するエンゲルマントウヒの林

カナダ環境省北部森林研究所  
プロジェクト・リーダー



### カナディアン・ロッキーの植生帯

カナディアン・ロッキーの植生帯の発達に大きな影響を与えている環境要因として気候があげられる。ロッキー山脈は山ろくから山頂にかけて二、三千分の標高差があるため、気候もその標高差に応じて変化するのはいうまでもない。ところが、ロッキー山脈は北西—南東方向に細長く伸びた山脈で、その長軸が太平洋からの偏西風の方向とほぼ直交するため、その西斜面と東斜面とではかなり明らかな気候のちがいが認められる。

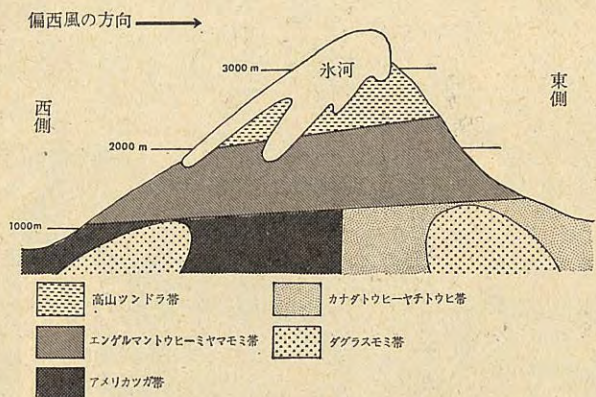
つまり、山脈の西斜面は海岸から約五百キロ内陸にあるとはいえ、まだ太平洋からの気団の影響下にあるため一般に気候は比較的温和で降水量が多く(年降水量千五百ミリ以上)また降水は冬に集中する。これに対して東斜面では、太平洋からの湿潤な気団もロッキー山脈という巨大な

地形的障害を越えるさいにほとんどの水分を西斜面に残してくるため、一般に気候は乾燥した大陸性となり、降水もどちらかといえば夏に集中する傾向を示す。また、年降水量も四百―五百ミリと半以下になる。

このように山脈の西斜面と東斜面では明らかに気候が変わるが、このほか東斜面の気候の特徴として、冬の間ときどきフöhn現象が発生することがあげられる。これは太平洋からの暖かい気団がロッキー山脈を越えて内陸にまで張り出し、極度に

寒冷な北極性気団と交代するときによく生じるもので、山越えのさいに水分を失った暖かい空気が東斜面に沿って下降するさい、断熱圧縮の結果として急激に温度が上がるものでこの現象が起きるとロッキー山脈東麓では僅か二、三時間で気温が二〇度以上も上昇することがある。このようなフöhn現象を現地ではシヌーク (chinook) と呼んでゐる。

このような気候の違いは当然そこに発達する植生に大きな影響を与えるが、カナディアン・ロッキーの植生は標高および山の斜面の位置の違いによる気候の差に対応して、アメリカカツガ帯、カナダトウヒ帯、ダグラスモミ帯、エンゲルマントウヒ帯、ヤチトウヒ帯、ミヤマモミ帯、および高山ツンドラ帯の五つの植生帯に分けられる。これらの植生帯の配置を模式的に示すと図のようになる。



カナディアン・ロッキーの植生帯

とところで、この図で面白い現象はそれぞれ面白い現象はそれぞれつまり東に向かつて標

高を増していることである。これは東斜面では気候がいつそう大陸性になるため、夏の気温が西斜面に比べてずっと高くなること、冬の積雪量が少ないため雪どけが早く、実質的に植物の生育期間が長くなることなどのため、同じ海抜高度の地点を比べると東斜面の方が夏の気候条件に恵まれていることによるものである。

アメリカカツガ帯

この植生帯はカナディアン・ロッキー西斜面の山ろくに広く認められる。この一帯は太平洋に向いているため、大陸性とはいえまだ気候は比較的温和で年降水量も千、千五百ミリと多く、しかも、それが冬に集中するため雪が多い。冬の間二、三回の積雪に覆われるが、この多量の積雪と比較的温和な冬のため、土壌はほとんど凍結しないか、凍結してもその深度が浅い。また、湿潤な気候と長期の被雪を反映して地表面には酸性度の強いモル型腐植が厚く堆積する。

このような気候の特性は土壌の洗脱を促すため、カナディアン・ロッキーの東麓に広く発達している。太平洋からの湿った気団もここまでは到達せず、気候は典型的な大陸性に変わる。つまり気温の年較差がきわめて大きく、したがって夏はかなり暑い冬は極端に寒くなる。年降水量は五百ミリ前後と西斜面に比べて半減する。しかし降水が夏に集中するため植物にとって水不足が起きることとはなく、それが森林の発達を可能にしている。冬は積雪が少なく、また気温も極度に低下するため土壌は完全に凍結し、しかもその深度も深い。このような気候の特性をよく見ると、実は北米タイガの気候によく似ていることがわかる。(北方圏第十八号三十二頁参照)

この植生帯はカナディアン・ロッキーの東麓に広く発達している。太平洋からの湿った気団もここまでは到達せず、気候は典型的な大陸性に変わる。つまり気温の年較差がきわめて大きく、したがって夏はかなり暑い冬は極端に寒くなる。年降水量は五百ミリ前後と西斜面に比べて半減する。しかし降水が夏に集中するため植物にとって水不足が起きることとはなく、それが森林の発達を可能にしている。冬は積雪が少なく、また気温も極度に低下するため土壌は完全に凍結し、しかもその深度も深い。このような気候の特性をよく見ると、実は北米タイガの気候によく似ていることがわかる。(北方圏第十八号三十二頁参照)

この植生帯はカナディアン・ロッキーの東麓に広く発達している。太平洋からの湿った気団もここまでは到達せず、気候は典型的な大陸性に変わる。つまり気温の年較差がきわめて大きく、したがって夏はかなり暑い冬は極端に寒くなる。年降水量は五百ミリ前後と西斜面に比べて半減する。しかし降水が夏に集中するため植物にとって水不足が起きることとはなく、それが森林の発達を可能にしている。冬は積雪が少なく、また気温も極度に低下するため土壌は完全に凍結し、しかもその深度も深い。このような気候の特性をよく見ると、実は北米タイガの気候によく似ていることがわかる。(北方圏第十八号三十二頁参照)

この植生帯はカナディアン・ロッキーの東麓に広く発達している。太平洋からの湿った気団もここまでは到達せず、気候は典型的な大陸性に変わる。つまり気温の年較差がきわめて大きく、したがって夏はかなり暑い冬は極端に寒くなる。年降水量は五百ミリ前後と西斜面に比べて半減する。しかし降水が夏に集中するため植物にとって水不足が起きることとはなく、それが森林の発達を可能にしている。冬は積雪が少なく、また気温も極度に低下するため土壌は完全に凍結し、しかもその深度も深い。このような気候の特性をよく見ると、実は北米タイガの気候によく似ていることがわかる。(北方圏第十八号三十二頁参照)

この植生帯はカナディアン・ロッキーの東麓に広く発達している。太平洋からの湿った気団もここまでは到達せず、気候は典型的な大陸性に変わる。つまり気温の年較差がきわめて大きく、したがって夏はかなり暑い冬は極端に寒くなる。年降水量は五百ミリ前後と西斜面に比べて半減する。しかし降水が夏に集中するため植物にとって水不足が起きることとはなく、それが森林の発達を可能にしている。冬は積雪が少なく、また気温も極度に低下するため土壌は完全に凍結し、しかもその深度も深い。このような気候の特性をよく見ると、実は北米タイガの気候によく似ていることがわかる。(北方圏第十八号三十二頁参照)

この植生帯はカナディアン・ロッキーの東麓に広く発達している。太平洋からの湿った気団もここまでは到達せず、気候は典型的な大陸性に変わる。つまり気温の年較差がきわめて大きく、したがって夏はかなり暑い冬は極端に寒くなる。年降水量は五百ミリ前後と西斜面に比べて半減する。しかし降水が夏に集中するため植物にとって水不足が起きることとはなく、それが森林の発達を可能にしている。冬は積雪が少なく、また気温も極度に低下するため土壌は完全に凍結し、しかもその深度も深い。このような気候の特性をよく見ると、実は北米タイガの気候によく似ていることがわかる。(北方圏第十八号三十二頁参照)

この植生帯はカナディアン・ロッキーの東麓に広く発達している。太平洋からの湿った気団もここまでは到達せず、気候は典型的な大陸性に変わる。つまり気温の年較差がきわめて大きく、したがって夏はかなり暑い冬は極端に寒くなる。年降水量は五百ミリ前後と西斜面に比べて半減する。しかし降水が夏に集中するため植物にとって水不足が起きることとはなく、それが森林の発達を可能にしている。冬は積雪が少なく、また気温も極度に低下するため土壌は完全に凍結し、しかもその深度も深い。このような気候の特性をよく見ると、実は北米タイガの気候によく似ていることがわかる。(北方圏第十八号三十二頁参照)

この植生帯はカナディアン・ロッキーの東麓に広く発達している。太平洋からの湿った気団もここまでは到達せず、気候は典型的な大陸性に変わる。つまり気温の年較差がきわめて大きく、したがって夏はかなり暑い冬は極端に寒くなる。年降水量は五百ミリ前後と西斜面に比べて半減する。しかし降水が夏に集中するため植物にとって水不足が起きることとはなく、それが森林の発達を可能にしている。冬は積雪が少なく、また気温も極度に低下するため土壌は完全に凍結し、しかもその深度も深い。このような気候の特性をよく見ると、実は北米タイガの気候によく似ていることがわかる。(北方圏第十八号三十二頁参照)

この植生帯はカナディアン・ロッキーの東麓に広く発達している。太平洋からの湿った気団もここまでは到達せず、気候は典型的な大陸性に変わる。つまり気温の年較差がきわめて大きく、したがって夏はかなり暑い冬は極端に寒くなる。年降水量は五百ミリ前後と西斜面に比べて半減する。しかし降水が夏に集中するため植物にとって水不足が起きることとはなく、それが森林の発達を可能にしている。冬は積雪が少なく、また気温も極度に低下するため土壌は完全に凍結し、しかもその深度も深い。このような気候の特性をよく見ると、実は北米タイガの気候によく似ていることがわかる。(北方圏第十八号三十二頁参照)

この植生帯はカナディアン・ロッキーの東麓に広く発達している。太平洋からの湿った気団もここまでは到達せず、気候は典型的な大陸性に変わる。つまり気温の年較差がきわめて大きく、したがって夏はかなり暑い冬は極端に寒くなる。年降水量は五百ミリ前後と西斜面に比べて半減する。しかし降水が夏に集中するため植物にとって水不足が起きることとはなく、それが森林の発達を可能にしている。冬は積雪が少なく、また気温も極度に低下するため土壌は完全に凍結し、しかもその深度も深い。このような気候の特性をよく見ると、実は北米タイガの気候によく似ていることがわかる。(北方圏第十八号三十二頁参照)



むき出しの岩肌をみせるカナディアン・ロッキー

ウヒおよびミヤマモミは本来が亜高山性の樹種で、海抜高度が増すにつれて現れ、亜高山帯との移行帯を特徴づけている。

アメリカカツガはモル型腐植の堆積した適湿地によく生育し、耐陰性が高いため自種更新が可能で気候的極

相林を形成する。したがって、この一帯では山火や風倒あるいは伐採などで天然林が破壊されないかぎり、アメリカカツガの森林がよく発達し、極相林を形成する。

極相林の林床は一般にコケ類(イワダレゴケ、タチハイゴケ、ダチ

ウゴケ、チャシツポゴケ)の優占したいわゆるコケ型群落であるが、そこにはオオバキイチゴ、コバノイチイ、ニセツゲ、ユタニンドウなどの灌木やイチゲツバメオモト、ウサギシダ、オオウメガサソウ、カナダニンジン、コイチヤクソウ、コガネイチゴ、ゴゼンタチバナ、ホザキユキザサ、ミツバズダヤクシュなどの草

カナダトウヒ帯——ヤチトウヒ帯

この植生帯はカナディアン・ロッキーの東麓に広く発達している。太平洋からの湿った気団もここまでは到達せず、気候は典型的な大陸性に変わる。つまり気温の年較差がきわめて大きく、したがって夏はかなり暑い冬は極端に寒くなる。年降水量は五百ミリ前後と西斜面に比べて半減する。しかし降水が夏に集中するため植物にとって水不足が起きることとはなく、それが森林の発達を可能にしている。冬は積雪が少なく、また気温も極度に低下するため土壌は完全に凍結し、しかもその深度も深い。このような気候の特性をよく見ると、実は北米タイガの気候によく似ていることがわかる。(北方圏第十八号三十二頁参照)

この植生帯はカナディアン・ロッキーの東麓に広く発達している。太平洋からの湿った気団もここまでは到達せず、気候は典型的な大陸性に変わる。つまり気温の年較差がきわめて大きく、したがって夏はかなり暑い冬は極端に寒くなる。年降水量は五百ミリ前後と西斜面に比べて半減する。しかし降水が夏に集中するため植物にとって水不足が起きることとはなく、それが森林の発達を可能にしている。冬は積雪が少なく、また気温も極度に低下するため土壌は完全に凍結し、しかもその深度も深い。このような気候の特性をよく見ると、実は北米タイガの気候によく似ていることがわかる。(北方圏第十八号三十二頁参照)

この植生帯はカナディアン・ロッキーの東麓に広く発達している。太平洋からの湿った気団もここまでは到達せず、気候は典型的な大陸性に変わる。つまり気温の年較差がきわめて大きく、したがって夏はかなり暑い冬は極端に寒くなる。年降水量は五百ミリ前後と西斜面に比べて半減する。しかし降水が夏に集中するため植物にとって水不足が起きることとはなく、それが森林の発達を可能にしている。冬は積雪が少なく、また気温も極度に低下するため土壌は完全に凍結し、しかもその深度も深い。このような気候の特性をよく見ると、実は北米タイガの気候によく似ていることがわかる。(北方圏第十八号三十二頁参照)

この植生帯はカナディアン・ロッキーの東麓に広く発達している。太平洋からの湿った気団もここまでは到達せず、気候は典型的な大陸性に変わる。つまり気温の年較差がきわめて大きく、したがって夏はかなり暑い冬は極端に寒くなる。年降水量は五百ミリ前後と西斜面に比べて半減する。しかし降水が夏に集中するため植物にとって水不足が起きることとはなく、それが森林の発達を可能にしている。冬は積雪が少なく、また気温も極度に低下するため土壌は完全に凍結し、しかもその深度も深い。このような気候の特性をよく見ると、実は北米タイガの気候によく似ていることがわかる。(北方圏第十八号三十二頁参照)

トウヒ、アメリカカラマツ、ネジレマツ、アメリカヤマナラシなどが森林を構成する主な樹種となる。このような樹種構成も実は北米タイガの森林と非常に似ている。

もっとも、この植生帯を北米タイガの一部としてみるかどうかは難し



立ち上がった地層から成るソーバック山脈  
(カナディアン・ロッキーの一部)

い問題で異論も多い。実際、カナディアン・ロッキーの東麓は植生の点からは意外に複雑なところである。ここではロッキー山脈本来の植生であるコディレラン山岳性のバ

イオーム、北から南下してロッキー山脈にさえぎられた格好の北米タイガのバイオーム、および北米大陸中央部に発達するプレーリー草原のバイオームがこの一帯で境界を接しており、それらが後氷期の気候の長期的変動に伴って絶えず押し合いへし合い勢力争いを演じているところである。

ダグラスモミ帯

一口にカナディアン・ロッキーといってもその地勢は複雑で、北西—南東方向に走る多くの山脈からできており、その間には大小無数の細長い谷が発達している。その大きな谷のほとんどは断層により落ち込んだいわゆる地溝であるが、両側をけわしい断層崖によつてはさまれた谷あいには局地的に雨の少ない気候が発達する。これをレーン・シャドー(rainshadow)と呼んでいる。ここ

ここではカナダトウヒ、ヤチトウヒが森林を構成する主な樹種となり、アルカリ性の高い湿原にはアメリカカラマツがよく生育する。かく乱跡地にはアメリカヤマナラシあるいはネジレマツの一斉林が発達する。

海抜高度が増すにつれて亜高山性のエンゲルマントウヒおよびミヤマモミが現れる。面白いことにエンゲルマントウヒとカナダモミは系統的に近縁で簡単に交雑が起き、亜高山帯との移行帯ではほとんどのトウヒが雑種からなっている。ミヤマモミは北向き斜面やくぼ地など、地形的に積雪の多い育地によく生育する。

この一帯では降水量が少なく(年四百ミリ以下)、夏の間、標高のわりには気温が高くなる。土壌は石灰分に富むため洗脱がほとんど進まず、したがってポドゾルはほとんど発達しない。代わってブルニゾルが広く現れる。ダグラスモミはこのよ

うな気候および土壌条件のもとによく生育し、森林を構成する優位種となるが、もし育地がいつそう乾燥すれば、コケモモ、ゴゼンタチバナ、

この一帯では降水量が少なく(年四百ミリ以下)、夏の間、標高のわりには気温が高くなる。土壌は石灰分に富むため洗脱がほとんど進まず、したがってポドゾルはほとんど発達しない。代わってブルニゾルが広く現れる。ダグラスモミはこのよ

るとカナダトウヒが現れる。

バンフの街からミネウォンカ湖へ行く道中や、スキー場のあるノルクエー山への途中、あるいはジャスパーの街からエディス湖へかけての一带には、みごとにダグラスモミの林が見られるが、これはこの植生帯の代表的例といえる。

ダグラスモミ帯の特徴のひとつとして、南に面した急斜面ではプレーリーに似た草地在り、ここには夏の間地温が高くなり、土壌の乾燥が激しすぎてもはや樹木は生育できず、代わって乾燥に強いプレーリー型の植生が発達する。このような植生はふつう、腐植の分解がよく黒褐色のA層の発達したチュルノーゼムに似た土壌と結び

メリカヤマナラシ (Populus tremuloides) / イチゲツバメオモト (Olinonia uniflora) / エンゲルマントウヒ (Picea engelmannii) / オオバキイチロ (Rubus parviflorus) / カナダクロウスゴ (Vaccinium myrtilloides) / カナダトウヒ (Picea glauca) / カナダニンジン (Aralia nudicaulis) / コムノイチイ (Taxus brevifolia) / ダグラスモミ (Pseudotsuga menziesii var. glauca) / ニハツツグ (Pachystima myrsinites) / ネジレマツ (Pinus contorta) / ホザキユキザサ (Smilacina racemosa) / シツバズダヤクシユ (Tiarella trifoliata) / ミヤマモミ (Abies lasiocarpa) / ヤチトウヒ (Picea mariana) / ユタニンドウ (Lonicera utahensis) / リンバーマツ (Pinus flexilis) / ロッキーウサギギク (Arnica cordifolia)。

なお、執筆者の小島覚氏は四月帰国、富山大学教授に就任された。

このようにダグラスモミ帯はカナディアン・ロッキーの谷あいには局地的にみられる植生で、その分布は大きな谷の谷あいに限られ、その面積もさほど大きくはない。

和名——学名対照表 (日本に産しないものを掲げる)

- アメリカカラマツ (Larix laricina)
- アメリカゴヨウ (Pinus monticola)
- アメリカツツガ (Tsuga heterophylla)
- アメリカネズコ (Thuja plicata)



いつも身近です。  
あなたの街の《たくぎん》。

《たくぎん》のいろいろなサービス、ご利用になっていますか。公共料金の自動支払いをはじめ、年金のお受け取りなど、毎日の暮らしにお役に立ちたいと願っています。あなたの街の《たくぎん》をよろしく。

親しみ、ますます

たくぎん 北海道拓殖銀行

# 北国の新しい 北方圏

# 生活を考える セミナー

## 住みよく暮らしよいい北海道の創造へ

北海道はこれまで日本列島の一番北の島として生活においても、行政においても、長い間本州志向を続けてきた。だが、このへんで、じっくり考え直す必要があるのではないだろうか。従来のように、北海道を日本における南と北の関係ばかりでなく、国際社会における東西の関係でとらえてみたらどうか。そこには北海道と気候、風土の似た国々、地域が広がり、知恵と工夫をこらし、積雪、寒冷の地にありながら高い文化、産業社会を築いている。

北海道はこれまで日本列島の一番北の島として生活においても、行政においても、長い間本州志向を続けてきた。だが、このへんで、じっくり考え直す必要があるのではないだろうか。従来のように、北海道を日本における南と北の関係ばかりでなく、国際社会における東西の関係でとらえてみたらどうか。そこには北海道と気候、風土の似た国々、地域が広がり、知恵と工夫をこらし、積雪、寒冷の地にありながら高い文化、産業社会を築いている。

### 北方圏構想に三つの目標

#### 東京レベルから北海道的発想へ

関コーディネーターのあいさつ

先ほど東京で開かれた開発審議会  
で新しい北海道開発計画が答申に  
なりました。その中に本日のテーマに

道の開発はその当初から外国との連  
携やアメリカ、ヨーロッパなど先進  
国の科学技術を借り、また、それを  
そしゃくし、北海道的なものにする  
形で行われて来ました。こうした歴  
史を顧みる時、今いちど北海道的な  
立場で外国との接触や交流を考えて  
みる必要があるように思います。

その点、昭和四十九年秋開かれた  
北方圏環境会議という発想は非常に  
特色があり、これからの北海道を展  
望する意味では異色の方途であった  
といえます。その中で強調された交  
流についても、フィンランドからピ  
ヒカラ氏を招いて歩くスキーの普  
及、札幌医大とヘルシンキ大学医学  
部との学術提携が実現するなど、着  
実に具体化しつつあります。

#### 冬と雪の暮らしのなから

旭川は、今、冬まつりを迎え、多  
くの人々が街に出、冬や雪を楽しん  
でおられるようにお見受けします  
が、寒い冬や雪を楽しむということ  
はいはやすく、大変むずかしいこ  
とです。本日のセミナーは北方圏構  
想の数々の課題の中から特に冬の暮  
らしの問題をテーマに選びました。  
講師には北欧の生活にご造詣が深い  
権威ある方をお招きしております。



深いかかわりを持つ北方圏構想に触  
れた部分があり、札幌を一つの拠点  
とした北方圏の形成を考えていくべ  
きだということがうたわれていま  
す。また、北海道第三期計画に続く北  
海道発展計画も北方圏交流拡大の一  
節を設け、北方圏構想の推進を強く  
訴えています。うち、北海道発展計画  
は北方圏構想に三つの目標を掲  
げています。それは北方圏センター  
の設立と交流体制の強化、学術・文  
化・スポーツの交流促進と北国にふ

さわしい住宅環境づくり、北方圏の  
資源・技術の互恵活用による産業、  
経済と貿易の振興などです。

わが国は明治以来諸外国と様々な  
接触を続けて来ました。しかし、こ  
れまでの交流はどれも中央政府、つ  
まり東京レベルの考え方で行われて  
来たうらみがありました。そのせい  
か、北海道の行政もややもすれば南  
に向きがちでした。これに対し北海

#### 北方圏環境会議の成果

# 北方圏交流と地域社会

多方面から具体的、豊富な話題を提供して頂き、皆様とともに考えてみたいと思います。

講師・旭川大学教授 山本克郎



## 必要な物さしの転換

先日、経済セミナーの記者の方が「大学風土記」の取材に旭川大学を訪れ、大学や教育、研究について話し合う機会がありました。

その日、旭川は氷点下一六度で純白の雪に陽光が光り輝いていました。私は教育や生活の立地条件としてこの四季の移り変わりの鮮明な、美しく優れた北国の環境や広さを誇りにしていますし、人口や建物が密集した都会のビルの谷間で暮らすこととの不自然さを改めて指摘しまし

た。温暖な気候、集積された人口の地を中央とする「物さし」で考えがちな点が問題であることに気づかなければならないと思うのです。同時に、北海道の現在と未来を考えると、この地を創造の拠点とする見識が要求されると思うのであります。

## 変わる経済計画の基軸

「北海道発展計画」が本年度から実施になります。北海道の地域開発といった場合、真に、北方の気候風土に根ざした生活や文化を築き、産業や経済環境を整備してゆくこと、さらに地域開発、地域問題といったものをナショナルな観点で、そして国際的視野の広がりの中でとらえる発想が肝要であります。そして、そのことの自覚にもとづいた研究や理論をバックとした住民の知恵と力の結集こそが計画のプロモーターとなるのであって、おおよそ自治体の政策達成にはそのような根源の問い直しが必要であり、地域住民がその課

題にどう応えるかがいま問われていると思うのであります。さて、今回の私の主張の前提について二、三ふれてみたいと思います。世界の情勢をみても大きな変動のうねりを感じます。六〇年代は黄金の時代といわれましたが、七〇年代に入ると内外ともに大きな矛盾に突き当たりました。七一年のドル・ショック、七三年のオイル・ショックを契機に、国際的なインフレと経済危機はますますその度を深めて来ました。特に六〇年代の経済成長政策の根底にあったエネルギーは無限、ドルさえあればいつでも、必要なものを必要なだけ買えるといった基調は幻の如く崩れ去り、石油の価格は四倍に、しかも供給量が今後どうなるか極めて不安な状況下にあります。また、最近の円高、ドル安、米

経済の動向にしても、カーター政権が一九八〇年頃には石油需給関係が崩れ、国際的に深刻な事態に陥ることを想定しての戦略備蓄に取り組み、石油の大量輸入を続けていることも混乱の一因といわれ、危機感の醸成をひき起こしております。わが国の経済情勢もきびしさを加え、混乱の度を加えております。成長路線のつまずきは新全総の見直しにも現れております。これは、高度成長時代並みの成長を続けてゆくには、当時二億五千万ぎぎだつた石油輸入を七億五千万ぎぎにしなければならず、それが不可能となってきたためであります。同時に、公害防止や環境維持をはじめ、様々な内外問題の手直しに迫られていることも理由となっております。

これに代わる新しい総合開発計画として三全総が生まれ、これは昭和五十年十二月、概案が出来、五十二年八月に試案発表、同年十二月に答申の運びになったものです。概案の中に見落とすことの出来ないものとして「趨勢型予測」というのがあります。昭和四十五年の国勢調査を基礎に、経済情勢や社会動向がそのまま推移していった場合の昭和六十年

での本州サイドから、北海道と似た気候、風土を持つ北方圏のそれに転換させること、まずこの点を指摘したいと思います。

北海道の開発はすでに一世紀が過ぎましたが、今流にいうならば、当初開拓使によって北方圏構想が取り上げられていた事実をみることでございます。開拓次官であった黒田清隆は、明治三年十月「北海道及び樺太経営についての建議」のなかで「風土適当ノ国ヨリ開拓ニ長スル者ヲ雇ヒ、之ヲシテ移民ノ計数及器械ヲ精製セシメ、今ヨリ書生ヲ精撰シテ海外諸国ニ分遣シ事情ヲ偵察シ以テ他日ノ用ニ資スベシ」と述べ、彼自ら海外に出張し実情を調査し、優れた外国人を雇う方針を打ち出しています。黒田は米国で農務長官のケプロンに会い、彼を開拓顧問として招きました。

ケプロンの給料は年額洋銀一万が(当時一がは一元に比定)で、当時の太政大臣の九千六百円、黒田開拓次官の四千二百円と比較してみれば、いかに破格の待遇であったかがわかります。このケプロンを開拓顧問に迎え、大きな権限を認め与えたことは当時、開拓使がいかに外国の技

## 北方圏セミナー

日時 昭和53年2月12日 13時00分～16時30分  
場所 旭川市7条9丁目 旭川市民文化会館  
テーマと講師  
コーディネーター 北海道大学教授 関 清秀氏  
北方圏交流と地域社会 旭川大学教授 山本 克郎氏  
北国の人と生活 インテリアデザイナー 忍・シモンさん  
(在スウェーデン)  
冬の生活とスポーツ 北海道教育大学旭川分校教授 今村 源吉氏

の数値を推定したものです。それによると、地域別年齢構成人口のうち、十五歳～六十四歳の生産年齢人口は、国全体では九百六十九万人増えることになっていきます。しかし、地域配分でみますと、三大都市圏は千三百七十七万人増、それ以外の地方圏は三百七十六万人の減少となり、いわゆる過疎、過密の状態がますます拡大する予測となっています。ちな

みに、社会増減をゼロとした封鎖人口でも、三大都市圏では四百五十五万人増、ところが地方圏はマイナสบ百六十九万人となります。さらに、零～十四歳層でも、全国で五百八十二万人増加するうちの五百五万人を三大都市圏が独占し、地方圏は七十七万人の増加にとどまらず、東京圏、大阪圏等国土面積のわずか七・五%に全人口の大半が集まる異常な事態の招来が予測され、その回避の課題になって開発構想の一八〇度の転換がなされたわけです。

## 定住圏構想の意味するもの

昨年八月の国土庁試案、十二月の答申を見ますと、定住圏構想が提起されています。そのなかで、自然環境と生活活動を調和させ、豊かな魅力ある地域社会形成が期待できる土地として、北海道があげられています。

元来、欧米にみる地域政策は、地域格差や所得格差是正による生活環境の整備が前面におかれ、また、高度工業化による管理社会の弊害を取り除く形で推進されてきました。

これに対し、戦後日本の地域開発は必ずしもそのイデーを実現するものではありませんでした。特に、高

## 開拓の発想に学ぶ

北海道の開発理念の軸を、これま

術や知識に期待し、その導入に力を入れているかやうかがい知ることができません。黒田は、十年間にわたり当時の国庫支出の一か年分に相当する一千万円を投入して北海道の風土に合った開拓を推し進め、北方に王道楽土を建設しようと考えていました。日本の農業や農村生活は高温多湿の気候に定着して発達して来たもので、それらをまねても真の北海道の開拓は出来ない。そこで欧米の技術や品種を導入し、新たな発想で開拓に取り組んだわけでありました。招いた外国人学者や技術者は七十八人、諸外国に派遣した留学生は三十人を超えたのですが、やがて、三県、道庁と変り、松方財政の登場もあって開拓政策の転換により変貌をとげていきます。

北方圏の要衝に

こうしたことを考えるとき、今日取り上げられている北方圏構想の発想は、ひとり北海道だけでなく、日本、世界にとっても非常に重要な意味を持っていると、言えることができます。その地域の個性、特性を生かし、マッチした政策の考究、展開こそが求められます。北海道は日本においてこそ最北、最寒の地ですが、世界

にはもつと寒冷な、そして厳しい環境下にある地域も多々あります。北海道は、むしろ北方圏諸地域の中では開発も進み、人口も多く、文化水準も高レベルにある、といえます。したがって、むしろ地の利を生かした交流と個性を生かした地域開発によって、北国にふさわしい生活文化、産業・経済の発展、学術・芸術の高揚といったものを期待できる土地なのです。

一方、きびしい世界経済環境、国際的資源賦存状況からみても、これからはシベリア、アラスカ、カナダなど北方圏諸国の開発を通じて世界の増大する人口の吸収、より豊かな生活文化の創造・確立、経済発展の展望を切りひろくことが求められています。

これには、北方圏内諸国の正しい開発と発展が結合、交流する必要がある、北方の風土に基盤をおいた地域開発と生産、そして共通の需要に対する供給体制の一体化が強く望まれるところでもあります。一口に北方圏と言っても、それぞれ特色を持ち、需要では共通するものがあっても、供給の面ではかなり違った状況にあります。その異なる経済基盤の上にならば協同と分業の機能を分かち持

つこと、つまり技術のある国は技術、資源に余裕のある国はそれを供給し、相互発展を図ってゆくことが、これからの国際社会、人類社会には極めて大切なことだといえます。

北海道に自立の基盤を

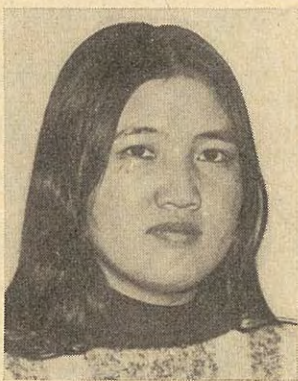
また、このために現在北海道が持っている経済上の多くの弱点を克服する要もあります。わが国の経済構造―重化学工業中心の資源を輸入し、加工、輸出する貿易第一主義を変え、北海道の立地から北方圏の相互交流の中で供給体制の一翼を担うといった工業開発を考えていかなければなりません。この面では、比喩的になりますが、E E C (欧州経済共同体) があります。フランス、西ドイツ、ベルギー、オランダ各国が国際社会の中でどう発展してゆかかを考えたとき、それぞれ一国経済の枠内では発展に限界がある。そこで共同体内での経済便益を図り、経済同盟としての体制を整えるなかで現在E E C はアメリカにつぐ巨大な経済圏と相なったのであります。この例からも、風土的に一つのまとまりを持った北方圏諸地域が、文化・経済交流をはかり、発展し合っていくことは決して不可能ではありません。

共存・発展の道を

最後に、北海道の将来構想・計画にとつて見逃すことのできない、北海道を取り巻く大規模開発計画の方向にふれておこうと思います。ソ連

北国の人と生活

講師・インテリアデザイナー(在スウェーデン) 忍・シモンさん



北がリーターシップをとる

は現在第二シベリア鉄道の建設に大きな力を注ぎ、八五年完成を目途に建設を急いでいますが、これが完成し、間宮海峡にその玄関口がおかれると、今までの船輸送に代わる鉄道利用大陸横断物流体制が出来、北海道の交通、生産活動の規模、位置づけが大きく変わる要素となってきました。

さらに、最近注目を集めているサハリン天然ガス開発とパイプラインによる北海道導入計画も八〇年代のエネルギー対策としては極めて有効であり、北海道の産業・経済の体質強化、転換に大いなる刺激を与えることになるでしょう。

北方圏構想や本年から始まる北海道発展計画を考えると、今までの六〇年代とは違った内外情勢の中で、私たちは視野、発想を新たに、先人や諸外国の教訓、蓄積から学び文化や経済の交流を通して共存、発展の道を切りひらいてゆく、その出発点に立っていると思うのであります。

北方圏構想と地域社会とのかわりについて述べましたが、これからの北海道の展望を考えるうえでいささかの参考になれば幸いに存する次第であります。

今、山本先生から基本的な話がありました。私は北海道で二十数年過ごし、その後スウェーデンに住んで得た経験を通じて生活の問題を話してみたいと思います。私はスウェーデンに住む前一年ほどヨーロッパ各地を旅行しました。ソ連を経由してヨーロッパに入ったせいもありますが、どこへ行っても最初に感じたことは色彩の美しさで、何という美しい国だろうと思いました。そして、最後に感じたことは、日本という国にいささか自信を持ったことで

かと思えます。

冬・雪は素晴らしいこと

北欧で感じたことは、植物も気候も北海道とそう変わらないことです。夏は札幌より涼しく、冬も札幌の一番寒い時より少し寒く、旭川より暖かいといったくらいでしょうか。生活や習慣の違いはあっても、つき合ってみると北海道の人たちが持っているようなおらかさ、純朴さ、正直さといったものが端的に現れ、地を出し合っつき合ひできる気がしました。これには多分、私が雪国の北海道育ちで、スウェーデンが非常に居心地がよい国であると思っていたこともあるでしょう。

それで、今度は生活の具体的問題に移っていききたいと思います。北海道においては、これまで一般に冬と雪はマイナスの面からとらえられ勝ちでした。それが最近技術的にいろいろなことが解決されることによ

### 佐竹土佐男上川支庁長 あいさつ

私は前ポストの開発調整部次長時代、北方圏行政を担当し、深いかわりがありましたので、この機会をお借りし、道行政も含め北方圏構想のご説明を申し上げたいと思います。

北方圏については明確な定義はありませんが、一般的に亜寒帯、寒帯に属する地域としてとらえて

## 本道発展に不可欠な北方圏構想

### 堂垣内知事が強力に推進

置、北方圏情報センターの開設などを進めて来ました。交流では具体的には札幌医大とヘルシンキ大学医学部の学術提携、カナダ、北欧、ソ連との芸術・文化団体交流のほか、北海道が提唱したサハリン島陸棚天然ガス採掘調査も実現しています。また、新年度から発足する北海道発展計画では第三期総合開発計画よりもっと密な北方圏構想の推進を旨とし、まず本年度、北方圏、センタ―民間の方向が交流するのを助成する北方圏交

など各面の交流を深め、道民の生活文化、産業・経済の振興をはかる一方、北方圏諸地域の発展のため北海道が担うべき役割を果たさうというものです。

堂垣内知事は就任以来、この北

方圏構想が本道の発展に不可欠という考えから、その推進を道政の重要施策の一つとして取り上げ、開発調整部へ北方圏調査室の設置、環境会議の開催、知事の私的諮問機関の北方圏交流委員会設

流基金を創設するのをはじめ、国寒地研究所など試験研究機関の充実による北国にふさわしい住環境の整備、貿易公社設立による貿易振興体制の強化も計画しておりま

す。

ごあいさつとしては大変その範囲を越えたものになりましたが、要は一人でも多くの道民の方々に北方圏あるいは北方圏構想への理解を深めてもらい、その理解の上に立って、北方圏諸地域との交流

を拡大し、成果を私たちの生活や地域づくりに生かして行く必要があると思います。また、地方自治体にもお考え願いたいところが多々あるわけですので、例えば、小中学校の文庫に

北歐や諸外国の歴史や生活紹介書籍の設備、高校生の交流に対する助成、あるいはフィンランド協会のような友好、交流団体を市町村段階まで設置など底辺の拡大であります。そうしたおり、このセミナーが開かれるのは誠に有意義なことと感謝致します。

って、冬や雪があることは素晴らしいことだというふうを意識がかわりつつあるようです。

### 冬は活動の季節である

北欧諸国は、冬を活動の時期としてとらえています。それは、冬をマインナスに考えては他のヨーロッパの先進国に対抗できなくなるためです。それで、秋、冬、春を生産の時期とし、一年で一番快適な夏は、人間が人間として自分たちの生活を取り戻し、自然をエンジョイする季節として一カ月前後の休暇をとるしきたりにしています。各工場は、七月に三週間か四週間、一斉に工場を閉鎖し夏季休暇に入りますが、日本はなかなか有給休暇の消化ができないようです。従って休暇に対する考え方も、日本とは根本的にちがいます。休みをとることは人間の労働生産、人間回復のために必要だし、夏に自然のなかで体力を養い、太陽の光を十分に吸収しておかないと、厳しい冬の生活に耐えられないからです。この意味からも休暇をとることが義務とされています。そして、あとの十一月を生活に力を注ぎ、最近の世界的経済変動の影響も最小限に食い止めているわけです。冬の間

### 貴重な女性の労働

の農家についても、自治体と農家が約し、契夏の間使っていたトラクターを除雪に動員しています。雪が降っても降らなくても自治体はそれだけ払うわけで、それが農家の収入源となっています。小さな国では、産業のちょっとしたつまずきが大きな痛手になるだけに、このようにお互いに助け合い、問題を解決していま

次に労働について話してみたいと思います。北欧は北海道とは比較にならないほど過疎なところですが、でも高い生産をあげています。私は、北海道も今くらの人口が一番暮らしやすいのではないかと思いますが、半面、非常にムダがあることにも気づきます。それは、現在労働

### 奈良泰夫北方圏調査会 専務理事のあいさつ

北方圏という言葉が道民皆さん方の間ですっかり定着して来たのは大変喜ばしいことであります。しかし、この言葉は別にむずかしく考えなくてもよいのでないでしょうか。積雪と寒冷、それは北

### 交流と知恵の交換

の発足もあり、北方圏構想推進の上

海道だけのものとは限りませんし、外国にももっと雪が多く寒いところがいくらでもあります。そうしたところが交流、知恵の交換を通して、持ちつ持たれつ北国の文化、暮らしを発展させていこうというのが北方圏構想です。そうした身近なものであります。従いましてここにおいでの皆様方や道民

各位のご支持を得、急速に根をおろして来たわけでございます。今後この考えはますます広がりをみせていくでしょう。ご存知のように今年の正月の新聞、ラジオ、テレビは一斉に北方圏の問題を大きく取り上げました。また、本年は北方圏センタ―の発足もあり、北方圏構想推進の上では画期的な年となると思われま

に従事している人は主に男性で、十分労働に従事できる女性が家庭に閉じこもり、あるいは、職場にあっても十分能力を発揮出来ない部門にあるという事です。例えば、短大を出て保母になり、結婚で退職、子供に手がからなくなると、再び保母にと思ってもなかなか困難のようです。学校の先生も家庭に入って退職、再び教壇に立つても臨時職員にしか過ぎません。同じ仕事をしながら待遇や仕事のチャンスにも恵まれません。

これに対し、スウェーデンの場合、労働力は初めから過疎だという事情もあり、出来る限り自国で確保しようということから、女性労働も非常に貴重なわけです。このため、子供を産み、育てることは次の世代の労働力を生むために大事な仕事と考えられています。子供を育てたという事は、大きなプラスの経験とされ、保母や学校の先生の再就職の時に有利な条件となり、子供に手がからなくなると、職場に戻ろうとし、社会もそれを歓迎しています。

しかも、過去の経験に育児経験がプラスされ、新任より有利な道が開かれていくわけです。北海道の人口が多くなればという人がおられます

が、婦人にもっと働く場ができれば、北海道の人口が六百万、六百五十万人になったのと同じだと思います。そこで、労働にもものをつくる労働と人をつくる労働があると思えます。人をつくる労働には、いまいいました育児、教育に家事労働もあります。こう考えますと、誰がものをつくる労働に従事し、誰が人をつくる労働に従事するかということになります。いま一般的な労働のなかで男性のつけない仕事はありません。これに対し、女性が対象にならない仕事がたくさんあります。バス、地下鉄の運転などは男女どちらがやってもいいし、ものをつくる仕事にも女性ができる仕事はたくさんあると思えます。女性を対象にしなかったのは、男性が失業するという懸念があったのではないかと気がもします。

建築などは、そこに人間が住み、使い、生活し、考えたりするわけですから、一方の性が主体となつてつくることは、偏ったものができるのではないだろうか。また、人をつくる育児、教育、家事労働は両性の共同がなくてはできません。サラリーマンの人は、ほとんど家にいないという人が多いのですが、子供にとつ

松本勇旭川市長あいさつ

この北に住む私たちが今日まで学んで来た道をみますと、最近、ようやく北国に住む喜びをつかみかけたような気がします。時代や社会の情勢がどう変わるかと、私どもはひと昔前のようにこの厳しい自然を敵とせず、北海道の国士、雪、寒さを味方にし、仲間にしていかなければなりません。と

雪や寒さを自分たちのものに……

北国には冬型行政が必要

ところが、これまでの行政はややもすると、日本全国画一的な計画のもとに行われてきたきらいがあり、事実、それを突き破って北国らしい、北海道らしい意見を述べても、なかなか出来なかったのも現実でした。

しかし、私たちが、この北海道をより楽しく、またより住みやすくするには東京や大阪ばかりに目を向けるのではなく、まず、地球上でわれわれと同じような生活環境

かと考えます。最近では市民の間にもそうした要望が強くなっており

私もかつてヨーロッパ、北欧、北米、サハリンに行ったことがありますが。北方圏には旭川よりもっと寒く、雪の多いところがあり、私の心に強く焼きついたのは、そこに耐え、生き抜いて来た人々や草や木の姿です。自然が厳しければ厳しいほど人々やそれらがたく

に住む人々に注目し、その生きざまを知り、学ぶことが大切でないかと思えます。レコードにはA面とB面、表と裏面があります。一年は夏を表とすれば、冬は裏ということになりましょうか。これに例えていうと、現在、行政はほとんどがA面、夏型といえます。私は北国の場合、物によっては寒さや北に視点をおいたB面をほんとうの表面とする行政が必要でない

が出来るよう  
知恵を出し合  
わなければな  
りません。ま  
た、そうする  
ことなしに本  
当の北国の生活は創造出来ない  
確信致します。

その意味において本日のセミナーは誠に意義深いものがあり、このセミナーを通じ、私たちが北国に住んでほんとうによかった、それをもっと素晴らしいものにしてうではないかという活力を与えてくれるものになることを祈念し、旭川で開催のお礼とします。

十分な栄養が大切

そこで、具体的に衣食住の話になりますが、北欧は確かに寒い国で、何でもとれるわけではありません。日本の方がずっと恵まれています。そこで一番重要なことは、栄養を十分にすることです。つまり、厳しい自然に対応し、耐えていくには十分に栄養をとることが昔から大切にされていきます。近年では、必要な野菜、果物も輸入で入り、食生活も豊かになっていきますが、食生活より栄養をとること、数少ない原料でい

んな調理をすること。また、国民全体が仕事に従事しているため、調理法も短時間でできるものが考えられています。

気候に適した衣料を

次に衣の方ですが、自分の国に適

した質の良い衣料が考えられています。子供の場合は安全性も考え、例えば、冬の衣料では、すべる衣料はスウェーデンでは禁止されています。札幌で探しましたが、大人にはありませんでしたが、子供の見当たりませんでした。それから靴なんかも、大人には毛皮のついたブーツや長靴がたくさんありますが、子供にはなかなかなく、防寒靴と書いてあっても裏にネルが張ってあるだけです。ほかにありますが、本州産業に頼り、北海道の気候に合ったものを生産するものがないからです。

断熱材、ボイラーに国の補助

住宅は、建築技術は世界の水準に達しています。残念なのは、工場、デパート、事務所など生産あるいは利益をあげる施設は水準のものができていますが、公営住宅など一般住

ては父親は母親と同じように重要なことは当然です。自分がどんな大人になるかというのを親の行動のなかから学んでいくわけです。保育の場でも、成育に一番大事な幼児期に、母親や保母さんだけにまかせているのは、いくら女性が能力にたけていても片手落ちだと思います。また、ものをつくることでは、家事労働に従事している女性が、ものをつくることに多く参加することで、過重労働を強いられる男性が解放され、新しい視点から生産に対する方向がでてくるのではないかと思います。

福祉の充実が幸福につながる

それから福祉の問題ですが、産業開発と福祉の充実、どちらが優先ということもできず、ニワトリが先か卵が先かみたいなものです。産業が進まなければ福祉の充実もできないわけですし、福祉の充実がなければ産業だけ発展しても人間の幸福はないわけです。スウェーデンは五十年前は低開発国で貧乏国でした。この五十年間に産業が発達し、それによって福祉を充実させていったわけです。

それは、なぜスウェーデンが高福祉は、世界の水準にいつているといえませんが。技術の問題ではなく、暖房とか、採光とか、冬や雪など地域生活を考えた住宅の中身が十分とはいえないからです。スウェーデンでは、オイル・ショック以来、省エネルギーが課題となりましたが、一般家庭のエネルギー節約を呼びかけたり、断熱材の補充や古いボイラーの取り替えに国の補助があるなど、住みよい家にするための努力が払われています。

衣食住とは別に、北海道に足りないと思うのは文化生活ということ。北海道が経済的に貧乏ということではないのですが、音楽や演劇を気軽に鑑賞できる常設のところがないのでさびしく思います。家族全部で楽しめる文化施設が少ないようです。

冬の生活とスポーツ

講師・教育大学旭川分校教授 今村源吉

健康が人間の幸せに通じる

私のテーマは、身近な生活の中でスポーツ、特に冬の生活のなかの

社になっており、できるかというところで、産業の発達によって国民の収入が上がり、それにもなるとを最初から目標にしていたからです。福祉の充実のために税金も上がるわけですが、実収入も増えているわけです。病氣や年をとった時にお金を用意しておかなくても、必要なだけ国がみてくれるのですから、実質的に生活は豊かになっているといえます。福祉を充実させる税金ですが、所得税は日本とそうちがわな

いと思えます。ただ、スウェーデンでは、各自自治体によって多少のちがいがありますが、地方公共税というのが二五%から三〇%あります。高福祉高負担という言葉が、日本ではネガティブに使われていますが、産業が開発されて収入が上がる、その時に福祉の確立ということが最初から政策としてあれば、当然できることと思えます。北欧の国は多少のちがいはありますが、高税は苦しんでいるという事はあてはまらないと思えます。それを払っていることに誇りを持ち、国をよくするための努力の一つとして負担を惜しまないという意識があります。





ますスポーツに対する本質的なことを申し上げ、後半で具体的な提案を二つ申し上げたいと思います。

スポーツは身近なものといいますが、現状はどうかということが問題です。同時に冬のスポーツが身近なものであるか、ということもあります。夏のスポーツからみますと冬のスポーツは、やはり少ないし、夏にくらべて冬のスポーツ人口は非常に差があると思います。また、スポーツは身近と考えながら、何となく身近でもない。その理由は何かということになりま。

現在、日本ばかりでなく世界的に、健康の問題がとりあげられていきます。基本的には、健康が人間の幸せに通ずるというわけです。日本の戦後、前半は馬車馬のように働き、気がついてみると、高度成長を遂げ、世界有数の経済大国になっていた。

私がお祭りが、遊んでるんじゃない、仕事なんだというわけですが、これ自体が自分でスポーツを楽しんでいることにならないわけですし、楽しむことに慣らされていなくなるといえます。

### お祭りを心から楽しむ

楽しみというのは人間生活のなかで身近なものでなくてはならないと思います。昔からいわれる花見や紅葉狩りの物見遊山は、いわゆる自然と人間の対話で、身近な楽しみとしてあったと思います。それから、もう一つはお祭りです。ノルウェーのホルメンコーレンのジャンプ大会があります。私は長い間スポーツに関係して、ホルメンコーレンの大会は有名な競技大会という意識しかなかったのです。ところが、ホルメンコーレンはオスロの人たちのお祭りです。大会は約十五日間。前半一週間は子供たちのホルメンコーレンのお祭りがあり、あとの一週間は身体障害者の人、初心者の人も参加して楽しむスポーツのお祭りです。そしてフィナーレがあつた日本の笠谷や、かつては、藤沢が飛んだ有名なジャンプ大会なのです。私たちは選手権や競技大会だけを意識していた

この社会が非常に変化してきたなかで、何かしら人間喪失といわれるような問題が社会にまん延し、そこで、あらためて幸せとは何か、健康とは何かということがとりあげられているわけです。その対応として、人間回復のための余暇活用や、あるいはスポーツを盛んにしようということがいわれているのです。しかし、スポーツということが簡単に口に出るのですが、例えば、昭和四十八年の文部省の余暇調査では、平日の余暇は、七〇%から七四%はゴロ寝をし、テレビを見、ラジオを聴くということになります。休日はこれが六七%ぐらいといわれています。さらに十年前の昭和三十七年の経済企画庁の調査をみると大体これと同じです。十年たつても、われわれの余暇活用というのは、こういうかたちです。

### ゴロ寝が多い日本人

最近のNHKの調査によると、実際に運動をして楽しんでいるのは五%という数字です。さらに、日本体育協会が調査したスポーツ意識調査によると、自分の健康のために何かスポーツをしなければと考えている人が七〇%もいます。これは非常に多い人口ですが、必要を感じている

わけです。お祭りは住民参加でなければならぬし、スポーツを自分たちのものとして一人々々がやれるようになったら、これは素晴らしいものですね。テレビの前でお菓子を食べて、お茶を飲みながらジャンプを見ても、けっして健康につながらないのです。

### 地域性をもったスポーツ

もう一つは、スポーツは地域性を持たなければならぬことです。スポーツが生活であり、楽しみということのつながりですが、その地域の自然、社会的条件、地理的条件のなかでこそ、初めて自分が参加できるスポーツとなるわけです。冬のスキーを考えると、日本のスキー場の多くはリフト、急斜面、競技場というかたちで、そこでスキーをしています。また、稚内や浜頓別で滑っているスキーも、志賀高原などで滑るスキーと同じものを売っています。

いまシモンさんがいったように、それは値段の高いもので、足を折るほど高くなります。また、雪が目の前にありながら、バスに乗り汽車に乗り、高いお金を払ってスキーを楽しむに行く、このため、お金がかかる、けがをしてはまずいという人たちが

のに、その余暇はゴロ寝をし、テレビを見ているというおかしな現象になつていきます。また、スポーツ意識調査によると、日本人の意識は、誘われるとスポーツをするが、誘ってまではしない。特に女性にあっては、誘ってもスポーツをしないという意識が強い。これが現実です。なぜ、スポーツが自然なかたちで行われないかということ。

私は、あらためてスポーツは何であるかを考える必要があると思えます。一つは、スポーツは楽しいものということ。楽しいということ、人間が生きていく上に必要な条件であり、ある学者は「人間には必ず死が訪れる。それはまた、人を愛し、自然を愛し、感情、情緒を必ず持つ。そして遊ぶということ。人間の人間として存在する根本的現象なのだ」と申しています。スポーツの本質的なものとして遊びということ、楽しいということが、人間として生きていくうえに欠かせないものと考えられます。

### 楽しむスポーツに...

ところが、遊びというと、昔からどうも悪いことをするような気になつてしまふ。日本は貧乏な国だつたり、お祭り、スキーの発展を阻害している面があります。そこで、皆さんは、歩くスキーかと思うでしょうが、今日は詳しく申しませんが、歩くスキーは、これを解決する一つの方法ではないかと持ち出したものです。

見方を変えますと、地域性というのは自然との触れ合いのスポーツであり、自然というものにかかわり合つてこそ、スポーツは楽しいものです。地域性の中でのスポーツを具体的にいうならば、リフトの音だけ聞いて、自分のスキーの前だけ見て、ブルックボーゲンはどうでしたか、ということ。スキーが終わるのではなく、自分のまわりの周囲を十分に観察できるように冬の生活、遊びにならなければなりません。昨日も、旭川郊外の東海大で歩くスキーをしました。ききました、キツネやウサギの足跡があり、石狩川の流氷がすぐ目の前に見えます。ここに市民が集まつて、スポーツをした時に、自分のまわりの楽しさ、冬の美しさという郷土に対する意識が生まれていくのではないのでしょうか。自然を汚して自然を対象にしないスポーツは意味がないのです。

### 子供の時から寒さに鍛える

せいか、遊びとなると、子供は遊んでよろしいが、学校を卒業すると、さあ仕事だぞ、遊んでいられないぞ、となります。皆さんもそうだったと思いますが、そこで、スポーツは学校で盛んになり、学校体育は非常に進んでいます。しかし、学校を出ると何かしなければ、といわれる国だったわけです。まあ、考えてみると、それが経済大国をつくりあげたんだと思えますが、肝心の人間としてあるべき要素が欠けていたといわざるを得ないのです。それで、社会に出たらからスポーツをやることに何か抵抗を感じるように思えます。

一つの例として、スポーツ調査のスポーツを指導する人たちの意識ですが、この人たちはスポーツを指導して体力をつくらう、健康づくりに役立とうと考えています。指導される人たちは「そうか、体力づくりのため、健康のためにスポーツをやらなければならぬ」というように、楽しむべきスポーツが、いつの間にか何かのためにやるということになつていくわけ。ということは、遊びは不まじめで仕事はまじめだといふ考えがあり、スポーツは何となく不まじめ、まじめにやるうとすれば、仕事にかこつけなければならぬ。

以上、スポーツの本質に触れてみました。北海道の冬の生活とスポーツでは、寒さや雪を大きなメリットと考えていくことです。伊藤真次先生(北大名誉教授)が書かれた「日本人の耐寒性」という本のなかで、基本的には幼少時から鍛える原始的方法が大事といっています。小さい時から冬の寒さのなかでスポーツで鍛えていくことを考えていくべきだと思います。

### 歴史的教育的から変換

非常に急いだ結論ですが、提案として二つ申し上げたい。一つは、歴史的教育的の場から変換をはかるべき意識を、この辺で変換をはかるべきでないかということ。本州の学生が北海道にきたら本州のスキーとちがうことがわかったといつた。得意の歩くスキーをやらせたが、寒さや雪の多いことをあらためて認識し、スポーツを考えていくことです。その意識の転換は、学校教育のなかで子供のときから楽しいスポーツ、生活のスポーツを身につけること。また、社会体育のなかで、自分のために自分でスポーツをやることを考えることです。スキーの盛んなアルプス地方のフランス、ドイ

ツ、オーストリアは、最近ではスキートの三〇%が歩くスキーに転向しています。フィンランドの人は、今のスキーは歩けない靴で、自動車に乗ってスキー場に行き、リフトで上がり、地球の引力で降りてくる。そこには自分の意思が働いていないという。歩くスキーは、自分の意思がなければ動かないのです。北欧の人は、いまに歩くスキーにエンジンをつけるぞ、それを最初にやるのは日本人じゃないかと、これは冗談ですが、スポーツは自分でやるという意識を高めていくことです。

### 行志向型から組織づくりへ

もう一つは、行政への注文です。いままでの行政は行志向型です。人間ぜいたくなもので、何か準備してやらないとやらないものです。行政は初めにきっかけをつくってやることでいいわけで、行志向をやめ、自分自身がスポーツをやっていくクラブや組織づくりをしていくことではないでしょうか。クラブに参加する仲間を育て、クラブハウスや手軽にスポーツのできる体育館をつくり、毎日通って自分でやるスポーツ志向を育てて欲しい。そのために、スポーツ相談所をつくり、道民に指導し

てくれる専門的指導員の養成、特に北海道ではキャンプ、スキー、スケート、登山などの野外スポーツ指導員養成が必要で。

第二の提案は水泳の問題です。北海道の子供の水泳事故は交通事故より多いといわれています。泳げない先生が多いからですが、道内のプー

## 質疑応答

これで三人の先生方の話が終わりましたが、ご質問、ご意見があればいただきたいと思えます。

**質問** 北海道で青年の船の旅を行っています。いま、先生方の話をきいて、北海道のこれからの世代になう青年は、北方圏へ出かけ吸収すべきものは吸収してやるべきだ。また、経済、文化、教育などの交流には、助成を考えていただきたい。

**佐竹上川支庁長** 青年の船は東南アジアを中心に行い、青年ジェットはアメリカ、カナダへ行っています。これからの方向としては、北欧などの交流を盛んにしなければという意識を持っています。また、これから

ルは全部室内プールにし、温水にして欲しいものです。時間がないのでしりすばみになりますが、北国の寒いという地域の自然や、生命、健康に関係した水泳を考えていきますと、どうしても室内プールへの意識をもう少し高めていかなければならないと思えます。

の若い人、小、中学生、高校生に北方圏の意識を持ってもらうことが、底辺を広める最大の近道と思えます。支庁からへき地校に、毎年本を贈っていますが、北方圏に関する本を選んで贈ることもできます。また、名寄市では姉妹都市との高校生交換をし、民宿していますが、数を増やすとともに助成していくことも必要と思えます。貴重なご意見をありがとうございます。

**山本講師** いま、佐竹さんが、こちらから行くという話がありました。が、向こうからきてもらうことも非常に大事ではないかと思えます。外国との交流という場合、私どもが外国に行って学ぶことがあると同時に、外国の人々にきてもらい教えて

もらうことが必要です。ただ、外国の人を招く場合、一番のネックは住居です。住居の水準が立ち遅れ、上下水道が整備されていません。ここへきて欲しいというのは、はなはだやりにくいわけです。私どもの大学にデンマークからきているキーステン・田口さんも住居が一番困るといっています。行政が、交流のための住居に助成してくれば交流の条件はあります。外国の人が一、二年滞在する間に、北海道の人たちとひざつき合わせて話し合い、触れ合いのなかで理解することが広がっていくのではないかと思います。学術交流の協力がいただければ、条件を整備し、地域に還元しながら北方圏交流の一翼になうことができると思えます。

**意見** 今村先生のスポーツに対する意識を変えていくことは、教育現場では非常にやりづらい条件があります。一つは学校体育に評定があることです。スポーツが自分で楽しむものであれば、評定は必要ないのでないか。この辺から考えなければ意識は変えづらい。もう一つは貧困な施設のなかでは、スポーツを楽しむ意識を育てるのは難しいことです。氷点下二〇度を超える体育館で

バレーボールやバスケットボールをやってもつらいと思うだけです。体育館があっても使えない状態を早く解消しなければ、スポーツを楽しむながら生活するという意識は育たないと思えます。

**質問** 北海道は北方圏との関連、北方圏との交流を通じ明るい将来を考えるべきでないかとのお話ですが、具体的な方法があればお教え頂きたいと思えます。現在、行政サイドではかなり交流が盛んになっているが、民間はまだ少ない。特に、その面で。

**山本講師** お話のとおり、民間サ

## 最終総括

コーディネーター

関 清 秀

### 参考になるアウラ・ヘルシンキ市長の話

先生方どうもありがとうございました。きょうのお話でつきていますが、最後に思い出したことがありますので、ご参考までに申し上げます。それは、昭和四十九年九

月の北方圏環境会議に出席したヘルシンキのアウラ市長がおっしゃった内容ですが、私にとっては非常に有効なことが多かったのです。もう一度紹介致します。

その一つは寒地住宅です。フィンランドでは、ヨーロッパ式の住宅がそのまま通用しないため、北方型の気候に適した住宅様式の工夫が必要だといわれています。その条件として第一に地下室を設けること。もし地下室を設けない場合は、凍上防止のため、南部地域では百六十センチ、北部では二百センチの基礎をつくるようにしています。第二は、外壁による防寒です。外壁と屋根裏には十センチ厚さの断熱材を使用しています。第三として屋根の雪の重さに耐える基準ですが、一平方メートルの耐雪基準を設けています。第四には、通年施工の問題ですが、コンクリートの凍結防止法を考案し、プレハブユニットの開発を行って通年施工をしています。

### 暖房費のコスト節減

また、暖房ですが、フィンランドにおけるエネルギー消費の四五%は暖房用にあてられているので、コス

ト節約が重要な国民的課題になっています。そのため、政府ローンによる住宅には条件がついています。一つには窓を小さくし三重窓構造にすること、サーモスタットを備えつける。団地、アパートの標準室温は二二度にしてはいたが、二〇度以下、普通の家庭でも二二度を超えたら二〇度以下に下げることになっています。それから、電気の方が安いため電気暖房システムをとり、また、発電余熱を利用していることです。

### 除雪費は市と市民が折半

次に、冬の道路交通についてです。一つは、道路の凍上防止に特別な工夫をし、ディーブアスファルトの開発をしています。それからスパイクタイヤの使用を制限し、路面を損傷しないスパイクタイヤの開発も行われています。除雪作業には市民が五〇%、市が五〇%と両者で半々を負担しています。また、融雪に塩を利用していますが、市内の市街地では塩の使用を禁止し、砂を利用しています。

次に上下水道ですが、ヘルシンキの場合は、上水道の良質な水質源を確保するため、北方百二十キロにある湖を利用しています。このため、湖



畔にあるパルプ工場の排水処理施設には、市が長期のローンを貸し出しています。下水道は市の九五％に行きわたっており、新しい団地の地域では雨水と家庭の下水とを別に処理しています。すべて生物学的方法で処理されており、清浄後も温度が高いので、これを融雪に使っています。

### 都市の美観に配慮

以上が都市内部の問題ですが、金市の発展と環境保護の目的は、市民の日常生活の環境保護であり、基本的課題は市民生活の環境、すなわち、生活環境に変化と個性をつくり出すということとです。都市規模が大きくなり、発展するにつれ、市民生活はややもすると画一的なまきまりたものにおちいりやすい。市民のために豊かな魅力ある環境をつくるのは、もっとも重要な課題と考えられています。そのためには、まず、都市の美観です。アパート群、団地に豊富な色彩を与え、緑を豊かにするということが、例えば、街路樹の枯れるのを防止するため、除排雪を街路樹の根元に積み上げないようにし、家を新築する場合は、既存の樹木を切らせない。また、大木は特別に保

護することになっていきます。

### 清浄性のため原子力へ

それから水質汚濁防止ですが、森と湖の国のフィンランドでも水質汚濁が進んでいます。雪氷期間が長いということは、それだけ水の自己清浄力を失わせるわけで、そのために二つの方法がとられています。一つはフィンランド湾内の浄化、もう一つは、バルト海の汚染防止を沿岸諸国と協議して進めていることです。また、大気汚染防止では、やはり暖房が、冬季の汚染の主要原因になっているため、大部分が地域暖房に転換しています。大規模発電所の監視体制を強化するほか、安全性を調査して原子力発電へ切り替えていくこと。十年後には安全な装置を完成するというところで、具体的な対策が進められています。

いまの話は都市のことですが、フィンランドでは農村も含めて冬を楽しむ生活を考えています。さきほど、冬に働いて夏に休暇をとるというスウェーデンの話がありました。フィンランドでは、冬に休む人は夏より五割増しの休暇が与えられ、冬を楽しみ、夏は働くということに切り替えられています。

### 冬には1-4が車を使わない

私たちは北欧に学ぶことをいろいろ考えていますが、北欧の諸地域はこれまでの長い伝統のうえに、また新しい生活様式をつくりつつあります。その動きを細かく研究し、学ぶものは学ぶ必要があると思います。その一つとして自動車ですが、自家用車は冬になると、四分の一が自動的にしまわれていくそうです。これで、冬の交通事故は夏より少ないということとです。

それから、北欧への人の派遣ですが、具体的な冬の生活体験のため、家庭の人、若い人、農村地帯の人が、数は少なくてもいいから派遣するようになり方もあると思います。長くなりましたが、本日は先生方へいいお話をいただき、また、ご熱心な討議もありまして、ありがとうございました。



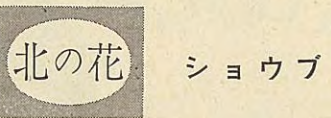
ショウブはむかしアヤマあるいはアヤマグサと呼ばれた。和名の菖蒲はショウブと同じ仲間の石菖(セキショウ)のこと。そして、俳句の季語の「菖蒲の芽」はハナショウブを指すからややこしい。ショウブ自体はアヤマ、ハナショウブには縁のないサトイモ科ショウブ属の多年草で、どちらかといえば、むしろミズバショウやザゼンソウに近い植物となっている。

湿地が好きで、池や流れの弱い川ぶちなどに生えるが、葉は剣のような形をし、根元は互いに抱き合って左右二列に並ぶ。幅一・五センチから二センチで長さは五十センチから八十センチ、濃い緑色をし、堅く、表裏の別がなく、中央部分を縦に主脈が通っている。根は太さ一・二センチの地下茎で、白か薄赤い色をし、たくさんの節を持ち、根茎の先から葉を出す。初夏、葉の束の中央から長さ三十一・四十センチの花茎を伸ばし、

し、仏炎苞と五葉ほどの円柱形の花穂をつける。この仏炎苞と花穂でミズバショウやザゼンソウに近いことがわかるが、花穂は多数の小さな淡緑、淡黄色の花のかたまりで、花びらは六枚、雄しべは六本、花糸の先端

### 端午の節句の邪気払い

に葎がつく。仏炎苞の先は伸びて葉と同じ形になる。本来は常緑草で、南国の高温地帯では種子も結ぶそうだが、寒地ではタネも出ず、毎年枯れて休眠。その代わり次々と分枝する地下茎で栄養繁殖し、群落を



ショウブ

るカササキ、スイートフラグはかおりに由来したもので、それぞれこの草の特徴を示している。

ところで、日本ではショウブは「尚武」に通ずるため武家にとうとばれたのを初め、五月五日の端午の節句にからみ、わが国の民俗

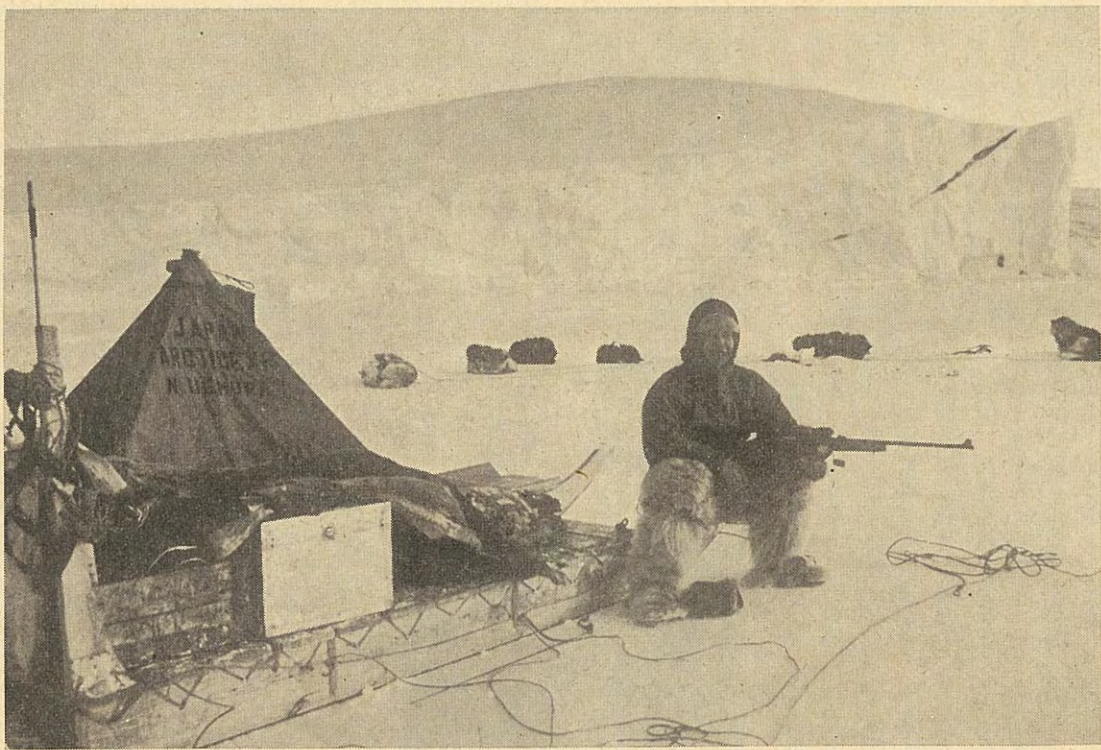
に深いかわりを持つべきだ。武家の子供は端午の節句に布で鉢巻きをして、そこへショウブの葉を刺し、刀代わりにショウブを差して歩いた。さらに「勝負」の語にもかけて勝運に恵まれるよう菖蒲草、菖蒲鍬形、菖蒲作りなど武具や馬具の装飾模様にも使った。

また、民間では五月五日ショウブを薄く切って紙に包んでまくらにし、邪気払いのまじないにしてきた。中国では五月は悪月とされ、この思想が日本へ入り、こうした風習が生まれたもの。邪気払いのものはその独特の芳香とされ、四日夜ショウブまくらをしたあと、翌五日それでショウブ湯をわかし入浴、一方根を刻んで酒に浸し、菖蒲酒を作って飲んだ。これら俗習が重なって五月五日が菖蒲の節句と呼ばれるようになったという。

ショウブ特有のにおいは草全体に含まれている精油

のはたらき。この精油はメチルオイゲノール、アサロンなどとされ、特に根に多い。人によって好き嫌いが強いが、ヨーロッパでは化粧水や練歯磨に混ぜたり、口すずぎの水作りに利用、また日本、中国では薬草として使ってきた。漢方では根を干したものを菖蒲根といい、芳香性健胃薬に用いている。

アイヌも薬草にしてきた。千歳にはケガしたキツネやウサギがこの草の根で傷をなおし、それを見た人が薬にしたといい、トリカブトの毒にやられた時、このせじ汁を解毒剤に使ったとされている(「更科源蔵、更科光」コタン生物記)。長沼町馬追山近くにショウブ沼があったとの伝説も残っている。北海道にはもともとあったようだが、現在見られるところは以前人家があった場所ばかりなため、そう多くなかったようだ。



# 絶対成功の決意を秘めて

## 北極点探検の植村さん壮途へ

「この旅行を成功させて、無事帰ることが、私の旅行を応援してくれた日本人の好意に伝えることなのです。元気でいってきます」  
 冒険旅行家の植村直己さんは、一月三十日夜、たくさんの見送りを前にして、こういって東京・羽田をたつていった。今までだれも体験したこともない北極点への単独犬ゾリ旅行の旅立ちだった。

植村直己——明治大学農学部卒、三十七歳。エベレスト、マッキンレ、モンブラン、キリマンジャロ、アコンカグア、と世界五大陸の最高峰を極めたほか、アマゾン川六千キロをイカダで、しかも単独で下り、一昨年にはグリーンランド、カナダ、アラスカの北極圏一万二千キロ単独犬ゾリ旅行をやつてのけたユニークな冒険野郎だ。

植村さんが、この突拍子もない冒険旅行を思い立ったのは五、六年も前のことだったが、実際にやる気を固めたのは北極圏一万二千キロを走破に成功した五十年五月の時点。それからの植村さんは準備に忙殺された。北極探検に関する本を読み、イタリヤの探検家モンジノをマッターホルンのふもとの家に訪ねた。現地に飛んでは氷の状態も調べた。

ところが調査すればするほど、前回の体験とは違った難関が数々でてきた。前回は氷海上を走ったとはいえ、大半は陸上だったが、北極点となると完全に氷海の上だ。氷は風によつては一日十キロも動く。目標に近づいたと安心して寝ているうちに、氷が動いて方向が変わってしまうかも知れない。また、前回は、行く先々にエスキモーの村があり、食糧も補給できたし、カリブーやトナカイもいた。だが、今度は動物もいないし、まったくの無人地帯。何日分もの食糧を積んで走るわけにはいかない、——など、あまりにも困難が多かった。

しかし、難問にぶつかればぶつかるほど、植村さんは燃える。距離や方向を確かめるために西堀栄三郎さんに天測法を特訓してもらった。食糧は小型機をチャーターして空中投下してもらった。ひとつひとつ、持ち前のねばりっこで難問を解決していったが、経費も膨大なものになった。総予算は六千万円。だが、これも、国民的な支援を呼びかけることでメドがついた。

一月三十日、東京をたつた植村さんは、カナダのリゾリユートを経てグリーンランド北部のカナックに入

り、犬を購入、訓練したあと、犬ゾリの製作、試走を行った後、カナダ最北部エルズミア島のアラートで最終点検を行い、三月五日勇躍、北極点への壮途についた。北極点到達は四月中旬、そのあと、グリーンランドのピアリーランドに戻り、内陸を縦断して南端のナルサスワックまでの約六千キロを走破する。

植村さんはいう。「旅行の目的？ありません。強いていえばやりたいからやる——それだけですよ。だから、絶対成功させないと、後援していただいた日本中の人達に申し訳ない。私は善意の盗っ人にはなりたくない。盗っ人にならないためにどんな行動をするか、これが私に与えられた課題です」と。

エドワードを出発してから三十五日の四月九日現在、植村さんの位置は、北緯八六度線を突破し、直線距離にして三百四十五キロの地点、北極点までのほぼ中間点にかかった。出発後四日目は白クマに襲われ、テントを破られるアクシデントがあったが、空からの補給を受けながら、極点に向かっており、順調にいきます。月末には北極点に到達もある。

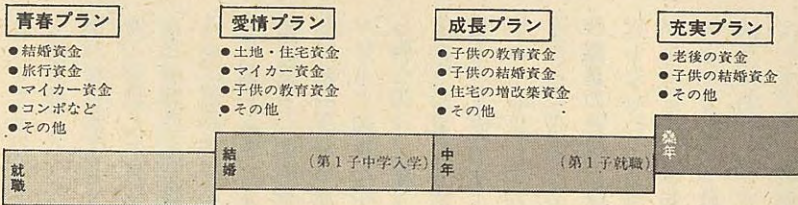
ガンバレアニマルのウエムラ♪

あなたのくらしのサイクルに合わせて  
プランをお立てください。



### 道銀天引積立

# マイライフ



- 積立期間 1～3年（据置3ヶ月を含む）
- 目標額 20万円・30万円・50万円・100万円の4コース10種類



各地だより

北国の人々の生活を知るには、その日常生活をよく知ることが近道。日々の生活のなかにその国の、地域の文化、産業などが具体的に反映されている。

北欧諸国、カナダ各州、アメリカ・アラスカ州など北方圏地域に根をおろし、活躍している日本人も多い。日本、あるいは北海道が、その地域でどう理解され、認識されているのか、そして、観光旅行だけでは触れることのできない、それら地域の生活の一面を知るために、北方圏地域で生活している日本人の目を通じ、紹介していくことにした。今号からスタートした「北方圏リポーター」の話題に期待を。

在デンマーク  
リポーター

武田 龍夫

### 反税党党首の脱税事件

「もし歯が痛むなら歯医者へ。税金で痛むなら私のところに」というのは本人自身が大金持ちで、デンマーク第二の政党内閣、百七十九議席中二十六議席を占めるレッキとした野党第一党の党首グリストルップである。その名は今や国際的にもなったが、要するに税金の不払いを目的とする政党である。ご本人は怪憎ラスプーチンのように容貌偉偉、肥大した教祖風風格のなかなか魅力的な大男で、弁舌またさわやか。扇動家としての表質も相当のもので、やはり一代の曲者の感じである。

#### 教祖的な反税十字軍

職業は弁護士だが税法のいいかげんさにかみついて反税十字軍を起し、一九七二年に進歩党を設立したのである。これがまた大当



武田 龍夫氏

たりして、一部国民から歓呼の声を

もって迎えられ、あれよあれよという間に野党第一党にのし上がってしまった、という次第なのである。しかも、そのスローガンがふるっている。グリーンランドのアメリカへの売却、国防軍の廃止、公務員は半減、二週間ごとの選挙とあっと驚くような政策が目押しなのである。その中で目玉商品が税金の不払いの主張なのである。実際、デンマークは重税国で四四から六三%までの所得税国、社会福祉拠出を含めた対GNP租税負担率は四五・四七%（七六年）で（二位スウェーデン）世界一の重税国であり、国民の間に重税に対する反感がいかに強いかということとを証明しているわけでもある。

そこでグリストルップ、そこは税法の大家でもあるので、つくりもつくったり二千七百十六社という途方もない数の泡沫ペーパー会社を設立、解散して迷路のような税法の網の目をくぐり抜け、百万以上で三年前に裁判にかけられてしまったのである。もっともグリストルップに相談する脱税目当ての客の数がいかに多かったかという

ことでもあるが。

#### 有罪憶せず意気軒高

かくてこのほど脱税裁判の判決が下りたわけだが、グリストルップは有罪、八十八万ポンドの追徴罰金を命ぜられてしまった。グリストルップはこれに対して「無罪だったら有罪のとき以上に驚いていたろう。私の力は不正と不条理に対する闘いから生まれるのだ」と、涼しい顔で豪語、意気軒高として裁判所から赤地に白十字のデンマーク国旗を手に打ち振りながら胸を張って出てくるのに、これもまた支持者たち大勢が手に手に小旗もって歓声を上げて、英雄でも出迎えるような大騒ぎという光景となった。グリストルップは「国会議員の身分を保障するなら上訴はしない」ともちかけたが、ヨージェンセン首相は知らん顔し、グリストルップは「政治陰謀にひっかけられた」とますます意気上がっている。この話題、当分消えそうもない。なお、反税党ではノルウェーにもランゲ党、かつてはフランスでブジャード党があったが、一さて進歩党の将来やいかに！とにか小党分立を背景とした

各地だより

デンマーク政局の不安定は一にかかってこの異端の政党が台風の目になっていくからでもある。アン

### 自由市クリスチャニア

コペンハーゲンのカストルップ国際空港に赴く途中でアマガートという離島地区の一角にクリスチャニアと呼ばれる小さな「共和国」がある。ここに六百〜七百人ほどの男女、子供、それに彼らの飼っているイヌ、ネコ（中にはウマまでもちこんだのがいるが、一）が住んでいる。クリスチャニアはいわば四十五軒ほどの面積の「自由市」である。



ポート裏のイスラエル青果市場

デルセンの童話の国らしく、デンマークは政治童話の国でもある、ということか。

#### 自由市バンザイの勝訴

居住区は堀と堡壘を有するちょっとした小さな要塞みたいな感じで、入口の門にはうす汚い奇妙な服装をした若者たちがたむろして、うっかり自動車で見物にでも入ろうとするなら、たちまち白い目をして通せんぼである。外



ランゲリエの人魚像

敵に対して団結して警戒しているのである。門からはサイケな感じの色彩のペンキ塗りを施したキテレツな暖房もないガラスの割れたバラックの廃屋群がいか見えろ、住民の三分の一は生活保護を受けており、さらに百人ほどは麻薬常習者や元犯罪者、精神異常

者だともいわれ、外国人は他の北歐国籍の浮浪者ということ、市民たちからは公共施設を不法占領として無政府主義者やならず者たちの巣くつとみなされてきた。そこで議会はコペンハーゲン市民の六〇%がクリスチャニアの解散を要求しているという世論を背景にクリスチャニアに同情的なヨージェンセン首相に対してとうとう四月一日をもって居住者たちに立ち退き命令を出すよう要求、ブルドーザーをもって百九十ほどの建物を全部破壊してしまおうことになった。そこで問題はたちまちテレビ、新聞の格好のニュースとしてクローズアップされてしまった。こうして政治家たちは「民主主義秩序への脅威である」刑法学者たちは「クリスチャニアは首都の犯罪率を削減させるのに寄与した」警察は「自由市は盗品や麻薬のデンマーク最大のマーケットで有力な助っ人が現れた。コペンハーゲン大学学長ら二十四人のインテリたちが首相宛公開状を発して「クリスチャニアは確立した生活に入れない人々の生き方の理解に大きな貢献をなした」と弁護に

各地だより

回ったからだ。つまり、人間行動に関する社会的実験地として大目に見るべきだというのである。困り果てた政府は裁判に訴えたが、テレビで見る傍聴席は異様な連中。勢を上げるクリスチャニア住民たちでいっぱいになるという始末。結局、裁判判決は「法的には不当であるが、人道的見地から自分の

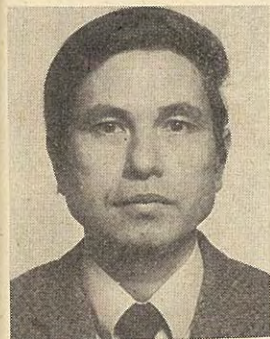
在スウェーデン・ウプサラ大学助教授

龍岡 恵喜二

「日本に学べ」が大流行

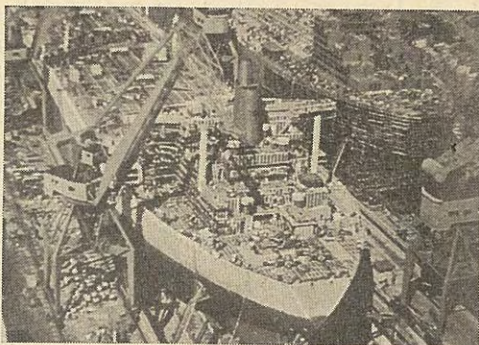
対日感情は

スウェーデンとデンマークはお隣同士で、言葉もよく似ているのですが、耳に聞こえてくる感じは全然別の言葉のようです。デンマーク語の中には中国語に似た発音、抑揚があり、「チャイニーズ」だとスウェーデン人は一種の軽べつの気分をこめてコメントします。一方、デンマーク人は自分たちはヨーロッパ大陸の人間であり、アジアはス



龍岡恵喜二氏

ウェーデンの南端の町・マルメから始まると反論します。どうも、アジアの果てから来た人間には、どちらのコメントも余り耳ざわりがよくありません。それでもスカンジナビアの人々は自分たちの国



スウェーデン・アーレンダール造船所

いると思うでしょうが、スウェーデンの一般人は最近まで日本人を「ものまねの上手な小さな人たち」くらいにしか受け取っていません。日本より40%も高い船価

日本より40%も高い船価

何十年前の話かも知れませんが「日本人がマッチ工場を見学に来て、その中の一人が、わざとか、または偶然か、帽子をマッチ液の中に落とし、杖をちょっと液の中に差し込み、日本に帰って同じものをまねて作り、日本工場の町の名をスウェーデン工場の町と同名に変え、メイド・イン・ヨニショップで世界に売り出した」という話は、今までに若い人たちから何回も何回も聞かれました。

ところが、アメリカ市場から締め出された日本製自動車スウェーデンに登場し、急速に売り上げが伸びだした時、スウェーデン人は「おや、日本人は車もつくれるのか」という驚きがあったようです。特に、スウェーデンの船主ブローストロームの会社が、スウェーデンの誇る地元造船業を無視して三井造船に大型船三隻を発注し



長い冬の余暇を木彫で楽しむ人々

へんよりさらに一四度北にあたるが、冬のこの一帯の天候は穏やかです。とはいえ、白夜で知られる北欧の夏の形容も、半転して冬には灰色の毎日が続き、健康的な生活ではありません。冬至のころの北端のラップランド地方は日照時間がわずかに二時間で、この南部一帯でも七時間程度です。

閉ざされた暗い冬を過ごすために、暖かい環境が必要であることはいまでもありませんが、住居は外観だけでなく、すみずみまで住む人たちのアイデアが配慮されています。照明、家具、調度品、敷物、壁紙、植物：などそれぞれ

在スウェーデン・デザイナー

中村 昇

春を待つスウェーデンの人々

小都市エルムフルト



中村 昇氏

産量の三分の一しか生産出来ないことが明らかになり、テレビで放送されました。日本人の与えた経済衝撃はアメリカ、ヨーロッパを通じてようやくノルデンにもはつきり伝わってきたようです。必要とするということなのです。しかし、保守連合内でもエネルギー問題はもめにもめ続けました。結局「福祉国家を維持していくためには原子力エネルギーは必要」ということになり「原子力発電所は絶対に放射能による公害をもたらさない」と「自証」することを義務づけた法律が成立した。

福祉国家の維持に原子力は必要

エネルギー問題

一九七六年、ついに四十四年間も政権を維持してきたスウェーデン社会民主党が倒れ、保守連合政権が誕生しました。何ゆえ倒れたか？という問いは至るところで発せられ、いろいろの答えが出てきたが、選挙分析の専門家によると、多くの浮動票が社民党から保守連合の主力である中央党に移動したことがわかりました。動機は社民党のエネルギー、とりわけ核エネルギー対策案にいや気を示したが浮動票が反核エネルギー派の中央党に移動したというものです。

しかし、どうしてエネルギー問題がこうまでスウェーデン政治の命運を決する重要問題になってきたのでしょうか。それは一言でいえば、スウェーデンは他の国に比

各地だより

各地だより

**長い冬は趣味を生かす**

陰気で長い冬の余暇の利用はスポーツだけでなく、趣味や教養を深めるため大人の学校が設けられています。陶芸、機織り、金工、木彫など趣味のコース、溶接、板金、写真などの専門コース、英・仏・独・西語の語学コース、柔道、水泳、球技、美容体操を含めたスポーツコースがあります。町で運営しているこれらのコースは平均週一回約三時間、コース料の最高額は一万円前後で、そのほとんどは無料に近いが、無料となっていない。教養コースにも国語、数学、心理学、経営学などたくさんあり、他のコースとも共通していることは教育レベルの差を縮めるために、比較的高年齢の受講者が多いことです。

**高負担でも住みやすい**

とにかく、日本人から見ると50%を超える税金に、諸物価も高く住みにくそうですが、案外と住みやすい国です。というのも、高



高谷尚子さん

カナダ

二月二日はモグラの日。穴から出て来たモグラの姿をみると六週間雪が消えるといわれますが、今年の立春は激しいブリザードで明けまし

おそい今年の春

た。春の雪はさらさらし、降ったとすぐ飛び散ってしまう厳寒のこ

生活をエンジョイする人でいっぱい

高谷 尚子

在カナダ・サスカチュワン州サッカートン市

リポーター

税金が老後も含めた現在の生活を保障してくれているからです。もっとも社会福祉、社会保障が整った国として知られている裏には納得いかない矛盾もあります。そして、スウェーデンと日本とをこの地で比較すると、生活習慣、価値判断、モラル、すべてに大きな違いがあり、お互いを正しく理解することは容易なことではありません。それらの違いはリストとしては見えない部分でな

**太陽が出ると活発に：**

久しぶりに太陽が出ると、競ってカーペットを干したり、近くの森へ散歩に出たり、スキーに乗ってインテリアの主役たちは家族の好みに応じ、豊富な中から選ばれたものであり、自由の中にも合理的、かつ調和のとれたその家の個性を率直に示しています。それは買いそろえたものばかりでなく、週末に作ったり、古いものを塗り替えたりすることにより、既製品の持つ淡白な部分をカバーし、個性的な住まいづくりを楽しんでいます。



近くの公園でスキー・ソリ遊びの子供たち



夏の間にはバーサ・ロケット参加のためのトレーニング中

たり、マラソンコースを走ったり、とたんに人の動きが活発になります。戸外といえば、北国に共通の雪の問題がありますが、ここの除雪作業の徹底ぶりも特記できましよう。日に何度も大小の除雪車が往來し、プラン車がその後を追いつつ続けます。次に滑り止め用に戸口から戸口へ、そして歩車道に塩や砂をまく小型車が往復します。ちなみに足を踏み入れてないところは積雪量が三十センチもあるでしょう。余りに神経質に整備され過ぎて窮屈な感じがしないでもありません。このことは、モラルとは無関係にスウェーデン人の体質とみていいだろうと思います。春夏秋冬、環境保全のために相当税金が使われていますが、北海道育ちの私どもには税金のムダ遣いの感がしてならないのはひがみでしようか。もう一つの例を添えるなら、秋の落ち葉の時期も枯れ葉が降りしきる下で毎日清掃が繰り返されるのです。それらの騒音に老人、病人、乳児を抱える家庭から苦情が出ているとも聞いています。

二月にはスポーツ休暇

二月に入ると、スウェーデンでは各学校が一週間ずつスポーツ休暇に入ります。それは家族でスポーツを楽しむことを目的に設けられたもので、この休みを待ってキャンピングカーを引き、国内外のスキー場へ出かける人も少なくありません。スキーでは回転、大回転



スポーツ休暇はキャンピングカーを引き、国内外のスキー場へ

盛んなウインター・スポーツというところ、アイスホッケーも見逃せません。三歳くらいからスケートをはき、スティックを握り、パットを追う姿も地元のリンクでは珍しくなく、層の厚いスポーツといえます。身近なところでは大きな公園を利用し、二、五、十ギのコースをコンディショニングに合わせ、家族でスキーをはき、走り回る姿はカラフルなポーツウェアとともに



スクータ開会式・各小学校から数人ずつプラカードをもって参加行進



スクータ開会式の模様

ろのと違い、重く、吹雪ともなると車窓にくっつき、混乱を生みまします。室内がいつも平均二二度前後なので、ついその気でコートも手袋も持たず、セーターだけを羽織り、二百四十ギも離れた首都のリジャイナに出かけた無謀な青年が吹雪で方向を失い、一方通行のハイウェイを逆に走り、溝に落ち、通りかかったバスに拾われたという嘘のような話もあります。道産子の私たちには考えられない無防備ですが、氷点下四〇度の寒さ内にはたのびたのは甘くみてしまうのでし

各地だより

冬のスポーツの集大成

春の吹雪も過ぎて三月が近づくと、日差しも一段と暖かくなり、朝氷点下二七度という放送に誘われ、スキー行を考えますが、日が照り、風がないと正午には氷点下一〇度くらいになることも間々あります。このころになると、二十分おきにラジオが知らせるウインド・チル・ファクター（一平方呎の広さから奪われる熱量をワットで計算した量）も千五百くらいにとどまり、一町半離れた学校へ子供を迎えに行く要もなくなります。

私たちが家から飛び出し、冬のスポーツの集大成に入ります。六歳と九歳の息子は週二、三度のアイスホッケーで鍛えた力を、毎週末五十キロ以上離れた町のリンクまで行き、終日トーナメント試合を競って試みます。アルペンスキーにはラバットというビルル会杯の争奪戦があり、また、フリースタイル・ジャンプ大会と銘打った空中二、三回転のアクロバット競技もあります。ほとんどの人が美容や健康のため行方クロスカントリースキーも、日差しにつれて参加者が多くなり、あちこちで、脱いだコートを腰に巻きつけて走る姿がみられます。

姉妹都市と五種目競技

冬のスポーツには、こんな面白い試みもあります。それは、クロスカントリースキーをはじめ、水泳二百呎、スケート二き、かんじぎ徒歩二き、体操十五分の五種目を姉妹都市のスウェーデンのウメオ市と競うことです。一昨年初夏のギャランカラップ（歩け歩け運動）のウメオ市との競技ではサツカツインが勝ちました。今回の冬の競技会は、スクーターと名付けられ、朝八時から夜十時までの間に近くの学校やプールなどで参加者の名を記録しました。家で体操十五分を希望する人は電話するだけで済み、夜十一時四十五分まで受け付けてくれます。

%を追い越しました。

キンズマンの活躍

これらの後援団体の一つに、キンズマンというあらゆる分野から集まった四十歳以下の男性有志で組織されたカナダ独特の福祉団体があります。先ほども、そのキンズマンが古い倉庫をスケートリンクにする資金集めとして、小学生を対象にスケートマラソンを開きました。趣旨に賛成の人々から一周何と寄付を集める趣向で、私の息子も三十分間にリンクを四十四周し、合計四十が近くを寄付しました。

夏にはワーカーソン

ほかに、高学年を対象にスキラマ、夏にはワーカーソンといって、歩いた距離に金額をかけ、寄付金を募ります。また、キンズマンは三月四日から五日にかけて二十四時間テレビを放映し、電話で寄付を集める。テレミラクルを催します。カナダの有名タレント三人を司会者に、種々の分野で活躍している著名人や、一般市民を出演させ、視聴者を楽しませながら、ほとんど寄付を集めます。



フリースタイルジャンプ（ブラックストラップ山で）

青い大地

明けゆくシベリア

(8)

山中文夫

その歴史

ロシアの東漸

ヤクーツク政庁の開 設とロマノフ王朝 げしい抵抗と、ジュンガリア草原を根拠として急速に成長してきたチヨロス部（ジュンガル部）との摩擦をさけて南下作戦を中止したロシアの勢力は東部のレナ川およびバイカル湖方面に方向転換し、驚くべきスピードでレナ川流域一帯を掌中におさめ、一六四〇年にはレナ川中流の要衝にヤクーツク政庁を開設した。

エニセイ川に城砦を築いたのが一六一八年だから、それから約二十年しか経っていない。もちろん、これらエニセイ川、アンガラ川、レナ川流域には多くの原地住民が住んでおり、たくさんの血が流されなければならなかった。

ヤクーツク政庁の開設はロシアのシベリア植民政策がオホーツク海にまで伸び、アムール川流域とチュコト半島、カムチャツカ半島を残して、ほぼシベリア全域を一応掌握したことを意味し、このことは一六一三年即位したミハイル・ロマノフ皇帝によるロマノフ王朝の成立と無関係ではない。一六一三年の項に「ミハイル皇帝が即位すると、シベリアに注目し、エニセイ川流域からさらに東部の植民地の計画を立てる」と年代記にあることがこれを物語る。しかし、ミハイルの時代はポーランドとの戦争が続き、スモレンスクの敗戦など手痛い打撃をうけており、ツァーリの兵士を

遣いシベリアに多く注ぎこむことはできず、従前どおり地方政庁によって編成された探検隊や私的な民兵がそれぞれ自恣的にやっていた。それも良質な毛皮の確保、金銀など貴金属の鉱床の発見、原地住民の略奪、貢納を目的とするもので、しかも無統制なものであった。

ヤクーツク政庁が建設されたのは、こうした無秩序ぶりにある程度の規制を加え、シベリア各政庁の管轄地域を定め、混乱を防ぐ目的があり、シベリア植民政策、シベリア経営に対する国家意思の現れとみることでできよう。

オビ、エニセイ、レナ 十六世紀から十七世紀にかけてのシベリア経営はトボリスクのシベリア政庁がオビ川流域を担当し、エニセイ川については上流はトムスク政庁（エニセイスク政庁）下流はマンガゼアの軍務知事の守備範囲であった。このためエニセイ川からレナ川へ東進した探検隊や遠征隊はそれら各地から、自恣的に計画され、それだけに現地における勢力の拡張、支配圏、支配住民の帰属、貢納等で征服者相互間の争いを生じるに至ったのである。ヤクーツク政庁が新設されたのはレナ川流域がトボリスクやエニセイスク政庁から独立し、モスクワに直結した行政庁としての組織と権限を持ち、統一した地方行政を行うことになったことを意味する。こうしてシベリアの行政区画はオビ、エニセイ、レナ三大河川別に、トボリスク、エニセイスク、ヤクーツクの三政庁の所管となった。

このようになすっきりした行政区画ができるまでには、幾多の曲折があったことは、もちろんである。

激しく抵抗する エニセイ川とレナ川に挟まれたブリヤート族 広大な地域には北部のサモエドのほかアンガラ川上流にはツングース系のエベッキ、バイカル湖の西方からアンガラ川にかけてブリヤート族が住んでおり、その他ツングース系、モンゴル系などの諸族が狩猟や遊牧にいそんでおり、外襲者に対して、その生活権を守るため抵抗を試みたことは当然であった。

コザックを先兵とするロシアの遠征隊が最初の抵抗にあったのはブリヤート族であった。

一六二七年エニセイスク政庁はコザックの少数部隊でまずレナ川流域を偵察した。コザックのワシリイ・ブルグに率いられた十人の偵察隊はアンガラ川をさかのぼり、その支流イリム川から、連水陸路を経てレナ川の支流クタ川にとりつき、レナ川の上流に出る水路を発見した。他の一組、すなわちコザックの首領マクシム・ベルフィリエフの率いる四十人隊はアンガラ川をさかのぼり、イリム川を隔たる九十キロ地点で、ブリヤート部のブライスキ族と激しく交戦した。数の上で絶対有利なブライスキ族は勇敢に戦い、コザック隊を破った。コザックは退却の途中ツングース部隊を襲って略奪したが、追撃にあって敗退した。

翌年ベケットウを隊長とする部隊が再びアンガラ川を上り、ブライスキ族やツングースの諸事情を偵察したが、アンガラ川は上流には岩石が多く、水量が豊富な激流で、通航が必ずしも容易でないこと。また、ブリヤート諸族の守りも固いことなどが判明したが、何よりも偵察隊を喜ばせたのは、ブリヤート部族民は服飾や家の飾装に、金、銀などを多く使用していることであつた。

ロシア人たちは、優良な金、銀鉱床があるに違いないと推定し「婦人は総て銀製の装飾品を持ち、兵器および馬鞍も純銀でかざられている」という情報をも



クワに報告された。皇帝はエニセイスク將軍ヤコフ・フリブノフにアングラ川上流、バイカル湖西、湖南の遠征を命令した。

一六二九年ヤコフは兵船二十隻を準備してエニセイスクからアングラ川を遡行してイリム川に達し、そこに部下の一部を残して、クタ川からレナ川に進んだ。ヤコフ自身はさらに陸路アングラ川を上流に向けて出発したが、オカ川河口付近でブリヤートの襲撃を受けた。このため引き返し、イリム川で越冬しようとしたが、戦傷がもとで病没し、部下たちは数人の捕虜をもたずしてエニセイスクに逃げ帰った。

金や銀の魅力に 第一、第二回と失敗を繰り返して、金や銀の魅力は絶対であった。プラトスキたち、金や銀の産地を口外しないのは、ロシア人を信用してないためであると思ふ。こんだエニセイスクの軍政官は、さきに捕えた捕虜たちを無事に送り届け、恩を売ることによって、「宝のありか」を聞きだそうと考へて、翌一六三〇年にはイワン・ガルキンを隊長とする三十人に捕虜たちを無事に故郷に送り届けさせた。彼らはその帰途イリム川からクタ川を越える地点にレンスキ、ウォロクという冬営地を設営した。これが後のイ



ア政庁が主としてオビ川から西のベルイム、チヌメニ、タラ、スルグート、マンガゼアなどの行政に当たり、トムスクにトボリスクの出先(二級政庁)があり、一応のトボリスクから独立し、エニセイスク、クラスノヤルスク、クズネツクなどの城砦都市の行政に当たっていた。したがってエニセイスクとマンガゼアの確執の根源はトボリスクとトムスク政庁にあったわけである。

モスクワはこれを改め、トボリスク政庁はオビ川、エニセイスク政庁はエニセイ川、そしてそれより東、レナ川流域からオホーツク海に至るまでを新設のヤクーツク政庁の管轄とし、初代軍政官にゴロウイン將軍が任命された。

モスクワの狙いはウラル山脈よりオホーツク海岸にまで伸びた、この可能性をいっばい滅している、気の遠くなるような広大な地域を、国家権力によって統括し、シベリアの経営はすべて国家の方針によって推進し、調整し、今まで無統制に、自恣的に行われてきた征服主義的に植民地化された領域を組織化し、シベリアの永続的な領有をはかるうとしたことにあると思われる。

また、ヤクーツク政庁については、レナ川以東オホーツク海まで、北は北極海からチュコト半島に至るまでの未踏、未探検地域の早急な探査を推進するとともに、南方、アムール川流域への進出を期待したのである。

幾度も挑戦する オホーツク海ルートおよび北極海への探検 海方面に対してはゴロウイン將軍が着任する前までに幾度も挑戦されていた。

まず一六三六年ゴザツクのエレサ・プザが五十人の隊員を連れてレナ川を下り、北極海に出て西行し、翌年オレネク川河口に到達した。翌三八年には四隻のコーチャ船(一本マストの帆船)を建造して北極

リムスク城砦である。

翌一六三一年にはマクシム・ペルフィリエフによってアングラ川のバドゥン早瀬に面してブラーツク城砦が築かれた。この城砦はこのあとオカ川河口に移されたが、世界一のブラーツク発電所建設のダム(ブラーツク海)の基底に没するため岩の部分だけが移駐され、現在ブラーツク市郊外の林のなかに保存されている。(写真)

この城砦はエニセイ川からレナ川の支流クタ川に通じる要衝にあり、この地方に住むブラツキーから毛皮税などを取り立てるにも便利な地点であった。さらにレナ川からザバイカルに対しても重要な前哨地にもなり得た。

略奪と暴行に虐 エニセイ川からレナ川にとりつけられた原住民 連水陸路はアングラ・イリム・クタだけでなくさらに北方においても発見された。

一六三一年、マンガゼアを基地とするゴザツクの遠征隊はトゥルハンズクからニジネツングースカヤ川を遡り、その上流において、レナ川の支流ウイリユイ川との連水陸路を発見した。彼らはこの地のオスチャーク族やツングース族との交戦によってそれを知り、レナ川の中流にソハ族(ヤクート族)が住んでいることを探知した。

ゴザツクの隊長ワリシイ・マルトウイノフはウイリユイ川からレナ川に出て、はじめてヤクート族に会い、貢ぎ物を賦課した。

一方エニセイスクでは翌三二年、百人長・ベトル・ベケトク、アングラ・イリム經由でレナ川に出て、下流に向かい、現在のヤクーツク市付近にまで進み、ヤクート族を征服し、貢ぎ物を課した。最初造られた城砦は現ヤクート市よりレナ川を約七十キロ下ったところであった。さらにその翌年にはレナ川の支流オレクマ川の河口に城砦を築き、オレクミンスクと名

海を東行してヤナ川を発見し、チエンドナ川に達している。

一方、イワノフ・ポストニクはインジギル川の河口に達し、さらにアラゼア川まで進んでいる。

また、マクシム・ペルフィリエフは隊員三十人で南方を指向し、レナ川の支流ウイチム川をさかのぼり、ソイバにまで達している。

このように北と東はさほど大きな抵抗もなかったが、南方面は、いぜんバイカル湖の周辺に、ブリヤート族が強い勢力を張っており、アムール川流域にはツングース系の各種族が狩猟や遊牧にあたりその背後にあるモンゴル、中国の勢力を無視できなかつた。

### アムールへの進出

バイカル湖から 一六四〇年ヤクーツク政庁軍政官アムールへ 官ゴロウインが着任すると、レナ川上流からザバイカルにかけての諸情勢を掌握するため五十人長ワシリーに探査を命じた。さらに翌年にも五十人長マルチンを派遣し、同年冬バイカル湖の北、レナ川の上流にベルホレンスク城砦を建設し、ブリヤート族たちが「神聖な海」と呼んでいたバイカル湖へ進出した。だが、ここではエニセイスク政庁の遠征隊と競合した。

ヤクーツク政庁の開設以来、東方への進出を禁じられたエニセイスク政庁の軍政官は方向を転じてアングラ川上流へ向かい、ブリヤート族の激しい抵抗を排除して南進していた。それより数年前、バイカル湖の北からザバイカルにかけて探査した。エニセイ・ゴザツクのペルフィリエフの報告が、エニセイスクの軍政官の脳裏にやきつけられていたからである。

征服者の血を沸かせた 「レナ川のはるか南方、ペルフィリエフ情報 高い山を越えたところにはアムールという大河が東へ向かって流れており、その

つけ、着々とレナ川流域の制圧に乗り出した。

こうした攻撃に対し原住民たちは可能なかぎりの抵抗を試みたが、兵器において圧倒的な差があり、戦術にたくみで、しかも勇敢なゴザツクのため大きな犠牲を強いられた。敗戦は略奪と貢納を意味し、婦女たちは連れ去られた。

しかしオカ川(アングラ川の支流)流域のブリヤート族は再三ブラーツキー城砦を攻め、一六三五年城砦の守備隊を殲滅した。驚いたエニセイスクでは翌年ラドコススキーが百人の遠征隊を率いてブラーツク城砦を攻めてやっと奪回し、進んでオカ川流域を制圧した。

エニセイ・グループとマン オクレミンスクもた

ガゼア・グループの対立 びたび原住地の来襲で危機に陥ったし、ヤクート城砦も何度かこれを落とそうとするヤクート族の動きがあった。特にアングラ・イリム經由のエニセイスク・グループと、北方ウイリユイ川經由のマンガゼア・グループの間ではヤクート地方への支配権、管轄権をめぐる激しい対立がおこった。ヤクート族たちはそれらの対立、紛争を利用して、失地の回復をはかろうとする動きもあったが、結局成功はしなかつた。

レナ川河畔の要衝にヤクーツク政庁が設置されたのは、シベリア植民政策の遂行が統一性を欠くことを恐れたためで、各地の軍政官はその征服的、植民地化の推進が必ずしも同じでなく、またその管轄についても画然たるところがなかつた。そのためエニセイスクとマンガゼアの軍政官が互いに功を争い、管轄権を競い、さらにトボリスクやトムスクのシベリア政庁の思惑なども手伝つていよいよ複雑化し、シベリア植民上大きな問題となつたため、さきに述べたとおり、モスクワは三大政庁の設置に踏み切つたのである。

シベリアの永続領土 これまではウラル以東の東を狙うモスクワ王朝 部地区はトボリスクのシベリ

地方は金、銀などを多く産し、毛皮獣もたくさん生息し、そこには土着の多くの異人種が生活している」という情報はエニセイスクやヤクーツク政庁の人々に早くから届いていた。一六三六年エニセイスクのゴザツク、ペルフィリエフが、レナ川の上流からウイチム川をさかのぼり、ザバイカルのダウル地方を探索した時の報告書にも次のように書かれ、それがシベリア征服者たちの血を沸かせていた。

「この地にはホトカ・カンとラフカ・カンがあり、両カン(族長)の住地の距離は三十四日行程である。ラフカ・カンの領地には銀鉱や銅鉱があり、原住人によって採掘されている。ラフカ・カンの銀山から六日行程でシルカ川に達する。この川は東へ向かって流れており、途中でいくつもの川を合わせ、太平洋に流れこんでいる。そのあたりに住むギリヤーク人は清国(中国)と交易している」。

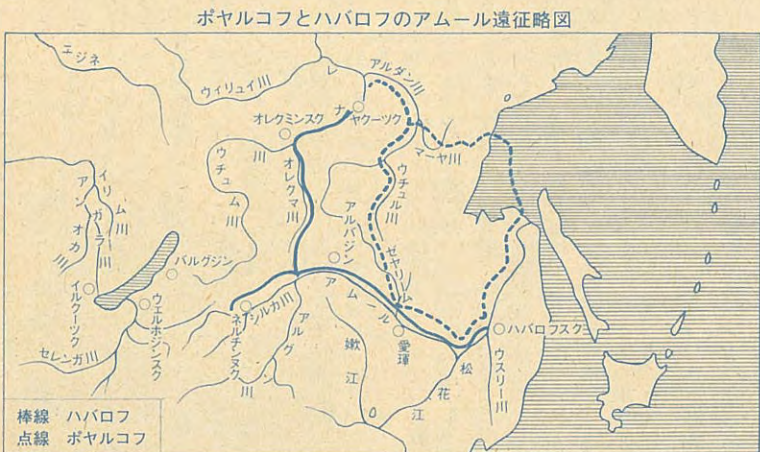
一六四三年、ヤクーツク軍政官ゴロウインがゴザツクの隊長ワシリー・ポヤルコフに命じてアムール川流域を探検させたのは、こうした報告や風説を確かめるためのものであった。

ポヤルコフの探検 ポヤルコフは隊員百三十人七千キロを踏破 (通訳二人と鉱山技術者一人を含む)に大砲二門、火薬、鉛その他の重装備でその年の六月ヤクーツクを出発、レナ川をさかのぼりアルダン川へ出、そこからウチュル川、ゴナム川に達した。ここで越冬し、翌年スタノイ山脈を越えてブリヤン川からセヤ川に出た。ここで最初の抵抗にあった。

この付近の住民はツングース系で当時はダウル人と総称され、アムール川の中流域一帯はダウルと呼ばれていた。人種的にはギリヤーク、アチン、ナドキス、オロチ族であった。

ポヤルコフはセヤ川を下ってアムール本流に出て、その冬はアムールとアルグン川との合流点付近で冬営

した。アムール流域ではギリヤークやアチン族と数回交戦したが大きな戦いはなく、また、原住民の一部はボヤルコフに協力的であった。翌四五年春、氷解を待つてアムール川を下り、オホーツク海に出た。ボヤルコフはここからウリイ川をさかのぼり、マールヤ川を経てレナ川本流に出て一六四六年秋ヤクーツクに無事帰り、探査の結果をゴロウインに報告した。彼は約三年間に七千を踏破し、数人の原住人(ギリヤーク人)をも伴って帰った。この報告が、ロシアのアムール政



策の基礎となったことは疑いをいれず「これらの地方の原住民はまだいかなる国にも属していない。ゆえにこれを占領するには精銳三百人と要衝三、四カ所に柵を構築すればよい。食糧その他生活必需品は原住人の貢納をもって充てれば足りる」との意見が付記されていたという。

そしてそれから数年後、このことはハバロフの遠征によって実行に移されるのである。

**皇帝に意見書を提** ボヤルコフのアムール報告に出したハバロフは、血をたぎらせた男——エロフェイ・ハバロフは、ソリウイチエゴドスクで農業と製塩を業としていたが、のち毛皮商となり産をなした。ハバロフはアムール遠征を企画し、アレクセイ皇帝に意見書を提出した。皇帝はハバロフの意見をいれて遠征を許可、エニセイ川の將軍に遠征隊の食糧、衣服類を調製するようにとの訓令を發した。こうしてハバロフはエニセイ川からヤクーツクに至り、現地でアムール遠征の義勇隊を募った。応募する者約七十人。ハバロフはこのコザック兵や毛皮商、狩猟者たちに十分な装備をさせて、一六四九年三月ヤクーツクを出発した。ハバロフはレナ川を北向し、オレクミンスクからオレクマ川にはいり、さらにトウギル川をさかのぼり、スタノボイ山脈を越えてウルカ川にとりつき、翌五〇年アムールに達した。ハバロフはアルグン川がアムール川に合流する付近ではじめて原住民のダウル人(達呼爾人)ソロン人(索倫人)と交戦した。さらにシルカ川でもはげしい抵抗にあったが、この冬までにソロン人が構築したヤクザ岩(雅克薩岩)を占取してその冬部下を残してハバロフはヤクーツクに帰った。ハバロフは原住民との戦闘で大きな戦果をあげたが数において多い原住民を服従させ、アムール川流域を手にいれるためにはなお多くの隊員を必要とすることを感じた。ヤクーツクに帰ると直ちに義勇兵を募集

し、ヤクーツク政府のコザックをも合わせて四百人で第二次遠征隊を編成した。

ヤクーツクの將軍は彼のために大砲二門、狙撃兵二十一人、それに火薬、鉛、食糧等を供給した。

一六五一年春ハバロフはヤクーツクを出発しヤクザ岩に到着、この地にアルバジン城を構築した。

**大砲等の火力で** ハバロフはアルバジンを根拠地原住民を撃破にアムール川を東進し、ゴクダル岩、オンゴズマ岩、ロントジン岩のダウル人、ソロン人の三つの岩を攻撃した。大砲の威力は決定的であった。ソロン人たちは、おそれて城内に立てこもったが、城壁は破砕され、岩は次々に陥落した。

この戦いでダウル、ソロン人は死者六十余人を出し、また、男二百人、女二百四十人、小児百八十人が捕えられた。

ハバロフはさらに下流に進み、ソロン族コロレイ・カンの居城タルキン城(多錦城)を攻めた。コロレイ・カンはハバロフに降伏し、毛皮税を貢納することを誓った。

タルキン城を焼いたハバロフはさらに下流に進み、スガリ(松花江)の合流点を経てウスリ川との合流点に進んだ。

この付近にはアチン族(阿槍)があつたがハバロフはここでも大砲、小銃等の火力を駆使してアチン城を攻略して奪取した。

アムール川とウスリ川との合流地、すなわち現在のハバロフスクを占拠したハバロフは分遣隊をアルバジン城に派遣し、食糧、弾薬の補給を命じ、アチン城には七十人が残った。それに乘じてアチン人約千人が城を囲み奪回戦を展開した。ハバロフは苦戦をしたが、火力に勝っていたため、やっともちこたえ、その後分遣隊が原住民から食糧を略奪、また火薬類をも捕給してアチン城に帰還した。

アムールの領有を狙いモ スクワから精銳を派遣 ロフのアムール進出の成果はヤクーツク政府を通じてモスクワに報告された。モスクワ政府はこれを機会にアムール地方をツァーリの領域にしようと、ジュビエフを精銳百五十人ともて特使として派遣した。

現地に到着したジュビエフは、ハバロフに略奪を禁止、コザックの兵士たちに農耕をさせようとしたが、精悍で戦闘的なコザックはそうしたジュビエフの命令を快しとせず、ハバロフ自身もモスクワに召還され、彼の後任としてオヌクリイ・ステパノフが采配をふるった。

シチェグロフ・年代記によると、モスクワに召還されたハバロフは裁判に付されたが、無罪と認められて小貴族に列せられ、レナ川の移民地におけるツァーリの領地の代官に任ぜられたというが、彼は再びシベリアに帰ろうとはしなかったという。

**バルグジン城の構築** 同じ頃エニセイ川政府でイルクーツク冬营地 もザバイカルにとりつくと、度々にわたって遠征隊が派遣された。

ヤクーツク政府の設置に伴い、レナ川流域への進出を禁じられたエニセイ川政府は、アングラ川をさかのぼり、バイカル湖方面への南下を余儀なくされた。一六四六年エニセイ・コザックの隊長ワシリー・コレスニコフはバイカル湖北西岸を迂回して南東進し、翌四七年にはイワン・ボハボフを長とする八十余人の遠征隊がバイカル湖の水を渡って南岸に進出し、モングールに入り、首都ウルガル(庫倫)でセツェン・カンに謁見した。

ボハボフがモングールまで行ったのは、その前交戦して捕えた捕虜はブリヤート族でなく、モングールのカンの家来ということがわかり、それを送り届けるためと称しているが、実際は、ブリヤート族たちが「われわれ

の北を迂回してバルグジン川へ達し、この地に城壁を構築した。

一六五二年エニセイ川政府の命をうけてビヨトル・ベケトフが、セレンガ川(モングール高原を西から東に流れ、バイカル湖の南に注ぐ大河)からアムール川の上流シルカ川へ通ずる連水陸路を発見するため探検隊を編成し、セレンガ川をさかのぼり、インゴダ川からシルカ川にとりつくことができた。ベケトフはイルゲン湖岸にイルゲン岩を築き、さらにシルカ川の右岸ネルチャ川がシルカ川に注ぐ付近に小岩を築いた。

一六五二年はまたイルクーツク冬营地が設けられた年でもあった。

コザックの長老、イワン・ボハボフはアングラ川をさかのぼり、バイカル湖の水がアングラ川に流れ込むところからすこし下流付近、すなわちイルクト川、ウシャコフカ川がアングラ川に注ぐところに冬营地をつくった。このへん一帯に遊牧しているブリヤート族を制圧し、毛皮税やウマ、ヒツジなどを貢ぎ物として徴収するためであった。これが今日、東シベリアの行政、経済、交通の中心地であるイルクーツク市の前身である。

さらに一六五四年にはベケトフがさきに築いたネルチャ川の左岸に城塞を構築し、ネルチンスク城と名づけられた。

この間ブリヤート族、ツングース族などが再三にわたって各地の城壁を襲い、攻防戦が続けられ、そのた

びに多くの人々の血が流された。それは今までの遠征に経験したことのない激しく執着した抵抗であった。しかし、こうしたロシアの勢力の南下は原住民だけの力では防ぐことができず、ブリヤート族やツングース族の首長たちは難を逃れてモングールからアルグン川を越えて満州方面に勢力を張ってきた清国を頼っていた。

こうしてザバイカルからアムール方面にかけては一時的にロシアの勢力下にはいってしたが、それもわずかの期間でしかなく、やがて清国に駆逐される日が訪れる。アルバジンの戦い、そして有名なネルチンスク条約の締結、それは中国とロシアが初めて矛を交えた戦いであり、最初の条約であった。

**人煙まれな沿** アムール川流域がボヤルコフやハムール地域、バロフの二、三百人というわずかの兵力で、しかも極めて短時間の日間に征服されたことは、コザックの勇猛、火力武器の相違にあつたことは勿論だが、より根本的なことは、アムール流域の原住民が極めて少数であつたこと、人口密度が希薄であつたことがあげられなければならない。「人煙まれ」という表現がぴったりする状態であつた。だからハバロフは、あたかも無人の野を行くようにアムール川を上、下流に航行できたのであり、たまたま、抵抗にあつてもその数は少ないし、原住民たちもあえて抵抗せず、むしろ森林や、牧野に逃げて難を避けた。

これに対し、アングラ川の流域、沿バイカル湖方面では原住民のブリヤート族やツングース族が遊牧や狩猟をしており、その数もアムール流域よりはるかに多かった。この方面で激しい攻防が続けられたのも、そのためであった。

沿アムール川一帯の人口が希薄であつたことは理由がないことではなかった。

このことは中国側(清朝)から眺めなければ理解で

きない。  
 満州八旗を編成 満州（現在の中国東北）の渾河女真族の興隆の上流蘇子河の流域の一酋長の家に生まれた女真族のヌルハチ（清の太祖）はエホ、ハダ、ウラ、ホイファなどの各族を滅ぼし、女真族の統一国家を建設し、一六一六年満州汗（国王）の位につき、のち後金と号したことは、すでに述べたとおりである。

太祖は満州を統一し、有名な満州八旗を創設した。元来満州族は狩猟や戦争など非常の際のため氏族、部落単位の組織を持っていたが、満州八旗はそれを再編成した軍事組織であり、同時に平時の行政組織であった。

男子三百人をもって「ニル」とし、「五ニル」すなわち千五百人で「ジャラン」を形成する。「五ジャラン」七千五百人が「グサ」すなわち旗である。正の旗は四旗で、その旗色を黄、白、紅、藍の四色とした。これに対し、縁をつけた旗を鎮（じょう）といい、鎮の四旗を合わせて八旗とした。

ヌルハチが没したあとその第八子ホンタイジ（太宗）が位をつぎ一六三二年北元を滅ぼして国号を清と改めた。さらに一六四四年順治帝は、首都を瀋陽（奉天）から北京に遷した。このとき皇帝とともに多くの満州人（女真族）が華北に移住した。清はその故地である満州に華北から多くの漢人を強制的に移住させていたが、それらの漢人も多くは華北に移動した。こうして満州はたちまち過疎化現象を起こし、折角造成された農耕地は荒廃するに至った。

満州は清の尊号 清朝発祥の地といわれる寧姑塔語源は文殊菩薩（吉林省寧安県）など、満州族の聖地でありながら一時は流刑地となったほどである。

寧姑は満州語で数字の六、塔は岡を意味する。すなわち清朝始祖の兄弟六人がこの岡に産したことからも

さらにソロン族（素倫）も貢を納れて帰順した。一方、ウーバハイ（呉巴海）の軍を東海部に派し、ゴルドの壮丁六百五十人、婦女子五百六十人をも抑え、さらに原地人多数が帰属し、それらはみな満州の戸口に編入された。

▽一六三六年（崇徳元年）モンゴル族のゴルチン部（科爾沁）がソロン族を攻撃してきた。太宗は満州に移住したソロン族を派遣して防いだ。  
 ▽一六四〇年（崇徳五年）太宗はアルダン川からゼヤ川流域一帯のまだ清に服従していないソロン族を攻めて、酋長ボームーコ（博木果）以下壮丁三千五百五十人と、部族民九百余人を帰順させた。

ボヤルコフがアルダン川からゼヤ川にとりついたので一六四四年のことである。それまでにアルダン川からウスリー川の合流地（ハバロフスク）に至るアムール流域の原住民の大半は、清朝の政策にもついでアムール川以南の満州の地に移され、壮丁の多くは満州八旗に編入されていたのである。

そうした過疎地へコザツクの遠征隊が入ってきたのである。原住民の組織的な抵抗にあわなかったのは、むしろ当然であった。ボヤルコフが「コザツクの精鋭三百人と、二、三の城砦を構築すれば制覇できる」とヤクーツク政庁に報告したのも、人口が希薄であることを知ったためである。もし、ボヤルコフ、ハバロフ等が、五、六年早くアムールに取りついていたなら、おそらく原住民の激しい抵抗で、彼らの南下は阻止されていたにちがいない。

十七世紀の東北アジア 沿バイカルからアムール川ア少数民族たち 流域にかけてのロシアの進出作戦の犠牲になった原住民はモンゴル系のブリヤート族とダウル族を除いてほとんどがツングース系の種族である。  
 ロシアや清国ではこれを他称で呼び、清国では字音

づけられた。

なお、今日、中国では満州の地を東北と呼んでいるが、清時代の満州は尊号であり、国号であり、のち地名となった。

明の中葉に長白山のふもとにあった建州街の酋長李満住が興京に移った。その子孫、太祖が近付の部族を統一し、満珠を尊号とした。満州の名称は文殊菩薩の文珠が転じて満住、満珠、満州になったといわれる。清の乾隆四十三年阿桂等奉勅選による満州源流考はそれを次のように伝えている。

「長白山の東、布庫哩山の下に池があり、布勒理哩といた。伝えられるところによると三人の天女が池に浴していた。そこへ神鵲が朱果をくわえて飛んできて季女の衣の上に置いた。季女が口中に含むと、忽ち腹に入り、妊つて一男を産んだ。長するに及び、天女がその旨を告げた。よって愛親覚羅（アイチンギョロ）の姓を賜う。これを名とし、布庫哩雍順という。（中略）我朝毎歲西藏に丹書を献す。みな曼珠師利大皇帝と称す。また、曼珠至利大教主ともいふ」

当時の曼珠師利（文珠）をのち「満洲に作る」ともある。

このように満州の地は清の故郷であり、清朝初期には華北から多くの漢人たちが強制移住させたのであるが、瀋陽より燕京（北京）への遷都によって、過疎地に変貌してしまったのである。

清朝政府の遷 これに驚いた清朝政府は一六五三年東招民開墾例 年遠東招民開墾例を出して、積極的に中国内地からの移民を奨励し、そのため特別な優遇措置をとった。

アムール川流域の原住民も例外ではなく、清朝政府は積極的にこれらの住民を満州内陸方面に移住させ、また戦間に耐えるものは満州八旗に編入したのである。その経緯は中国史によると次のとおりである。

に似た漢字をあてがっているが、今日まで彼らの自称で呼ばれるようになっていく。  
 第一回で述べたようにウラル語族はチュルク（トルコ）モンゴル、ツングースの三語群に大別され、その中のツングース語族がエニセイ川の右岸からザバイカル、アムール川流域で、狩猟、漁労、遊牧、牧畜一部農耕などをして生活していた。

ツングース語群中狭義のツングース族は普通エベシキ族といわれる。現在もエニセイ川の右岸中部シベリア高地にエベシキ民族管区があり、東シベリア各地に分布しており、現在の人口は約四万人を数えツングース語群の有力な種族である。  
 ツングースは自称でなく、隣接のヤクーツ族がこのように呼んだのが種族名となり、さらに広義のツングース系語群という学問的呼称になった。彼らはみずからをエベシキ (Evenki) と自称し、このうちの別派がオロチオン族である。

ソロン族はゼヤ川の流域からアムール本流にかけて、さらに上流アルダン川に至る流域で狩猟や漁労を行っていた。  
 また、アムール川の流域一帯は水草を追って遊牧するダウル族の勢力範囲であった。特にコザツクがアムールの中流一帯をダウル地方と呼んでいたようにこの方面の代表的種族であった。ダウル族 (Daur) はツングース諸族とする説があるが、彼らの伝承ではモンゴル族群団の一種族とされており（契丹系）ダウル語は古代モンゴル語を保存しているため、モンゴル系説の方が有力である。彼らが遊牧を主としているのもそれを示している。

スナガリーからアムール 一方ソロン族 (Solon) ル中・下流の種族たちはツングース語系に属し、前に述べたようにダウル族同様、清の太宗の政策により大部分が満州に移住していた。ソロン族、ダウル族

▽一六〇四年（明の万曆三十七年）清の太祖が書を明朝におくり、朝鮮に接壤するゴルド人（瓦爾喀）の部落を返還するように要求した。明の皇帝は朝鮮王をなだめて、ゴルド人千余戸を清に返還させた。太祖は兵をおこして東海部（沿海地方一帯）に進み、ゴルド人二千余戸を手中に収めた。

▽一六一二年（万曆四〇年）太祖はゴルド、オロチ二旗を征服した。このとき清は三千の精兵を派した。  
 ▽一六二九年（清の天聰三年）太宗は再び兵を發し、ゴルド人を征した。

▽一六三〇年（天聰四年）、太宗はモンアト（孟阿図）に命じ、ニングタ城（寧姑塔城・満州北部の地で、かつては朝の流刑地であった）から兵を發し、捕虜三千人、人参、獣皮など多数を押収した。

▽一六三四年（天聰八年）太宗の副都統ハチラン（額奇蘭）は二千五百人を率いて、アムール川流域のオロチオン族（額倫春）を攻めた。太宗はその時ハチランに次のように命じた。「汝、彼の地に至る道路甚だしく遠遠なり。唯倦まず、怠らざるを要す。彼の地の土人はその言語、慣習は概ね満州に似たり。彼らを携え来たらば必ずわが用をなすべし。汝ら彼らに告ぐるにわが言をもつてすべし。汝らとわれらは、もと、これ一國の人なり。わが太宗は汝らを収服せんと欲すること久しきといえども、またこの地に來たる暇あらず。汝ら書籍を知らざるをもつて、われらの同胞たることを知らざるに至れり」と

このような太宗の宣撫工作は功を奏してまずシヤンウイン族（夏姓武因）クスム族（庫曾木）の二酋長が降った。ハチランは彼らを宴を張って厚くもてなし、下賜品を与えた。

この二族の案内でさらに北上し、翌年（一六三五年）オロチオンを制し、その壮丁二千四百八十三人、その他男女七千三百二人とウマ八百五十六頭を獲得できた。

はとも騎射が巧みであり、いずれも満州八旗に編入された。当時彼らはアムール流域からザバイカルで牛馬を飼育し、一部は農耕を営み、小舎を建てて定住しているものもあった。

現在は満州の嫩江流域、訥河界の上流ネメル川の流域に住んで、そこを生活圏としている。ソロン族はダウルに一部同化したものもあり、狩猟、漁労に従事している。最近ダウル族は興安嶺のふもととの平原に移動し、遊牧を行っているものが次第にふえてきているという。

スナガリー（松花江）とウスリー川の流域一帯から、アムール川との合流地、さらにその下流はゴルド族 (Golds) が住んでいた。彼らは「ナナイ」と自称しているもので、こんにちナナイ族といわれており、ツングース語群に属する。ボヤルコフやハバロフが戦ったアチン族（阿槍）ナトキス族（那土吉）は、このナナイ族のことである。このナナイ族は狩猟や漁労を営んで生計をたてており、その漁労族はギリヤークと呼ばれる。

ギリヤーク族 (Gilyak) はこんにちニウフ (Nivkhi) と呼ばれており、サハリニウフと、その対岸のアムール川下流の大流ニウフに分かれており、いずれも「人」という意味である。間宮林蔵の東韃紀行や北蝦夷図説に登場するスメレングルは、この族に対するアイヌ人の他称である。

十七世紀、ナナイ、ギリヤークはともに清朝の政策により満州八旗に編入された。康熙帝は、この族を帰化させるため「その酋長をして宗女の女を娶らしむることを許すといえども、実は民間の女を購ひ、宗女となし彩輿をもつてこれを嫁せしむ」とあり、懐柔策を用いたことがわかる。

トナカイを飼う オロチオン族 (Orochon) レナオロチオン族 川の支流オレクマ川流域から満州

の奥嶺にかけて広く分布するツングース系の種族で、エベンスキ族の別派である。オロチオンは「トナカイを所有する」という意味といわれ、また一説によると、オロンは山頂、オロは領域を意味するといわれる。トナカイを飼育する使鹿部とウマを飼育する使馬部に分かれていた。

ウデヘ族 (Udehe) はウスリー川の支流イマン、ビキン、ホル川等の上流域から間宮海峡に注ぐ小河川の上流、すなわち現在の沿海地方に分布する狩猟、漁労種族である。トラングース系で、オロチ族と近縁関係にあたる。

このほかツングース系はキジ湖に注ぐ小河川やアムール下流の流域に分布するオロチ族 (Orochi) 沿海地方のデカストリ湾沿岸やそれに注ぐ小河川の流域のオロコ族 (Oroka)、アルグン川の流域に分布するネギダル族 (Negidal) Ⅱエルカンベイエ族、オホーツク海沿岸からシベリア北東部の内陸一帯にかけて広く分布するエベンス族 (Even) Ⅱ。エベンス族は旧称ラムートでラムー (海) を意味したが、こんにちには彼らの自称エベンの名で呼ばれるようになった。狩猟漁労の種族で彼らは好んで犬を飼っている。いずれもツングース語群の種族 (一部はプレオアジア、古アジア語群に属するとの説もあるが) とされている。

以上の各種族のうち、アムール川およびその流域地方に分布する種族は、いずれも清政府の満州入植政策により、満州の地に移住させられ、そのうちの優れた壮丁たちは満州八旗に編入された。清初におけるこれらツングース系の旗人は、大部分が愛琿の將軍に属していたが、「ソロン佐領四七、ダウル佐領三九、オロチオン九七、その兵一、九九八八」。また、ホロンバイルの副都統に属するもの「ソロンおよびダウル佐領二四、その数一、一七六一」などと清国の記録に残されている。

(注) ツングース語群は女真語 (死語) 満州語 (文語、口語) ナナイ、オルチャ、オロッコ、オロチ、ウデヘ、ソロン、エルカン、ベイエ、エベンスキ、エベンスなどの諸方言があり、伝統的な分類としてはウデヘ方言までを南方群、ソロン以下を北方群としている。

(世界大百科事典 Ⅱ 凡社)

清国、断乎として ハバロフが築いたアルバジン反撃に出る 城砦は、シルカ川とアルグン川が接する点 (これより下流をアムール川という) より約二百四十キロメートル下流のアルバジン川が流れ込むアムール川の左岸に位置していた。その名称はダウル族の族長アルバザ・カンの名を冠した地名に由来するといふ。

一方、一六五四年に構築されたネルチンスク城は、ネルチャ川 (シルカ川の支流) の左岸にあり、アルバジン城砦の後楯になった。それだけにネルチンスク城は堅固に建設され、アムール進出の基地となり、後ネルチンスク軍政官がおかれた。

これに対し、アムール川の中流に位置したアルバジン城砦は、清国やツングース諸族の巻き返しにあってたびたび攻略された。そして、約四十年間にわたって、両者の間でアムール川を挟んで流血の闘争が続いた。それはともかく、この二つの前線基地がロシアのアムール進出に重要な役割を果たしたことは間違いない。

ロシアは、アムール川にとりついたことにより、カムチャツカを除いてシベリア全土を一応その手中に収めたことになり、そのことはロシアにとって極めて誇らしいことであった。

十九世紀にロシア政府が発行した雑誌に次の文があることが、それを物語っている。「ロシア人のアムール占領により、シベリアの総称のもとに、モスクワ国

の組織の中に入ったアジア北部の地域は、ロシア国民の歴史的活動に新しい、偉大な舞台が発見され、物質的資源の新しい無尽蔵な源泉が出現した。文明の世界にまだ知られなかったアジア大陸の大きな部分が未知の暗黒の中から姿を現わした。この事件は西欧人によって十五世紀末から十六世紀の初頭に新天地が発見されたと同様の世界的意義を持つものである。わずかに七十年間に行われた、この地球上の最大の平野の一つをロシア人が占領したことは、もしわれわれの征服および植民運動がロシアの混乱時代およびその後の長い時代に体験した不利な条件の間に行われたことに注意を向けるならば、あるいはまた、もしモスクワのロシア人が東方における、おのれの大領土を編入し、維持するために費した僅少な資金に注意を向けるならば、これは極度に注目すべき現象である。西欧の文化的国民ですら、北アメリカの占領には、より多くの時日を費やさねばならなかった」(シチエグロフ、シベリア年代史・吉村柳里訳・ロシア文部省雑誌・一八八二年十月号)

このように謳歌されたアムール流域占領もわずかに半世紀をまたずして、清国の強力な攻撃のために屈服を余儀なくされた。

ロシアの進出に圧迫された原住民のモンゴル、ツングース系各部族はアムール川、アルグン川を渡って難を満州に避け、清国政府に保護を願い、清国もまた、ロシアの東進、南下に強い関心を示し、これが阻止のため断乎たる措置に出たからである。

## 地元エネルギーに取り組む市・町のアイデア

石油ショック以来道民のエネルギーに対する関心が高まっている。特に、北海道は家庭暖房がないと冬の生活が困難なだけにその対策強化が

望まれているが、単に既存エネルギーの節約だけでなく、これまであまり目を向けていなかったエネルギーをもっと積極的に活用、開発しようという動きも活発になってきている。太陽熱、風力、地熱、天然ガス、火力発電所の温排水などがその中に見られる。中には町ぐるみで取り組む大きな計画も生まれている。

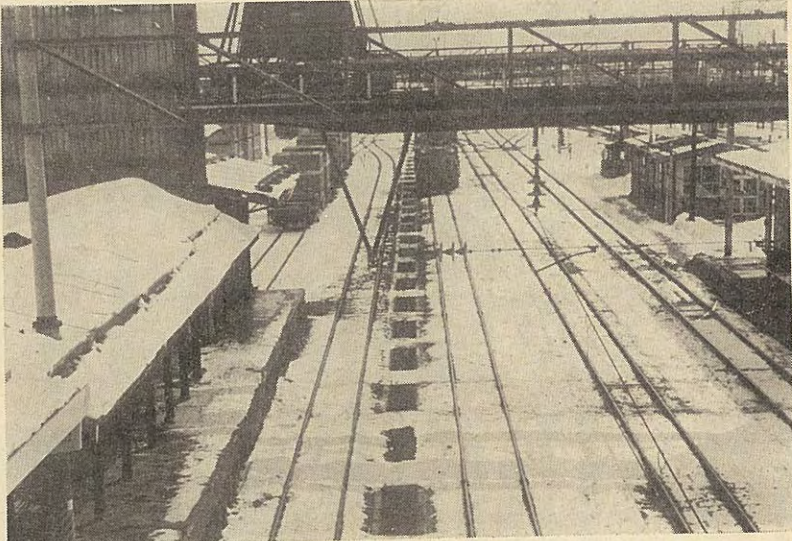
北海道は温泉地が多く、地熱が豊富なため、この利用プランが多いが、それらのうち弟子屈、また、天然ガス利用をもくろむ遠別、発電所温排水利用計画の滝川を選び、地元熱資源を町づくりに生かすアイデアをのぞいてみた。

弟子屈町は千島火山脈の一部に当たるため町内随所に湯脈があり、地熱資源も豊富。町がこれを集中管理し、地域暖房その他への積極的利用を考えたのは中東戦争を契機に石油価格が急騰し、家庭経済や産業を圧迫する一方、将来の供給量見通しも不安定になってきたのがきっかけ。また、地熱の恩恵を出来るだけ多くの町民に還元し、生活、福祉向上に役立てようというのも目的となっている。

うち、地域暖房と給湯はそのメイン事業。石油初め化石燃料の節約と価格高騰による経済的圧迫を回避出来る。公害の心配や火災・ガス中毒などの災害・事故がない。余剰熱を二次的に多目的に使える。事業主体が町で公的資金を導入出来るため町民の負担が軽くてすむなどの利点をあげているが、論より証拠と町は昨年役場庁舎の新築に合わせ、同庁

舎、福祉センターの集中暖房、給湯と周辺民家七十一戸の給湯を始め、役場裏手にある撰氏九八度の源泉を使い、百ポタンクを設け、テストケースとして事業に乗り出した。使用料は一般民家の場合、いくらか使っても月八千円となっている。計画だと地域暖房と給湯は弟子屈と川湯地区に分けて行う。まず、弟子屈地区は事業実施対象を鑑別・泉、中央、湯の島、鉄道、摩周の五ブロックとし、この間一般住宅二千六百五十、温泉旅館・ホテル十四、官公署十一初め事務所、店舗、医院、学校その他合わせ二千七百九施設、延べ十四万四千七百九平方メートル (建物総面積三十万五千三百六十六平方メートル) に暖房と給湯用温水を送る。このため、温泉井、ポンプ・機械類、集湯管、引湯管、貯湯槽、配湯管など一連の施設、設備が必要になるが、これに使う熱量は二千六十七万八千九百ポタンク/時。現在所有熱量は自然湧出、ボーリング源泉白四カ所合計九十六ポタンク、九百五万三千ポタンク/時なので、かなりの熱源開発が必要となっている。このため地熱の集中管理を掲げているわけだ。

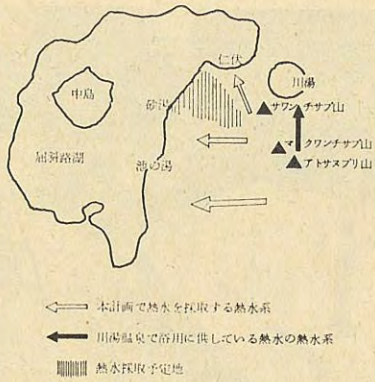
滝川駅の流雪溝に威力を発揮する除雪機



滝川駅の流雪溝に威力を発揮する除雪機

を町づくりに生かすアイデアをのぞいてみた。

事業は借入金で行うが、必要資金は十五年償還として十七億五千八百



二十一万円（金利六億三千三百五十七万円）。また、使用料は各家庭のほぼ全室を温め、湯を供給しながら一戸当たり年間七万二千円から十一万二千円、燃料費の値上がりなども見込んで通算すると十五年間に灯油暖房より百三十二万円から百八十八万円プラスになるとしている。

一方、川湯地区の供給事業は屈斜路湖畔砂湯―仁伏間アトサヌプリ火山群西側山すそから取水、パイプで川湯に一日一万二千リットの熱水を送って行く。川湯には随所に熱源があり、道東一の温泉郷になっているが、強酸性で暖房、給湯用に使えないためアトサヌプリ西に熱源を求めたもので、事業対象は一般住宅百五十一、温泉旅館・ホテル、小・中学校など七万三千九百二十平方メートルになっている。

施設費は五億七千四百万円で金利負担も入れると九億二千九百五十万円。使用料は一立方尺当たり五十六・五円、熱量に換算すると千キロワット・八九円といふ、これは重油、灯油使用の道内各地の地域暖房の熱単価の七・七円から九・四円に比べ四分の一ないし五分の一とされている。

さらに、地熱利用の暖房、給湯は余剰温水を多目的に二次活用出来るのが大きな利点。農業ではハウス栽培を普及させ地元温泉ホテルへ野菜を供給するのを初め、テラピア養魚で年間六千万円、豚舎暖房により養豚で四千四百万円から八千八百万円、鶏舎暖房によるブロイラー生産で九千万円から一億一千万円の増収をもくろんでいる。

町は将来年次的に事業を広げていきたい考えだが、課題は事業費の確保と熱源の集中管理。源泉の中には個人が開発し、現に利用しているものが多いだけに、これらをどう収用していくかが一つのヤマになっている。

**天然ガスで温泉を  
経営する遠別町**

遠別町のガス田は町南部歌越別背斜軸にある石油系の天然ガス。遠別

市街外れ旭地区の国道232号から分かれ、モオタコンベツ流域を東へ六きほど遡ったところに埋蔵されている。大正五年久原産業、昭和十九年帝国石油、昭和四十三年合同資源、昭和三十九―五十年道地下資源調査所がそれぞれ調査しているが、当時の記録やガス噴出状況から構造延長は二十二き、ガス田規模は約五百万平方尺、ガス層減深度は三百尺、埋蔵量は二十億立方尺と推定され、町内だけで使うとすれば百年間利用出来る量としている。調査しだいでさらに増加も考えられるとし、現在、昭和四十七年道地下資源調査所が掘った調査坑から一日千七百立方尺の天然ガスと撰氏二五度の温水を噴出させている。

そこですまず目をつけたのが町民の強い要望もあり、町営温泉の建設。昭和四十七年市町村振興補助金、過疎特別対策補助金、北海道貸付金や町費九千五百万円で「遠別町健康センター」を建て、その後さらに六千六百万円をかけ、宿泊研修施設「遠別町研修センター」を併設、日帰りにも、湯治、宿泊研修にも幅広く使えるようにした。自然に恵まれた宿泊施設として親しまれ、また、料金も大衆ベースとあって、平日で日

帰り、宿泊合わせ七十人、日曜、祝日には百人を超える利用者があり、年中無休の経営を続けている。

将来はスキー場、温水プール、釣り堀、遊園地など整備、留萌管内の保健、レクリエーションの場にしようとして張り切っている。

ところで、町内にはこれを積極的にかかす工場がなく、地域暖房に活用するにも町の規模からいそいと採算規模の利用計画をたてられないのが悩みになっている。しかし、農業面では周辺に温室園芸地帯をつくらせたいというプランが練られている。町はずでに天然ガスを利用して試験的に野菜促成栽培を行い、成果をあげているが、石油危機以来温室栽培は、いずれも燃料費の高騰に痛めつけられ、採算が悪化している時だけに、安い天然ガス利用はあらゆる面において有利な条件。これらを踏まえてガス噴出を万単位までもっていき、ビニール・ハウス栽培、山菜加工などを強化し、道北一帯への野菜供給地にする一方、道疎化防止の歯止めにもしようともくろんでいる。

**発電所温排水を  
除雪に利用する滝川市**

滝川では昭和三十六年、国鉄滝川

保線区が北電滝川火力発電所（二万五千キロワット）のタービン冷却後の温排水を使って滝川駅構内に流雪溝を設け、除雪に効果をあげている。貨車入れ替えが多く、構内に長時間雪搬出列車を入れ、作業することが困難なので計画したもの。発電所からの温排水を直径六百ミ、延長二千四百六十三尺の導水管で駅構内に導入、線路間に幅六十尺、深さ一・三尺、水深三十五尺の流雪溝四本、延べ五千七百三十七尺を設け、広幅除雪車で線路上や周辺の雪を同溝に掻き込み、解かしながら石狩川に流し出している。

温排水の温度は一八度。パイプ送水による温度低下は一き一度とされ、構内の排雪を解かすには十分。これにない、今度滝川市が市街地の除雪に大々的に流雪溝の整備を考えたのは機能的な都市づくりが目的。滝川火力が出す温排水はマシン毎秒十リットルとされているが、現在滝川保線区が利用しているのはうち〇・二五リットルだけ。マスタープランは

火力発電所温排水排水口から西一丁目、東一丁目沿いに東第一授業場道まで三千百八十尺の導水管を埋設、これらと国道12号交点、東第一授業場交点からそれぞれ市中心部に

向けて二系統、枝線も含め延べ一萬二千三百九十尺の流雪溝を設置し、駅周辺、商店街、官庁街などの除雪に利用する。総事業費は八億五百万円。

流雪溝は、大体幅六十尺、深さ一・三尺、流水水深三十五尺。設置の実延長は六千六百六十尺で、この間自動車交通がぐんと楽になるほか、一日延べ三万人の通行者と道路に面した店舗、事業所、官公署、金融機関、幼稚園・小・中学校、病院、住宅など約千五百戸（昼間人口一萬三千人、夜間人口四千七百人）が恩恵を受ける。車道はグレーダーで雪を流雪溝に掻き込んでいけばよく、家庭でも店や自宅前を除雪する際も、フタを外し、雪押しで溝に落とすだけでよい。

五月から検討を始め、計画、事業費、その確保法などを詰めるが、とりあえず、このほど北海道開発庁に対し五十四年度国道12号にテスト区間を設置するよう働きかけている。

**総合リサーチセンター  
法人 北方圏センター**

**冷やが最高!!**

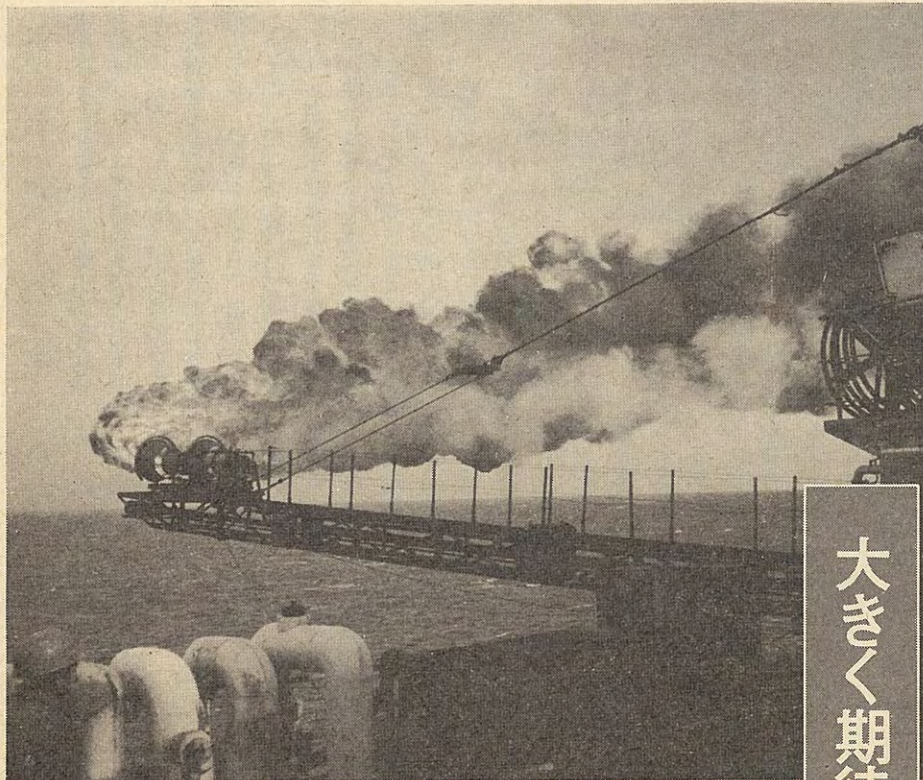


天然醸造  
**生I本 IPPON**  
北の誉酒造株式会社

《生一本北の誉》は酒蔵の生酒をそのままビン詰にした濃い清酒です。爛をせずにおもいきり冷たくしてお飲みください。天然醸造の風味とコクがいちばんよくわかります。

# 確実に一億トンの可採埋蔵量

## 大きく期待できるサハリン・石油・ガス



オドプト第1号井の試掘に成功、炎をあげて燃える焼却原油

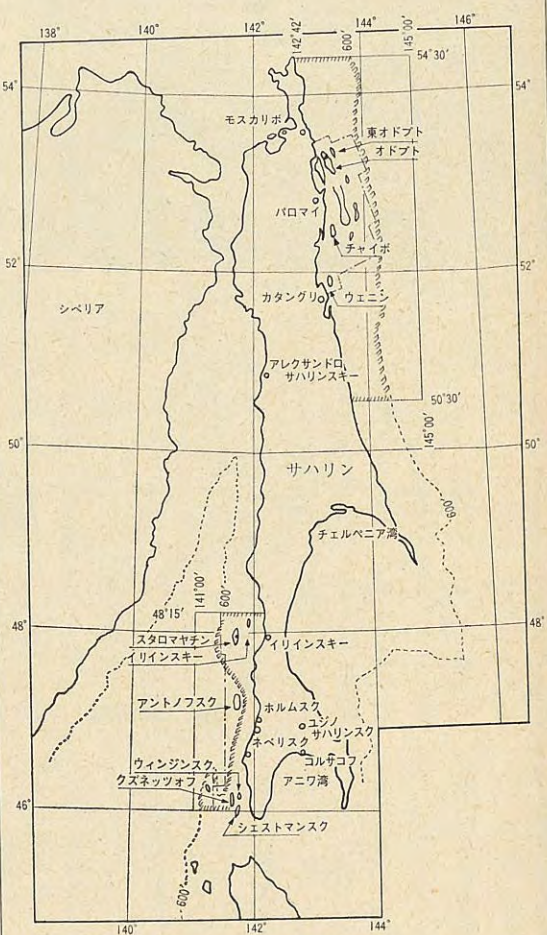
### 北東部で日産300キロットの自噴

日ソ共同開発プロジェクトの一、サハリン大陸棚石油・ガス探鉱の本年度事業が始まった。日本側事業主体のサハリン石油開発協力株式会社（社長・小林貞雄、資本金百十七億九千二百万円）は昨年、サハリン島北東部海域大陸棚のオドプト構造の試掘第一号井で原油自噴をみるなど幸先よいスタートを切っているだけに大変な意気込み。今年は一基の海洋掘削装置(RIG)を投入し、北東部、南西部両海域でいっきよ七坑の試掘を行い、油・ガス田発見に全力を傾けることにしている。さて、見通しは？、今年の調査開始に合わせ、今後の課題なども考えてみた。

#### 〔探鉱段階〕

日本側は昭和五十一年から五十五年の五年間、探鉱資金として一億が（成功払いクレジット方式で推進、開発に成功し、生産が始まった場合、その石油・天然ガスにより返済）を含む総額一億五千万が相当のクレジットをソ連に供与。ソ連側はこれに海洋掘削装置、物理探鉱調査船などの設備機械をリースするとともにコンピュータ・システム、探鉱用資

日ソ探鉱協定による大陸棚探鉱区域



□ 契約区域  
○ 試掘構造  
--- 物理探鉱実施区域  
--- 構造  
--- 等深線

機材を買い付け、日本側の技術応援を得て、北東部、南西部両海域大陸棚で物理探鉱調査、試掘などを行う。

#### 〔開発段階〕

前述の探鉱作業に成功し、発見油・ガス田の開発、生産段階に移る際、日本側は固定式プラットフォーム、採取生産設備、パイプライン等の開発、生産必要設備資金の五〇%相当額（数億に達する見込み）をバンク・ローンによるクレジットでソ連側に供与する。

この結果、日本は生産される石油

の五〇%相当量（天然ガスは採算性を考え、別途決定）をクレジット償還分も含め十五年から二十年間におたり輸入する。また、探鉱段階、開発生産段階の各作業は日ソ技術専門家がつくる共同委員会が探鉱、開発計画、資機材調達を決定し、作業実施は全部ソ連側が行うなどが骨子となっている。

この取り決めに従い、初年度の昭和五十一年度、ソ連船とフランスCG社からはリース船が二隻で測定線延長一万二千ギの物理探鉱調査を実施。その結果、ソ連側が独自の調査で持っていた石油、ガス賦存有望

の状況がより明確になり、さらに数カ所の有望構造の存在が確認された。また、日本の東海サルベージ社がリース船によって試掘実施のため海底土質調査も行われた。これに先立ち、日仏のトレーナーがソ連側技術者の事前訓練にあたった。

昭和五十二年北東部、南西部両海域大陸棚で試掘を行った。この間、南西部スタロマヤチン構造試掘のため四国から回送中の「インターオーシャンNo.1」RIGが出航直後、低気圧にぶつかり、曳航のワイヤが切れ、徳島の海岸に座礁、急ぎ、代替船として米国ロサンゼルス沖から

同オドプト構造の試掘は九月下旬計画深度二千五百呎を完掘し終了。各種生産テストの結果、深度千四百呎から二千二百呎の間の新第三紀層中の砂層に四枚の油層を確認し、うち千五百呎層からは日産約三百ギの原油自噴があった。普通、試掘井は百本ボーリングして三、四本当たれば大成功といわれる確率だけに、関係者は初井からの出油に大変な喜び方。さらに試掘結果と物理探鉱結果から、オドプト構造の集油範囲は三百平方ギもあり、アジア地域でも第一級の規模の油田になる可能性を秘めていることが期待されるようになった。また、原油もほとんど硫黄を含まない中軽質の優良なものとなっている。

一方、スタロマヤチン構造の試掘調査はオドプト構造から「ボルグステンドルフイン」RIGの回航を待ち、十一月から開始。気象条件も考慮し、予定深度三千呎のうち二千呎まで掘り、残り千呎を五十三年度継

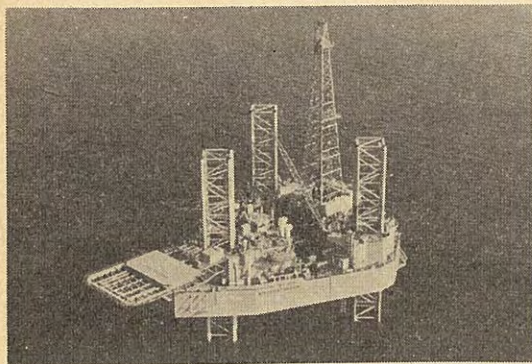
#### アジアで第一級の規模

「ボルグステンドルフイン」RIGを導入、計画を振り替え、北東部のオドプト構造から試掘開始のハブニングもあった。

続掘削にした。  
 サハリ石油開発協力会社の話によると、試掘成功は一坑だけで、まだ、はっきりした段階ではないが、オドプト構造が推定どおりだとすれば一億トンの可採埋蔵量発見の可能性もあると見当をつけ、今後の探鉱作業に期待をかけている。以上がこれまでの経過となっている。

ことしは西南部に挑む

本年度の調査はこうした有利な条件を踏まえて行われる。計画では海底土質調査、物理探鉱調査のほか、特に掘削作業に重点をおき、南西部スタロマヤチン構造の継続井、シエ



試掘調査の先兵「ボルガステンドルフィン」号

ストマンスク、クズネツォフ両構造に深度三千呎の試掘井各一坑、北東部オドプト構造では含油、含ガス状況の広がり、油・ガス層の厚さを確認する深度二千三百呎の評価井三坑、さらにオドプト構造南方ウェーニン構造で二千七百呎の試掘井一坑、合計七坑の掘削を予定している。これら作業に必要な事業費は百四億円（うち民間資金三十五億円）。サハリ石油開発協力会社ではこの資金調達に努める一方、四月上旬函館に停泊していた「ボルガステンドルフィン」と室蘭にあった「第四白竜」（日本海洋掘削機）のRIG二基を相次いで出港させ、現地に向かない南西部で三坑の試掘作業を行い、六月下旬か七月初め北東部の海明けを待つて回航し、四坑の掘削に当たらせる。

早ければ五十九年から生産

サハリ石油開発協力会社が有望鉱区として目を向けた大陸棚の試掘調査は二年目で早くも軌道に乗りそう。同社は石油開発事業は水物、やってみなければわからないと表向き慎重だが、昨年初井で出油の大成功をみているだけに内心は強気で、と

もかく本年と明年で本格的油田開発への見通しをつけたいとしている。今後については、明年度でオドプト構造の鉱量を確認し、フィジビリティ・スタディに入り、昭和五十五年からは開発生産設備の設計などの準備を開始、早ければ昭和五十九年から生産に移れるのではないかともくろんでいる。また、南西部では現在の構造に試掘を実施し、油・ガスの賦存確認を急ぐ考えだ。

しかし、生産に向けては早急に解決に取り組まなければならない課題も数多い。北東部で試掘が次々と成功し、開発段階になると流永をどのように克服して採油プラットホームを建設するか、パイプライン敷設をどうするかの問題にぶつかると。パイプラインは、北東部は半年間流水に閉ざされ、船による原油搬出が不可能なため採油プラットホームから冬季間凍らず、船輸送が可能なサハリ南部の港をつなぐ形で考えられるもの。これらが解決されて初めてサハリ大陸棚の石油エネルギーが日の目をみることになるかとされている。

期待される西南部のガス

ところで、北海道が関心を向け、パイプラインによる導入を考えてい

る天然ガスについては、南西部の試掘結果が大きな意味を持ちそうだ。これまでのソ連側の調査、見解では南西部にはガスの可能性があるとされており、一方、北東部でも一定量の天然ガスの埋蔵が確認されれば、従来北海道が独自で推進してきたオハの陸上部のガス導入も大陸棚からのガスと合体して導入プロジェクトに拍車をかけることになってくる。北海道の場合、天然ガス導入の企業化をはかるのに必要な鉱量は年間二十億立方呎を二十年間供給し得る量が一つのメドとされている。とすれば現在石油開発が中心になっている北東部で石油生産に伴い、かなりの天然ガス生産が期待出来るし、プラス・アルファの南西部試掘結果の意義は大きい。

また、北海道としては天然ガス導入はもちろん、石油についても立地条件的に石油備蓄基地としての構想を具体的に進めること、加えて石油化学など製造業立地も考えていく必要があるとされている。



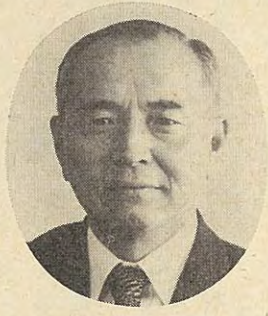
このリンゴはうまいか

私たちの  
 創ったリンゴを  
 食べてみてください。  
 味と香りが  
 あるはずです。

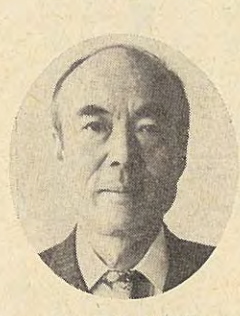
# 自治体と人脈



珍田 卓幸収入役



国兼 孝治市長



星野 安彦助役

## 商工業を中軸に大きく



されており、合わせて百三十五万二千三百平方メートルの土地が準備されている。

オイル・ショック後の急速な経済の冷え込みで、企業の進出は予想より遅れがちで、これまでに立地した企業は四十五社、用地の分譲面積も全体の五・三%足らずと計画はかなり狂ってきているが、全体の企業が進出してくればマチの様相も大きく変わりそうだ。

マチの商、工業化に伴い一時停滞気味だった人口も次第に増加傾向を示し、七万八千四百七十八人（五十二年二月末）と五年前に比べ約四千五百人の増で、近隣市町村からの人口集中が目立ちはじめている。

先ごろ大綱が示された道の長期発展計画の中では、苫小牧東部工業基地と石狩湾新港につながる物資の流通基地として位置づけられているが、市の未来像もこうした計画を踏まえて「緑豊かな産業文化都市建設」を目指している。

### 四つの市政の柱を推進

市政の柱は、①健康で安全な暮らし②幸せで快適な暮らし③豊かで便利な暮らし④創造的で便利な暮らしの四つで組み立てられているが、以

下この柱にもとづく具体的なマチづくりの様子を追ってみよう。

市民の健康と安全のために一番密接な関係があるのは市立病院だが、市では新年度から老朽化した同病院の改築に取り組むことになった。同病院は二十九年、他市町村に先がけて建設され、何度かの増築は行われたものの患者の増加とともに狭くなった。また国道12号のバイパスが、病院のすぐ前を通過するようになったことなどで改築をせまられたわけだが、市内をはじめ近隣市町村からの患者も多く、経営的にも数少ない黒字経営をつづけてきた実績は高く評価されている。

これとともに夜間救急医療体制の整備も、市にとっては急務。現在、岩見沢医師会と市の間で話し合いがつづけられているが、遠からずまともなマチに緑をいっぱいには、市政の中でも重要なポイントとなっているが、マチの街路樹にはプラタナスやアカシア、イチョウなどの木が多いほか、マチのすぐそばには原始林のまま人手を加えず大切に保護している利根別自然休養林がある。三百六十五畝の原始林の中には、数多い野鳥が群れ、キツネ、ウサギなどの

# 脱地盤沈下・南空知広域生活圏の中核都市へ



## 変貌する岩見沢市

### 企業団地づくりを推進

道央空知の中核都市、岩見沢市は、かつては炭鉱と農村地帯を背後に、交通の要衝として発展してきた。しかしエネルギー革命後の産炭地の地盤沈下に伴い、新たに軽工業を中心とした工業団地づくりを目指しており、商、工業を中軸としてマチの様相も大きく変容を遂げようとしている。南空知広域生活圏の中では、札幌市に近い余暇活動の中心地として位置づけられており、レクリエーションのセンターとしても今後の発展が期待されている。

岩見沢市の歴史は古い。明治十五年十一月、手宮・幌内間を結ぶ道内初の鉄道―幌内鉄道の開設により岩見沢駅が開かれ、それから二年あとの明治十七年、岩見沢村の設置が告示されてマチのはじまりとなった。五年後の昭和五十八年には、開基百年を迎えるが、この間の歴史は、石炭とコメ、そして行政の中心地として位置づけられてきた。明治三十年に開かれた空知支庁は、道行政の出先機関として大きな役割を果たし、裁判所、検察庁をはじめ各種の行政機関も置かれている。

しかし昭和の四十年代に入ってエネルギー革命のアランが全世界に吹き荒れ、エネルギーの主体が石炭から石油に変わって以来、マチの様子も大きく変わりつつある。三笠、美唄の後背地で炭鉱が相次いで閉山、人口流出による消費購買力の低下が顕著になるにつれ、閉山対策のための工業団地づくりが進められ、炭鉱に代わって工業をマチの柱とする施策が進められている。

### 150万㎡の土地を準備

現在市内には、上幌向、岡山、鉄工、南空知の四つの企業団地が計画



野生動物も多いが、市ではさらにこの休養林に隣接して三百畝の用地を買収、合わせて約六百五十畝の大公園の建設を計画している。

### いわみざわ公園に着手

「グリーンパーク、いわみざわ公園」と名付けられたこの公園づくりは、五十二年度から用地買収に着手、十年後に完成の予定で遊戯施設区、ピクニック施設区、フォールレスサーキット区域、市民農園、運動広場のほか、冬期間はスキー、スケート場などの施設づくりが計画されている。

「豊かで便利な暮らし」の中の最大の事業は、商店街の近代化。

### 中心部の高層化構想

マチの中心部の二条から四条、西二丁目から三丁目までほぼ四丁区画の全域を高層化、大資本のキーテナントを柱に近代的な商店街に生まれ変わらせようという大計画。

四十八年に広域商業診断を受けて以来、四十九年に近代化事務所を現地に設けて地元商店への説明会をつづけ、再開準備組合を設立して準備に当たっている。しかし今のところ地元の意欲が今一つ盛りあがらず

計画は足踏み状態をつづけているが市としてはどうしても実現にこぎつきたい考えだ。これまで三回にわたる市の青写真が示されており、今春中には計画にゴーサインが出るのではないかとみられるが、総額五十億円にのぼるといふ大事業だけに、市民も計画の進行を注目している。商店街の近代化、企業団地づくりと併せて、もう一つの産業基盤づくりは農業の生産基盤づくり。

### 有数なタマネギ産地

これまで第二次農業構造改善事業の実施に伴い圃場の整備など合わせて約百八十一億円にのぼる事業が実施された。米の生産調整によるタマネギへの転作にも力が入れられており、五十二年には千五十畝の作付けで、四万五千畝のタマネギを生産した。特に岩見沢で生産されるタマネギは品質がよく全国的にも知られるようになっており、北見、札幌に次いで道内でも有数のタマネギ産地となっている。

快適な都会生活のために欠くことの出来ない都市環境の整備にも力が入れられており、これまで春、秋にはらんをつづけ市民生活をおびやかしていた利根別川本流や支流、ま

た国の直轄事業による幾春別の河川改修も次第に整備されてきている。

また道路、下水道の整備も着々と進んでおり、五十三年度は延長十五キロを舗装する計画。特に冬季間の除雪は、市道の八〇％以上を除雪路線に指定する道内一の高除雪率。豪雪による市民生活の障害をはねのけようという国兼市長の意欲的な姿勢が感じられる。

### 住宅団地づくりも進む

人口増に伴う住宅の整備も市にとって急務で、現在岩見沢市と三笠市の中間地帯の東町地区に新東町団地の建設が進んでいる。この団地は、最終的には八百戸の住宅ができる予定で、五十一年から市営住宅、五十二年からは道営住宅、五十三年度には雇用促進事業団の住宅百二十戸が建設されることになっており、日の出町など周辺の住宅地とともに市の新しいベッドタウンとなりそう。

文化面でも次第に充実の度を増している。市内には道教育大岩見沢分校と駒沢大学北海道教養部、同道短大の二つの大学、さらに道立岩見沢東、南、岩見沢農業高校と市立緑陵高校、駒大付属高校の五つの高校がある。これまで教育大岩見沢分校

は、札幌分校との統合問題が決着がつかず、学園内の整備にも手がつかなかったが、今年になって二つの分校は現状のままとし、岩見沢分校は小学校コースを中心に施設の整備を進めることでようやく決着がついた。市議会でもこれまで分校の存続を関係方面に陳情、ようやくその成果が実ったわけで、今後の施設の整備、拡充が期待される。

### 道内唯一の室内公認プール

社会教育のため各種施設は、同規模の都市に比べてもかなり進んでいるが、なかでもスポーツセンター、陸上競技場、温水プールは自慢できる施設。特に温水プールは、五十層のコースが十コースとれる道内では唯一の室内公認プール。補修のために休館する三月の一カ月間を除いて一年中営業しているが、今のところ利用者が少なく経営的に赤字つづきなのが悩みのタネ。しかしスイミングスクールも数多く開かれ、小、中学生のスイミングクラブもいくつか誕生しているだけに、将来は道内水泳界を背負って立つ名選手の誕生も期待される。

文化施設の中で今一つ不足気味なのはオーケストラなどを演奏できる

会場。現在の市民会館は三十八年に建てられ大ホールには八百四十三人を収容でき、当時の施設としては立派なものだった。しかしその後のマチの人口増と建築技術の進歩の中では時代遅れになりつつある。財政難の時代だけに改築もままにはならないが、改築を望む声が関係団体の間でチラホラ出はじめている。

### 若い頭脳の開発に意欲

以上、マチづくりの現状をざっと見てきたが、何しろ農村都市として古い伝統を持つマチだけに、総じて保守的なムードが強いのがこの市の特徴。商店街にも、市政担当の幹部たちも高齢者が多く、ともすれば若い世代とのぶつかり合いが目だ

ち、若い頭脳をマチの外へ追いやる結果ともなっている。

国兼市長は、市政の中にも強いこらしたムードを一掃しようと、市役所の係長職を対象としたプロジェクトチームを発足させ、若手職員の頭脳吸収をねらっている。このほど作られたのは、①森のマチづくり②利根別川を清流にするためのプランづくり③廃棄物を資源化して再利用する④高齢者の生きがい対策づくりの四つで、各テーマごとに十人が取り組みチエをしほっている。具体的な研究の成果が生まれるのは、まだまだ後になりそうだが、マシネリ化しがちな市政の中に清新な風を吹きこむための職員対策としても成果が期待されるどころだ。

## 市民党・堅実な国兼市政

おだやかな話し方と笑顔、スマイルな体にダンディな背広の着こなしがよく似合う国兼孝治市長は現在二期目。十月の改選をめざして二月はじめには三選出馬を表明するなど市政担当に意欲を燃やしている。昭和十七年の採用で途中従軍するプランクはあったもののゆりに三十年をこえる市職員のキャリア。税務、財政

畑が長く、四十五年、七年間の総務部長のあと川村前市長の後をひきついで市長選に立ち、接戦の末、革新候補にうちかち保守市政の座を守った。数字にはめっぽう強く頭の回転も早い。派手な動きもなく政治力もそれほど目立った動きはないが、何よりもほくとつな人柄と堅実さで道市長会でも信頼されている。本人は

「市民党」を称し、特に党派色は出さないが、どちらかといえば地元出身代議士である小平忠氏と親交があつく小平系保守党の色彩が強い。市議会でも「小平党」と評される公正クラブが与党で、ときおり自民党系議員の反発もあびている。

### 十月三選への意欲十分

二月の出馬声明のさいには、応援にかけつけた堂垣内知事に、三選出馬を要請するなど芸の細かいところも見せた。そのかいあってか、自民党も先月の支部大会で国兼支持を打ち出している。十月の改選時には、地区労推薦の革新候補との選挙戦となりそうだが、今のところまず安泰といえそう。

酒も人並みにつき合い、ノレンで杯を傾けるといふよりも、小ぎれいな料理屋か、若者向きのスナックが好き。酔えば歌も出るし軽くステッチも踏むムード派。野球でもピッチャー、四番打者のスポーツマンでもある。

### 商店街の生き字引・星野助役

補佐役の助役、星野安彦氏は、市長よりも二つ若い、頭のはげ具合はむしろ先輩格。慎重な性格で、苦

労性のせいかな年よりもふけて見える。この人も戦時中の十八年の採用で選管局長、議会議務局長、産業部長、経済部長などを歴任、四十九年に二期目の国兼市長に乞われて助役となった。長いキャリアからマチの商店街についても生き字引同様にわしく、市長の女房役として力量を買われている。ソリリとはげあがつたひたい、ギョロリと光る大きな目と大きな鼻と口のいかつい風ぼうりに似合わず、細かい神経の持ち主で、職員の間倒見もよい。慎重派で、個人プレーも少ないが、逆にこうした面が決断力に欠けるとも受けとられがち。出来れば市長に対しても今一つ強い発言力を——と期待する声も内部にはある。

### お経ポケットに珍田収入役

市財政の金庫をあずかる収入役の珍田卓幸氏(五)は、市役所入り昭和十四年という最古参。給仕からたたきあげた苦勞人で市役所の中のことなら何でも通じている。信仰深く、いつもお経の本をポケットに忍ばせ、ちょっとしたスピーチの中でも信仰の話を用いるという一風変わった人だ。前々市長の山本市英氏時代に秘書室長を長くつとめたが、

逆にこれが災いして次の川村市長時代に一時冷や飯を食った。そのあと、保健課長、水道課長、病院管理部長、教育次長、福祉部長、財政部長、消防長と多彩な分野を歩いてきた。この人も四十九年、国兼市政二期目で特別職になった人。如才ない人柄で、慎重派で金庫を預かる人としては適任で、これに親分肌のところがあればいいことなし。

**豊かな人間をと成田教育長**

堂々とした体格の偉丈夫、成田虎男教育長は現在六十二歳の最長老。教育経験が長く教育関係者には絶対の信頼が置かれている。「生涯教育の観点で、郷土色豊かな教育」「豊かな人間性づくり」がこの人のモットー。仕事もまじめで頭の回転も早く年齢を感じさせない。職員の人望もあついが、あまりもソツがなさすぎ個性に欠ける—という声も。特に文化都市を標ぼうするだけに、文化施設の充実などでもっと強力に市長にアピールしてもいいのでは—と



成田虎男教育長



谷内三郎総務部長



佐々木一夫水道部長



猪股正治市民部長



谷村寿昭農務部長



藤本良雄商工労働部長



越前 馨建設部長



工藤 市太郎福祉事務所長

う向きもある。

昨年四月、建設部長から四十八歳の若さで総務部長に抜てきされた谷内三郎氏は、現職部長の中では一番若い。空知農業高校（現在の岩見沢農高）卒の土木技師で、これまで土木畑を二十年つとめた。頭のキレもよく行動力もあり、前市長時代には、豪雪に悩む冬季間の除雪問題にとり組み、市道の八〇%以上を常時除雪する全道一の除雪体制をつくりあげた。感情を表に出さずじつと耐えるというシンの強さもあり、畑ちがいの仕事にも泣き言を言わずガンバっている。囲碁を少しと最近ゴルフをはじめた。市長の信望があつく将来の助役候補と見る向きもある。財政部長の安井裕氏（五）は、かつて少年時代は野球で名選手とさわがれた腕の持ち主で、今でも市内の野球大会ではよく活躍している。勤敏、実直型が多い役所幹部の中では珍しく太っ腹のところがあり、若い職員の信望があついで。外見に似合わ

ず細かい神経も持ち合わせており将来が楽しみ。

**慎重派の猪股市民部長**

福祉問題で忙しい市民部長の猪股正治氏（五）は、石橋をたたいて渡るといった慎重派で、夜間救急医療問題では苦勞をつづけている。人事、保健、市教委、病院などと歩き四十九年から市民部長。地道な性格で努力家でもあり、まちがっても冒険をしないが、逆にこうした面に物足りなさを覚える職員もある。夜間救急医療の問題も、この人に政治力と決断力があれば今一歩前進するのだが—とはがゆがる声も。酒席は大の苦手であるのは仕方がないとしても、部下を統率する幅の広さとふところの深さが出てくれば持ち味をもっと生かせるのだが。

**エリート谷村農務部長**

農務部長の谷村寿昭氏（五）も四十年前に四十代で部長に抜てきされたエリート。



安井祐財政部長



池島清治議会議務局長



小林勝男市立病院事務部長



吉村登振興公社専務



佐藤純一教育次長



杉浦公亮消防長

建設部長の越馨氏（五）は、ガンコ屋的な外見通りの一言居士的な面をもっている。理論に強く、都市建設問題ではよく勉強している。現庁舎の設計、高速自動車道の線引きやインタチェンジ付近の開発計画、グリーンパーク構想のデッサンなど仕事も数多くこなしている。下水道や土木問題などに比較的精通してない面もあるが、新しい岩見沢のまちづくりこれからも新しいアイデアが生まれそうに楽しみ。

ツヤツヤとして血色のいいのは社会福祉事務所の長工藤市太郎氏（五）。謹厳、実直、努力家といった評は、この人を知る人なら誰でも口にする共通語。出納係長、財政課主計係長、税務課徴収係長、議会事務局長、民生部長、商工部長などを経ているが、幹部のポストについても勉強を忘れず克明なメモをとりつけている。応用面に弱いという欠点があるが、信念も強く簡単には妥協しないというガンコさも兼ね備えている。庭いじりと野山の散策が趣味。

水道部長の佐々木一夫氏（五）は四月の異動で部長職に昇格。空知農高（現岩見沢農高）の獣医畜産科を卒業、昭和十九年市役所へ入りした古参。卸売場長、保健衛生課長、図書館長と課長職を十三年つとめた。部長昇格は順当な人事。性格は地味だが、やる気は十分。

議会事務局長の池島清治氏（五）も、いかつい風ぼう通りの人柄。努力家で地味な性格、行動力もあり、福祉部門では長いキャリアで培った知識が豊富。庁内では数少ない愛飲家の一人で、ノレンで若い職員とくみ交わすのが趣味。議会には四十七年からつとめたが、複雑な会派間の調整で細かい神経を使っている。本来は朗らかで豪胆な性格なのだが、議会のポストではこの人の持ち味もなかなか出にくいよう。

**ベテラン小林病院事務部長**

市立病院事務部長の小林勝男氏（五）は、十年間同じポストにいる大ベテラン。選管、財政係長、市教

委などを経験したが、若松病院長に見込まれて病院入りして以来、なかなか離れられなくなった。赤字経営だった病院の経営再建に努力し、わずかの期間で黒字経営にこぎつけたのもこの人の手腕。地味な性格だが、努力家で行動力もあり、若松院長の信頼は抜群だ。

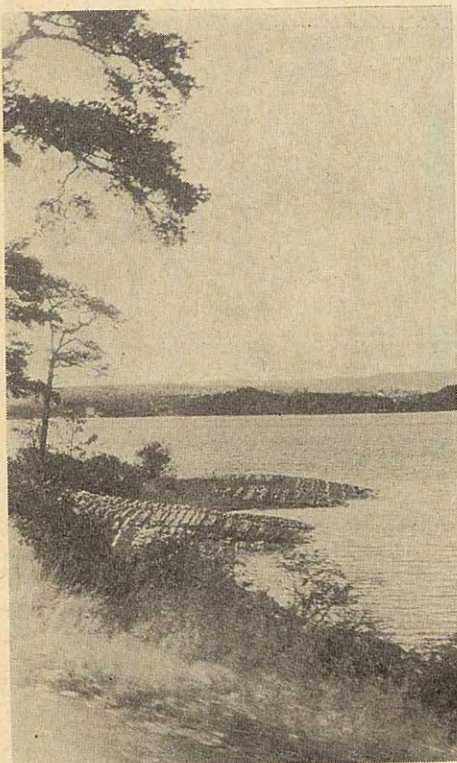
教育次長の佐藤純一氏（五）は、ざっくばらんで快活な人柄。元市役所野球部のOBで、ゴルフの腕前は市内一。ゴルフクラブの会長もつとめた。美唄工業出身の技術屋さんだが、畑ちがいの事務畑を歩いてきた。振興公社専務理事の吉村登氏（五）は、工業団地や市内の公園など用地買収で難しい仕事を着実にこなしている。好人物で人づき合いもよい人柄で、マチの人とのパイプも多い。消防長の杉浦公亮氏（五）は、部長職でただ一人の大学卒。日大から道工業試験所に勤めたあと二十六年市役所入りしたが、今年定年を迎える。酒をこよなく愛し、若い時には酒の上での武勇伝も多かった。



**山崎建設工業株式会社**

取締役社長 山崎 初三郎

〒064 札幌市中央区南5条西20丁目 電話(代表)011-562-1111  
出張所 室蘭・千歳・砂川・苫小牧・登別・東京事務所



フィンランドの自然を彩る森と湖

アメリカ合衆国の一つの州であるが、他州と異なり、代表的な北方圏地域の一つである。州土は日本の四倍くらいの面積であるが、五千万畝に及ぶ農用地資源があるといわれる。もちろん自然草地が大部分であるが、一般作物の栽培可能な面積も北海道全体の面積に匹敵するくらいに広大なものである。気温が低いとか、降水量が少ないとはいえず、夏季の日照時間が長いので日長性の作物、たとえば大麦などの栽培に適しているのである。十坪当たり収量は北海道のそれよりもかなり高く、かつ飼料用大麦としてはタンパク質

### アラスカ州の農業

多い。

含量の高いのが特徴といわれている。学問の領域でも、産業の分野でも北海道と交流したい州の一つである。

### B・C大学の環境

バンクーバーにあるブリティッシュ・コロンビア大学を訪問したとき、玄関前のハイマツの美しい緑と街の公園にある大きなトールテムポールはひときわカナダの北方圏の一面と調和したカナダ民芸の一端をしのばせてくれた。

### 広大なシベリア草原

東京からモスクワまたはそれ以遠のヨーロッパ諸国に行くときは、シベリア大陸の上を飛ぶのがもつとも

この国の首都ヘルシンキ市で国際草地会議があつて、出席したが、まず空港についての第一印象は周辺が全くの針葉樹でおおわれた森の中の空港であり、夏ではあるが風が冷たく、空気がすがすがしくうまいということであつた。

ヘルシンキ市の国会議事堂前にハルマスの花が咲き、道路は切り石が敷かれていたし、商店などの前に全くあざやかな色とりどりの赤、紫、黄の花が咲きみだれていたのが印象に残っている。もちろん、それから北上し泥炭研究所を訪れたときの路傍の野草、レストランの外で昼食をとったときのカレンな花も、泥炭試験地を案内してくれた女性のたくましい健康美とともに忘れ難いものであ

る。アメリカのマサチューセッツ大学の共同研究者であるコンビー教授とともにオットブレ博士宅に夕食に招かれたとき、花を買って持参したが(割合に値段は高い)マンシヨンの窓側に置かれていた花も全く濁りのないものであり、この国の花は美しいなあと感じたことがある。ヘルシンキ大学の教会で行われた開会式の音楽、閉会のパーティーで奏でられたこの国特有の楽器での民謡調の音楽は、いまでも脳裏に強く残っている。白夜であるから、このパーティーは午後十時頃から始まり、午前二時頃までつづくのである。この国ではサウナが健康的な身体を鍛える施設になっているが、ホテルでもサウナがあるし、ある島に住む人に

### 森と湖の国フィンランド

早いのが、機上からみる下界は全くの淡緑の草地、濃緑の森林が単調につき、白夜の頃には天然ガスが燃えているであろう炎が、火の玉のように見える風景は全く広大というか、巨大な平原という言葉につきよう。五年前、モスクワで国際草地会議が開催されたが、その時のソ連草地学者の話によると、ソ連の国土約二十億畝のうち、三分の一の七億畝が

草地ということであつた。世界的には約三十億畝くらいの草地があるといわれるから草地の約四分の一がソ連にあるということになる。ソ連内でもシベリア大陸にある草地が多いのである。ここではトナカイをはじめ約一億頭の牛と、多くの野生動物、家畜が飼われている場である。

# 私の北方圏観



前帯広畜産大学学長  
北海道教育委員

大原久友

私は寒い地域の自然、産業、文化、生活、学問に多大の興味をもっているが、いままでの北国旅行の体験を通じてふり返ってみたい。

### カラフトのトナカイ

戦前(昭和二十年は終戦の年であるからそれ以前)のカラフト(今のサハリン)には、まず稚泊連絡船(稚内―大泊間の約八時間)に乗ってカラフトの大泊につき、それから汽車で樺太庁のあった豊原市に着くのである。豊原市は北国特有の肌のきれいなシラカバなどが多く、その中に針葉樹を混生し、北方圏特有の景観であつた。それから再び汽車に乗って北の街、敷香駅に着くと正に北国にきたという感じが強い。ここを訪れた十二月、氷でとぎされた幌内川のそばの草原の中にひとさわ高い煙突の立っている人絹バルブ工場は、きびしい自然の中で生活の強さを脈動させているような景色である。岡田嘉子と杉本良一が越境前に泊まった宿屋の一室で、試験場の進藤さんがトナカイ肉をもってきてくれてご馳走になった印象は忘れ

### 米国寒冷地の農業視察

昭和三十四年、中野さん(元農林事務次官)を団長とした生産性本部によるチームの一員に加わり、二カ月間アメリカのいわゆる寒冷地に属する州の農業視察を行った。訪れたのは主として大学、農家などであるが、いくつかの興味のあるものをとりあげてみると

- 1、マサチューセッツ州の克蘭ペリー
- 2、バーモント州のメイプルシラップ
- 3、ウィスコンシン州のアルファルファ
- 4、アイダホ州の大きな馬鈴薯
- 5、ユタ州立大学のあるローガン市、コロラド州立大学付近のロッキー山脈高原の紅葉(日本では伊勢湾台風の日にデンバー市などに豪雪があつた)
- 6、ミシガン州立大学からバーデュー大学まで僅か数人しか乗っていなかった飛行機がアラシのためゆれ、果てしなくつづくトウキビ畑にいまにも落ちそうになったこと。

これら地域におけるアメリカの農業およびその背景は、北海道の農業とも共通性があり、参考になる点がある。

えたのである。軍の宿舎でお酒をご馳走になり、一歩外にでて風に当たると酔いがさつとさめるといふ寒さ、温度は氷点下四〇度ということであつた。こういうところで野菜などがよく育つのにびっくりした。北緯五〇度が北カラフト(当時のソ連領)と南カラフト(当時の日本領)の境界であつたが、この真冬のきびしい寒さと自然は何か心をひきしめるものがあつた。索漠とした自然がかえって心を温かくしてくれたのであろう。

史を象徴する船もみえる。さて、汽車に乗ってオスロから北に向かうと緑におおわれた畑、草を食べている褐色の牛（ノルウェー種）茶褐色の牛舎が緑の森、草にかこまれ、肌の真っ白いシラカバ、青空とともに生命のつながりが感ぜられる。こうして三時間ほどの汽車の旅の窓からは、七月というのに雪と氷が出没し、大小の滝もみられるようになる。いよいよフィヨルドが見られるようなところになると、山羊の放牧も見られ、山羊乳缶をかついだ若い力強い男が山を下ってくる。広い国土で人

### ウイスキーと草の香漂う（スコットランド）

イギリスでもこのスコットランドは私のもっとも好きな北方圏の一つである。自然環境はきびしいが、波状の高原は全く草でおおわれている風景は正にスイスのアルプス草地酪農と対照的な高原酪農である。古い時代の囲い込み制度の遺物ともいふべき石壁が、万里の長城のように果てしなくつづき、その間に色とりどりの放牧風景が一幅の絵として描かれる。ある年の秋、友人のスコットランド西農科大学のハント教授がこの地域を案内してくれたが、ある泥炭草地を調査してしばらくいくとど



自然の中で体力づくりに励むノルウェーの人たち

い湖辺のサウナ小屋でサウナにはいり、ワインとかビールを飲んだり、午前二時頃ホテルに送ってくれたが、全く長い一日であった。そして翌日、ある開拓農家を訪ねたが、この農家の親戚がかつてのオリンピックの耐久レースの金メダリストがいるのであった。その人は郵便配達をしていたが、冬は雪深い農村をスキーで配達しながら走り回り、サウナで身体をきびしく鍛える（ヤナギで身体をむち打ち、雪の中に転がったりする）が、食べものは栄養のあるものをとるのである。まずたくさん牛乳をのみ（毎日約一リットル）この量は日本人の八倍くらい、その他の乳製品、パン、イモ、牛および豚肉の料理で栄養をとった結果であると

**健康と自然を楽しむノルウェー人**

ノルウェーの首都オスロ市はきれいな、こぢんまりした北国の都市である。市内には有名な彫刻の森とか、大話してくれた。この農家も戦前、いまはソ連領土となったカルレヤ地方から二、三頭の牛をつれて歩いて来てこの地に入植したという。十歳くらいの子供は将来はお父さんよりよい酪農をやるのだといって明るい表情で私に語ってくれたのは印象的であった。こういう体験からすると、この国の冬の生活も牛乳を主とする充実した栄養とサウナによって鍛えたい心身できびしい冬に耐えるフィンランド魂に支えられているものと思う。かつてアメリカのミネソタ州の農場を訪ねたときも、開拓に努力している農家はフィンランドから入植したとのことであるが、労働生産性のきわめて高い経営であった。フィンランドから移住したと聞いて、やはりこのはげしい農業労働に耐える力はフィンランド魂に根ざしたものであり、住宅の近くにサウナ小屋がつくられていたのでフィンランドを思い出した。

北方圏の開発と共に進む

北水の不凍栓

上・下水道各種資材製造・販売

北海道水道機材株式会社

本社：小樽市稲穂4丁目8番7号  
工場：小樽市オタモイ1丁目1番11号  
札幌営業所：札幌市豊平区美園2条1丁目8番

電話 (24) 0241  
電話 (26) 2331  
電話 (823) 7701

贈って喜ばれ、もらってうれしい……



味と香りの  
『林屋のお茶』

銘茶がつなぐ  
心のふれあい……

林屋  
お茶

北海道林屋製茶株式会社

ずいひつ

私のフィンランド



主婦 (伊達市)

長橋 美津子

私がシニッカの国のフィンランドを訪れたのは、四年前の七月のことでした。その時が今でも走馬灯のようによみがえってきます。

前もって連絡はしていたものの、本当に迎えに来てくれるかどうか、不安でいっぱいでした。汽車がヘルシンキ駅に着き、ホームへ降りた途端、さっと寄って来た女の人に「あなたはミッコですか」と声をかけられた時、それまでの不安はいっぺんに吹き飛びました。私の歓迎の準備をしているシニッカに代わり、姉のリトバが迎えに来てくれたのです。シニッカの家があるラウハはヘルシンキから約八時間も離れた土地で、着いたのは夜十一時ころでしたが、夕方

を思わせる明るさには驚きました。その夜は心のこもった料理を囲み、たどたどしい英語と手足を総動員したオーバーなジュスターで再会を喜び合い、床に着くのが朝の四時にもなってしまうました。こうした不安と喜びでフィンランドにおける二十日間の生活が始まりました。

翌日、シニッカと自転車ですぎほどの距離の彼女の両親のいる小さな村オストーへ出かけました。両親は乳牛五頭ほどの酪農家です。農村のその家は、トイレの床まで電熱が通ったリトバのところとは違い、素朴で小ぢんまりとし、壁ぎわには日本のカマドのようなストーブがあり、パンも焼けるようになっていました。母親はやさしくて大

変な働き者で、朝早くからウシの世話や乱しぼりをし、そしてパンを焼きます。日本と同様、農村ではまだ手作りが生きており、それぞれの家の風味、香りがまた自慢でもあります。ある日、私にその自慢のパンを食べさせようと、自転車で三時間かかる町まで、よい粉を買に行きました。

そのうち、シニッカのいとこの結婚式に招かれ、初めてヨーロッパの結婚式を拝見しました。結婚式は村の行事ほどにぎやかでした。五百人も集まったでしょう。その見守る中で行われ、それが終わると新郎は聖書、新婦は花束を持ち、教会からみんなの拍手のウズを通り抜け、パーティーが開かれる村の集会所へと向かいます。会場の準備を待つ間、男たちは早くもウオッカのビンを回し飲みし、景気をつけています。会場では中央に立っている花嫁、花婿に握手を求め、励ましやお祝いの言葉を述べ、祝福します。それが一段落すると、二人がワルツを踊り、みんなで見守り、すむと大拍手を贈ります。それ

からは子供も、大人も、花嫁花婿も入れ交じって大ダンスパーティーです。別の部屋にはオードルやサンドイッチ、コーヒー、お酒などが山と用意され、自由に食べられるようになっていきます。しかつめらしいお祝いのあいさつの連続もないし、人のことながら結婚式がこんな楽しいものとは思いませんでした。

私の帰る日がやって来ました。お別れをいうためオストーへ行きました。お父さんは目にいっぱい涙をため、私に右手をサッとあげて畑へ行きました。外へ出るとお母さんが食器を洗っているのが見えます。湖のほとりのサウナ小屋に招いてくれたタクシーのおじさんも、シニッカも、リトバも、大きな体のリトバの夫も泣いています。何と心やさしく、人なつこい人でしょう。村あげての結婚式のお祝い、そしてこのような人なつこさ―これも厳しい自然と闘いながら肩を寄せ合いました、そうしなければ生きてくることが出来なかった人たちの片りんを見る思いがしました。

ずいひつ

ブーツ・ブームをめぐって



富良野市郷土館 学芸員

杉浦 重信

ブーツ・ブームが峠を越えたと思ったら、今度はブーツ・ブームとやらで、若い女性ばかりより中年のおばちゃん族までが先を競って、ブーツを買い求めているという。ある週刊誌によれば、二〜三万円程度の商品が最も手頃で飛ぶように売れているそうで、最近のシンブル・ラーフなるファッションの宣伝文句は、ブーツには関係ないようだ。その過熱ぶりは今や頂点に達し、ブーツをはかざる者は女性にあらざるといったすさまじい勢いで浸透しており、街にはブーツ軍団がガッシン、ガッシンと力強く氷雪を踏み飛ばしながらはいかしている。

数年前からブーツをはく女性が増えていたが、この流行は本

道の寒冷な気候に起因するのだらうとばかり思い込んでいたところ、先頃、上京して、ブーツが全国的に猛威を振るっていることを初めて知った。そこで、職場の女性に「だれもかも、ブーツをはいているけど、はき心地はどう？」と皮肉を交えて、聞いてみると「暖かくって、一度はいたらやめられないわ」との返事だった。確かに、ブーツは積雪厳寒の北海道の気候・風土に最適であるにちがいないのだが……。

昨今のブーツ・ブームに象徴されるような没個性化の社会現象を憂う一方、本道のような冬季の過酷な自然環境の下で、人々はいかにして風雪と寒気から身を守り、生存しつづけてきた

のであろうか。この疑問を防寒具の面から考えてみた。

アイヌ文化以前の先史時代に關しては、残念ながら、現物が残っていないので、推測の域を出ないが、狩猟・漁労を經濟基盤とする社会であるから、当然動物の皮を防寒具に使用していたにちがいない。考古資料としては、オホーツク文化期のヒダのついたスカートを着用した牙製婦人像や製作時期が不明であるが閉鎖式の短靴の形態をした靴形土器があるにすぎない。

アイヌの場合、ブーツのようなひざ下まで覆う靴はなく、ケリと呼んでいるサケ、トド、アザラン、シカの皮製の短靴やコソチという防寒用の頭巾やソホンチという脚半などの防寒具があるが、ギリヤーク、オロッコ、アイヌなどの樺太に住んでいる民族に見られる保温性に富んだ毛皮製の帽子や手袋、あるいは現代女性が愛用している毛皮のコート類は未発達である。このことは、本道より北に位置する樺太では当然かもしれないが、明治以降、開拓移民とともに普及した東北・北陸の防寒具と比較

しても劣しているようだ。周辺地域に比べて、アイヌの防寒具が未発達であるのはいかなる事情によるのであろうか。冬季間アイヌはあまり生産活動に従事しなかったことによるのであるうか。とするならば、樺太の諸民族においても大差がないのではあるまいか。しからば、製作技術の差に起因するのであろうか。しかし、樺太の防寒具を製作できないほどの技術格差があるとも考えられない。サケの皮のケリにもう一枚貼り合わせ

て、ブーツにすることは造作なくできるにちがいない。あるいは、場所請け制度によって、従来のコタンの生活様式が激変したことによるのであろうか。このように防寒具の面から見てくると「北方民族アイヌ」という言葉が色あせてくるように思えてくる。現在、私達が考えているほど、アイヌの人々は厳しい寒気と感じない身体的適応能力を保持していたのであろうか。それとも、北海道の気候・風土を北方圏としてとらえる発想に無理があるのだからか。ますます頭中のが混乱してしまふ。

ずいひつ

食生活の今昔



総合病院旭川赤十字病院  
栄養課長  
中田由紀

江戸時代に脚気がまん延してその発生が白米飯を常食にしたことが原因であったと古い食物史に記述されている。うまい飯による糖質の過剰摂取とビタミンB<sub>1</sub>の不足に起因して発症したわけである。古来の日本の食生活は一日一食から始まり、食事内容も簡素そのものであったが、次第に一日二食、次いで一日三食の食形態が習慣となって現在に至っている。江戸時代に食生活が一挙に派手になり、美食傾向がみられたために幕府が大名や武士に常の振る舞いごとの食膳に二汁五菜にとどめるように通達したと伝えられている。その後、明治の初期に欧米文化が輸入され食生活が進歩し東京、京都、大阪などに牛なべ

屋が出現して繁栄し、同時に牛乳の飲用も流行普及した。しかし、そうしたなかにも江戸時代から明治時代にかけて飢きんが幾度か襲い、明治二十二年に山形県の宗教団体が多くの貧困家庭の児童救済のために私立学校を設立して昼食の給与を施したが、これが現在の学校給食の足がかりになったものである。昭和十三年に日中事変が突発し、食糧難の第一歩が始まった。昭和十六年頃から日本全国で米の不足が起こり、外米輸入の手だてで危機を逃れようとしたが、益々不足し、日常の食糧が配給で切符制度が採用されたことは私どもの記憶の一ページに刻まれている。そんなわけで国民の栄養状態は悪化をたどる一

方で食糧不足による栄養失調等が起因して死因の第一位は「結核」であった。戦争の影響による貧困と飢えから家族を守るために主婦は食糧の調達に日夜心を砕いた。が、特に第二次世界大戦後から昭和二十年終戦直後までの数年間の食糧不足はひどく、昭和十九年には学校給食も中止され、成長発育期を迎えた学童は栄養不足の被害を体位の面に大きくこうむっている。このような長い経過のなかで昭和二十五年になってようやく給食基準も示され、教育の一環としての学校給食が新しくスタートした。特に児童に栄養のバランス面から牛乳を飲用させる目的も含めてパン食を導入し、以来パンとミルク及び副食の給食が現在まで三十年間継続実施されている。昭和四十年頃からの高度成長に伴って所得の増大をもたらした消費構造も変化した。かつては低所得の段階で生きるための最低の消費しか出来なかったものが、所得の上昇につれて食糧消費構造の変化も現れた。食事内容が洋風化への傾向がみら

れ、油脂類、砂糖類、肉類の消費が増大し、一般に量より質に重点がおかれて、摂取栄養素も動物性たん白質、脂肪、カルシウムの増加が認められている。しかし、近年の物価の値上がりも急速で所得の増大よりもインフレによる食品価格の上昇が顕著であるため、食生活レベルが低下逆行することも心配される。一方、時代の推移とともに疾病の様相にも変化がみられ、かつて国民の死因のトップを占めた結核が、現在は脳卒中が第一位、次いで心臓病、糖尿病などとなり、食糧の好転とともに成人病が多発傾向になった。また、肥満の問題をめぐって栄養改善の重要性が高まっている。これらは文明病であり、特に青少年、幼児の肥満が懸念され、消費カロリと摂取カロリーのアンバランスはもとより、栄養の無知無頓着や誤認など発症の誘因となっていることを察知しなければならぬ。近年多くの国民の健康状態はいくつかの問題点を抱えて、これからの食生活のあり方に新しい反省を必要としていることを自覚したいものである。

テネシーの村  
開拓の村



北海道開拓記念館  
学芸員  
紺谷憲夫

いま私は研究室の片すみで「北海道開拓の村基本計画書」と「開拓の村建設協議会会議記録」なる分厚い綴りを拾い読みしながら、一昨年夏の北米の旅を思い出していた。開拓の村は北海道の歴史の貴重な遺産である明治建造物を野幌森林公園の一角に移設して保存しようとするものである。収集を予定される数十棟の建物は、単に無原則に復元されるのではなく、全体として調和のとれた配置とするため、市街群、農村群、漁村群を設け生活様式を含めて明治を再現しようとする試みである。これまで開拓使工業局をはじめ、小樽新聞社など九棟が集められ復元を待っている。

私は一九七六年の夏、約二カ月をアメリカで過ごした。旅の目的の一つはテネシー州立大学で開かれる独立二百年を記念するアメリカ史のプログラムに参加すること、二つにはワシントン・スミソニアンをはじめ歴史ある博物館を訪ね、農具資料等を調べることにほか、前回の滞米中、ミズーリ州の大学などでお世話になった人々に再会することであった。

ロサンゼルスからアメリカン・エアラインの国内線に乗り継ぎ、テネシー・メンフィスへ降り立ったのであるが、そこで待ちわびてくれたのはテネシ大の歴史学教授のオグビー博士であった。テキサスなまりの陽気な博士は、合衆国の開発機関で

ある TVA (Tennessee Valley Authority) の要請をうけ、一八五〇年代の開拓時代を再現する村づくりに奔走中であった。村の位置はテネシーとケンタッキーの州境にあるバークレイ湖とケンタッキー湖にはさまれたランド・ビトゥイン・ザ・レイクと呼ばれる約十七万坪の広大な保養地の中にあり、有名なバツファローの森に隣り合わせて、約三百軒(百二十軒)の用地 (Stewart County) に二十棟ほどの家屋群がほぼ完成に近い状況にあった。それらは農家住宅、牛馬の家畜房、豚鶏舎、クリブ (Crib) とよばれる食物貯蔵庫、薫煙小屋およびタバコ納庫などである。どの建物も削り丸太を組み、木釘 (Wooden Peg) で止め、屋根は解 (かしわ) の厚い手割りマサでふかかれていた。ほとんどの建物はこの地域の往時のものを移設したのであるが、石造りの暖炉と煙突は造り直したとのことであった。さて、この村の特徴についてであるが、TVAと博士の計画は農家群を建造物として保存すると同時に、家族単位の農民を雇い

ずいひつ

入れ正確な一八五〇年代の農業を再現することである。そのため、すでに数頭の耕牛の訓練も始められ、約五十軒(二十軒)の農地も一部開墾がなされていた。ここに、小麦、とうもろこし、タバコ、麻、亜麻、野菜等が当時の農具を使って作付けされる。なお、農作業は村に定住する農民の他に、大学で歴史を学ぶ学生が夏季実習として義務付けられ、学生らは歴史の単位と労賃を同時に受け取る仕組みにするという。また計画では、村に付属して農業博物館が屋内外でぎん新な博物館活動が展開されることである。この種の開拓の村は米国内では他にマサチューセッツのスターブリッジ、プリモスプランテーション、アイオワの開拓の村、インジアナのユナーブレイリー移住村等があり、それぞれ開拓時代を再現する活発な活動と展示がなされている。ひるがえって、北海道開拓の村の建設は世界の水準をいくもの出来得るかどうかは、道民とプロジェクト・チームの肩にかかっている。

### 早春の花旅



国鉄道総局広報課長

柴田久良

四月二十九日・天皇誕生日になると、私はいつも網走湖畔のミズバショウの花(白いは花でなく仏炎苞というそうだが今年も咲いたかなあと思いつきにはおれない。

数年前、私と楡金幸三さんと二人で札幌発の夜行列車に乗って、写真を撮りに行った。女満別駅に着いたのは、朝七時半ごろであった。湖畔の温泉宿の朝食は、湖でとれた大粒のシジミ貝のタップリ入ったみそ汁であった。多分さつきまで生きていたであろう、その味は実に素晴らしい。オホーツクの魚なども一緒に出たが、そちらの方はいっこうに思い出せぬほどうまかった。

宿から長靴を借りて、線路ぞ

いに網走方向に歩いて二十分ほど(今では湖畔ぞいに散策道ができてい)行くと、左手のヤチハンノキとヤチダモの美しい自然林の間、まだ残雪がチラホラする湿地帯にミズバショウの花が一面に咲いていた。上空にはアオサギがゆつくりと舞い、実にのんびりした風情だ。

さて、写真を撮ることとなった。私はブロニカ、低く下げてすぐクローズアップするクセがある。それは原生花園の花や、礼文島桃岩の高山植物の花々を撮りだしてからそうだったようだ。焦点をあわせつつルーペをとおしてファインダーに写る美しい花粉、そのシャッターを切る瞬間は、まさに魅せられた一瞬である。先輩に楡さん、今で

は珍しいスーパーイコンタを脚にすえて、夢中でファインダーをのぞいている。

シーンとしている大自然のなかで、ときおりカラスの無粋な鳴き声がある。よく見ると白いものをくわえている。楡さんに聞くと、アオサギの卵を盗んで食べるのだとのこと。いやな奴だ、上空を舞うアオサギこそ哀れだ。場所を変え歩いていくうちに湖畔に出た。春霞の湖はポイントとしてとらえどころがない。実にのんびりして、なにか寿命が延びそうだ。

楡さんは最初のフィルムはオレンジのフィルムを付けたままでダメとボヤク。私も一本水の中に落とす。しかし悔なし。うららかな春の日を浴びて大自然に吸い込まれた一日は、いまでも貴重な思い出となっている。

四月の花といえば、道南の江差から松前への国道228号、上ノ国を過ぎると、ワラで分厚く冬囲いされたままの家が、海沿いの断崖に張りつくように連なっている。その人家もつきると小砂子浜という所に来る。右は海への断崖、左は山すそ、所

々にある沢の付近には、うす紫色のカタクリの花があちこちに咲いているのも思い出に残るものだ。

エゾリュウキンカの咲くのは五月下旬、旭岳ロープウェイ下は一面に咲き乱れるが、こうなると余り趣がない。帯広から然別湖畔への中ほどに熊の沢という所がある。雪解けの澄んだ水が流れる川辺に三々五々と咲く姿は旅情があつてよい。エメラルドグリーンに輝く朝露、黄金色の花びら、接写のためのファインダーに浮かびあがる花粉は実に印象的である。

この頃になると然別湖畔はエゾムラサキツツジが満開になっている。

やがて六月、スズランの咲くころ、道東の厚岸から厚床への国鉄沿線には、もう都会付近では滅多にお見にかかれぬオオバナノエンレイソウの白い花が咲き、汽車の旅を楽しませてくれる。まだ、旅人の余り動き始めない、早春の花を求めての静かな旅は、長い冬から抜け出した北国の旅人のひそかな楽しみではなからうか。

### 国際化は観光から



レストラン・マナベ社長

真鍋辰夫

#### 国際レベルの観光開発

最近、千歳空港国際化問題が急速に浮かび上がり、新聞紙上をにぎわしている。

実現すれば、北海道からアラスカ、カナダまたは北回りで欧州へ行く場合、時間的、経済的にどれほど助かるか知れない。道民の一人、地元市民として諸手をあげて賛成する。しかし、実現の可能性が最も大きい航空貨物基地の問題はさておき、旅客対象の国際空港となると、相手のいることで、ギブ・アンド・テイク・ベインズ即ち「飛ばしましょう。飛んで来て下さい」でなければならぬ。しかも、旅客素通りの中継空港でなく、商用旅行者とともに北海道へ金を落としてくれる観光

旅行者を乗せて来て下さいと呼びかけなくてはならない。

そこで外国人観光客が飛びつくPRとすれば何を売り物にするにしろ、一年に五日間の札幌の雪祭り以外国際レベルの観光資源がないといっても過言ではなからう。確かに北海道は広大だ。異国情緒がある。だが、それは本州からの国内観光旅客にとつての話で、広大さも牧歌調も大方の外国人にとっては箱庭的で、少しも魅力的ではないし、歴史が浅いので京都、奈良と違い彼らが一番見たがる日本古来の古い物もない。テームズ川畔の英国国会議事堂のビッグ・ベンを見た者は、僅か百年そこそこの札幌の時計台を見ても感動はしない。姉妹都市関係やその他の道や市の賓客は外

交辞令で「ジャスト ライク バック ホウム」とほめ言葉でたたえるだろうが、およそ観光ルートにある国内観光旅客対象の名所を外国人に見せても、東京の雑踏から逃れてホッとほするが、さっぱり感動しないのが事実だ。

ナイアガラやイグアスの大瀑布、ポンペイの廃墟やローマの歴史的遺跡、インカ文明の遺跡、ルーブルやブラッド美術館、ラス・ベガスやモナコのカジノ、サン・モリッツやシャモニーのスキー・リゾート。こうした国際レベルの観光名所は誰もが一生に一度は有り金を全部はたいでも行ってみたいが、悲しいかな北海道には古いものにも新しいものにも外国から飛んできて見るほどの物がない。

そこで考えられることは、もし古い物で勝負が出来ないならば、何か新しい物を創造する道である。冬は雪を生かして本当に国際的ふん囲気を味わえるスキー場の施設をつくるのか、史上最大の規模で娯楽性をふんだんに盛り込んだ民族歴史博物館を建設するとか。今のままで

は国内のスキー客誘致がやっととなる。とにかく、国際空港化を目指す一方で、千歳空港が外国機のタッチ・ダウンによる千歳市の固定資産税増収のメリットしかない中継空港にならないよう、何か打ち出してほしい。過去に数回にわたり、アラスカは千歳市の姉妹都市アスカレジを振り出しに、ジュノー、北極圏のノーム、コゼビューから、スカンジナビア諸国ではノルウェーの北の端北緯七〇度に近いトロムセまで訪れたが、どこへ行っても北方圏には北方圏独特の素晴らしさ、うらやましい見せ物があった。

千歳空港国際化運動に沿って、出来ればそれ以前に、観光北海道の体質改善を急ぐべきではないだろうか。そして条件を固めた上で運動が展開される方が本筋にかなっているように思う。また、実現のあかつきには、飛んでくる人々に不快感を与えぬよう、道民が一人でも多く国際感覚を持ち、対等に接触できるよう、日本のよきや北海道のよさを理解してもらおうよう勉強する必要がある。

北方園の  
民話と伝説



ユーラシア民話の会  
杉本 侃 記

十二人の賢い兄弟 (その一)

ウェブ人の民話

とある村のはずれに  
大ききも形も同じ家が  
十二軒、道の両側に六  
軒ずつ並んで向かい合  
って建っていた。十二  
人の兄弟が一人ずつこ  
の家に住んでいた。そ  
れぞれ妻も子もあつたが、きょ  
うの話はそのことではないの  
で、ここでは忘れてしまおう。  
ある冬の日、兄弟全員でソル  
タワラという大きな町へ買い出  
しに出かけることになった。用  
事はそれぞれ別だつた。塩がき  
れてしまったもの、女房が服を  
作るので更紗きんぎょがあるもの、石け  
んを買いに行くもの、長靴を  
いかえに行くものなどだ。  
全員がめいめいのそりに自分  
の馬をつけ、そりに乗ってさあ  
出発だ。

町までは遠い。途中で一晩泊  
まらなければならぬ。道沿い  
の一軒の宿屋に宿を取ることに  
した。めいめいがそりから馬を  
はずし始めた。

一番上の兄が言った。「おー  
い、みんな、そりのかじ棒を行  
く先の方に向けておくとしよう  
じゃないか」次の兄が応えた。  
「それは良い考えだ。そうしよ  
う」三番目の兄が言った。「そ  
うすりゃあすになってどっちに  
行くか考えることはないもん  
な」四番目の兄も付け加えた。  
「そうさ、ソルタワラ町に着くま  
で馬に任せときゃ良いもんな」  
それを聞いてた宿屋の主人、  
あんどり口を開けたまま、思わ  
ずニヤッ。もちろん兄弟たちは  
それに気がついちゃいない。め  
いめい馬をうまやにつなぎ、十

二のそりをすべて同じ方向、そ  
う、ソルタワラに向けて並べ  
た。兄弟はめいめい部屋に入り、  
ねむりについた。  
さて、宿屋の主人、兄弟たち  
が寝入るのを遅しと待っていた  
が、みんなが寝てしまふのを見  
ると、そりのかじ棒の向きを一  
つ残らず入れかえ始めた。

『別に悪気があつてやるわけ  
じゃないんだ。本当にあの兄弟  
たちはかじ棒の向きだけで行く  
先を知るのかね。あすがお楽し  
みだ』

十二人の兄弟はぐっすり眠  
り、朝になるとそりに馬をつけ  
始めた。もちろん得意満面だ。  
「かじ棒をちゃんと向けてお  
かなかつたら、今ごろどっちへ  
行って良いかわかんないとこだ  
つたな」そうさ、はじめての  
土地で道に迷っちゃ大変だから  
な『頭の良いのが十二人も揃っ  
たら失敗なんかしやしないさ』  
兄弟たちはそりに乗って出発  
した。宿の主人は肩をすくめて  
後を見送った。  
兄弟たちは馬を追い、ソルタ  
ワラへの道を急いだ。と、突然  
先頭にいた一番上の兄がすつと

んきょうな声をあげた。「おー  
い、みんな、ちょっと見てみる、  
何となく来たことがあるところ  
だぞ。たしか昨日通った道だ。  
丸い大きな石の横にシラカバが  
立っていて、ほら、わきにどぶ  
があるもん」二番目の兄が言っ  
た。「うーん、本当だ、似てい  
るなあ」

三番目の兄が「なに、世の  
中には似たところはあつてもん  
さ」と言うと、四番目も言った。  
「そうだよ、不思議でも何でも  
ないよ。こら辺りじゃ、木と  
いやあシラカバだけだし、石だ  
って大きな丸いのがごろごろし  
ている。どぶだつてあつちこつ  
ちにあるじゃないかね」

末の弟がとうとう言った。  
「さあ、周りに気を取られてば  
かりいなくて先を急ごうよ」  
兄弟たちはそれから一時間だ  
れも口を開かず、さらに一時間  
無言のうちに、そしてさらに一  
う一時間一言もしやべらずに馬  
をひたすら前に進めた。  
と、突然、五番目の兄が大声で  
叫んだ。「おーい、この村はきの  
う通り過ぎたぞ」ほかの兄弟は  
その声に振り返り、辺りを見回

みんな

した。六番目が言った。「いや、  
これはきのう通った村とは違  
よ」七番目も言った。「うん、確  
かに違う」六番目が再び口を開  
いた。「きのう通った村は、左手  
にあつたもん」七番目が合づち  
を打った。「そうそう、あれは  
左だった。これは右にあるもん  
な」末の弟が大声でみなを促し  
た。「何を言い争つてんだい。先  
を急がないとまた途中で日が暮  
れちゃうよ」

無言のうちに再び前進した。  
前方にまた村が見え始めて来  
た。八番目の弟が言った。「ソル  
タワラへは向かっているのかも  
しれないけど、あれはどうもぼ  
くたちの村みたいだよ」山もそ  
っくりだ」と九番目が言った。  
「本当だ。あつちのはずれに家  
が六軒ずつ並んで、ぼくたちの  
家そっくりじゃないか」と十番  
目も口を出した。

三番目の兄が言った。「さつ  
きも言っただろ、この世の中に  
は同じようなところはいくつでも  
あるさ」「その通りかもしれない  
いけど」と十一番目の弟はうな  
ずきながらも続けて言った。  
「だけど、同じ村や同じ家があ

るわけはないよ」

「みんなくどくどとうるさい  
なあ。ぼくらの村だろうが、な  
かるうが、とにかく先に進もう  
よ」と末の弟がどなる間もな  
く、赤茶色の犬が尻尾を振り振  
りそりに走り寄つて来た。  
末の弟が言った。「この村が  
誰の村かは知らないけど、こ  
の犬はぼくの犬だ」

十二人の賢い兄弟 (その二)

これもまたあの十二人兄弟に  
あつた話なのだ。  
あるとき兄弟そろつて干し草  
刈りに行った。一日中かまを振  
り続け、干し草は山と増えるの  
に、草はいっこうに減らない。  
とにかく、その年は干し草のあ  
たり年だった。そこで、兄弟た  
ちはその晩は家に帰らず野宿し  
ようと決めた。

「だけどねえ、みんな、どう  
寝ようか」  
「年の順に寝れば良いさ」  
兄弟たちは並んで横になつ  
た。ところが一番上の兄が言っ  
た。「これは不公平だ。みんな真  
ん中なのに、ぼくだけはじつこ

前のさ」と一番上の兄が言った。  
兄弟たちはそれぞれ自分の家  
へ帰って行った。というわけ  
で、結局、ソルタワラへは行き  
つかなかつたのだ。  
「やみくもに走り回るより、  
家にじつとしていた方がよっぽ  
どましだったなあ」

誰かがいうと、ほかの十一人  
もみなうなずいた。

だ。夜になったら寒いよ。第一、  
ぼくは長男じゃないか」末の弟  
も同じように言った。「ぼくも  
はじだよ。ぼくも寒いよ。末っ  
子なのに」

六番目が言った。「それは不  
公平だ」七番目も言った。「それ  
じゃ二人ともぼくたちの間に  
いでよ、そしたら真ん中になれ  
るから」

長男と末っ子が六番目と七番  
目の間に横になるかならないう  
ちに、二番目の兄と十一番目の  
弟が文句を言った。「それじゃ  
ぼくらがはじになつちゃうよ。  
寒いじゃないか」  
そこでまた入れ替わり。また

た入れ替わり。寝るところじゃ  
ない。繰り返しているうちに、気  
がついたら最初と同じ順番だ。  
「おや、何でもまたこんなこと  
になつちまつたんだい」兄弟そ  
ろつて不思議そう。最初からま  
たやり直しかな。

ちょうど良いことに、そこを  
隣家の主人が通りかかった。草  
刈りから帰るところだ。家で寝  
ると、どうもただならぬ気配  
だ。そこで、馬をとめ、くらか  
ら下りた。

兄弟たちは隣の主人を見て大  
喜び。「良いところへ通りかか  
つてくれたなあ。どうしたら良  
いか、相談のつて下さいな」  
隣人は尋ねた。「いったいぜ  
んたいどうしましたね」

「いえね、どうやって寝ても  
二人は必ずはじになつちまうん  
です」「なんだそんなことなら  
おやすいご用だ。こうすれば良  
いのさ」隣人は干し草の山にさ  
してあつたさおを引き抜き、そ  
れを地面に突き立てながら言っ  
た。「さあ、このさおに足を向け  
て、頭を外側にして横になりな  
さい」そう言うと先へ行ってし



# みんなわ

まった。  
兄弟たちは言われた通りに横になった。これなら公平だ。一番上の兄は、二番目の兄と末の弟の間、末の弟のわきは一番上の兄と下から二番目の弟。これならだれ一人はじにはならない。一人残らず真ん中だ。  
夜が明けた。隣家の主人は朝早くから草刈りに出かけた。兄弟たちのところを通りかかると、また何かたならぬ気配がする。ワイワイ、ガヤガヤ、取っ組み合い寸前だ。  
七番目が叫んでいる。「これはぼくの足だ」一番上の兄がいかり狂って大声をあげている。「何がお前んだ、この足はおれんだ」七番目が怒鳴り返す。「良く見てよ、親指のつめが曲がっている足は兄さんのじゃない、ぼくんだよ」「何、つめが曲がっている？ それじゃぼくの足だよ。ぼくは三年前におのでつめを割ったんだから。余計なこと言わずに、ぼくの足をこっちは返してよ」と末の弟が叫ぶ。  
「いったいぜんたい何をしてるのかね」隣人は尋ねた。  
「どの足が誰んだかわかん

くなっちゃったんです。頭はひとつずつわかるのに、足がこんがらがって、これこの通り。草刈りに行こうにも、起きもできないんです」  
「そんなことなら簡単さ。もうちょっとそのまま横になっておるんだよ。いますぐやってみるから」隣人はこう言うと、ヤナギの枝を折り、何も言わずに、いきなり兄弟たちの足をムチでたたいて回った。  
兄弟たちは驚いて一斉に立ち上がった。どの足が誰んだん

## エスキモ

### サファイアの首飾り

年若い狩人が息子に嫁をもらおうと考えた。だけど、素直で働き者で儉約家、そんな素敵な娘をどうやって捜したら良いのだから。  
老人は考えた挙句、毛皮を売って、大きくとも美しいサファイアの首飾りをたくさん買い込み、それを袋に入れて、息子に犬ぞりを準備させて、出掛けて行った。  
最初の村まで来るとそりを止め、女の子たちに大声で呼びかけた。「アファイアの首飾りが欲しい者はいないかね」  
娘たちがあちこちの家から走り出てきた。どの目もキラキラ輝いている。老人は首飾りを手にもってみなに見せながら言った。「ただでやるわけじゃない。とっても別段大変なことを頼むわけでもない。自分の親兄弟に毛皮の服を縫ったその残り布を持ってくれば良いんだ。一番

たくさん布を余した人にこれをあげよう」  
娘たちは大喜び。こんな素敵な首飾りなら毛皮一枚と交換しても惜しくはない。それなのに端布で良いなんて。娘たちは急いで家に飛んで帰り、家にあつた毛皮の切れ端を拾い集めると、またたくまに再びその老人を取り巻いた。ある者はすそにかくして、ある者は両手にいっぱいいかえて、またある者はそりに山積みにして持って来た。  
「さて、これでみな集まったかな」と老人は問いかけながら持って来たものを調べ始めた。  
ある人には「量は多いが、みな小さいね」、別の人には「ひとつひとつは大きいけど量が少ないね」、そして、最後の一人のを見て、「よし、これをもっとおこらう。君にこの首飾りをあげよう」と言うと、大きな余り布を山のように持って来た娘に首飾りをやった。  
ほかの娘たちが首飾りを手にした幸運な娘をうらやまじげに見ているあいだに、老人は先へとそりを進めた。  
老人は、その村から離れると

# みんなわ

今交換したばかりの端布を雪の吹きだまりに捨て、次の村へと向かった。  
そりはすごい速さでツンドラ(凍原)を走った。だが、老人のうわさが広まるのはなお早い。「そりに乗った老人がサファイアの首飾りを端布と取り換えてくれる」  
犬ぞりが次の村に着く。そこにはもう娘たちが黒山のように集まっていた。村の中ほどでたくさんの娘たちが自分の集めて来たものを広げて待っていたのだ。まるで五つの部族が集まって盛大な市を開いているようにうにぎやかさだった。  
老人はたいして時間をかけなかった。ひと通り見回すため息をつきながら言った。「おー、何という娘さんたちだね。結構な切り方をしているね。これじゃ、よっぽど良い腕の狩人を婿に捜さなきゃならん。毛皮がたくさん手に入るようにな」  
でも老人は約束通り一人に首飾りを与える、村はずれで雪の吹きだまりを掘って、山のような毛皮のくずを捨てて、先へと進んで行った。しばらく行く

と大きな村が見えて来た。村のほずれには小さな女の子たちが見えかくれしており、そりが近づいて来るのに気がつく、天幕から天幕を大きな声で叫んで回った。  
「来たわよー。首飾りのおじさんがやって来たわ」  
その声に、あちこちの天幕から毛皮の切れ端を持った娘がぞろぞろ出てきた。いや、集まってきたのは若い娘ばかりではない。ばあさんまでもが、つえをつきつきやって来た。  
老人は端布に目を通しているうちに、一番たくさん布を持っている来た娘に気がついた。だが、目を凝らしてじっと見ると、何と一枚の毛皮をズタズタに切りきざんであるだけだ。  
『こんな娘にサファイアの首飾りをだまし取られてなるものか』  
老人がその娘から顔を上げる、端の方に一人ポツと立っている娘がいた。老人はその娘に近寄って行き、着ているものに目を配った。上衣にはトナカイの皮の切れ端が縫い着けてあり、模様は素晴らしく美しくかつ

た。着ているものは古かったが清潔でさっぱりしている。シカ皮の靴には色とりどりのつぎが当ててあり、腕の良さはどんな娘にも劣らないことは一目でわかった。その上、とても美しい娘だった。  
老人はその娘に声をかけた。「何でそんな端に立っているのかね。首飾りが欲しくはないのかね」  
「欲しくても何も替えるものがないのです。この小さな切れ端もお友達がくれたものなので」と静かな声で娘は答えた。  
「自分の家には端布はないのかい」  
「大きな布など全然余りません。どう裁ってもこんなに小さいのしか残らないのです」といって娘は手を開いてみせた。  
手にあつたのは、もうこれ以上使えないほど細い、本当に細くて小さな切れ端だけでした。  
それを見た老人は尋ねた。「何でそんなケチな裁ち方をするのかね」  
「お父さんに気の毒ですもの。もう年老いて、そうそう猟にも

行けないんですもの」  
娘のその返事を聞いた老人は、他の娘たちの方を振り返り、大声で言った。「さあみんな、商売はもう終わりだ。家に帰りなさい。サファイアはこの娘にやることにした。持って来た端布は少ないが、首飾りをやるに値する端布ばかりなのだ」  
老人は持って来たうちで最も大きく、最も美しく輝くサファイアの首飾りをその娘に渡した。「さあ、これをあげよう。だがまだ縫いつけないでおくんだよ。もっともっとたくさんサファイアをもらうことになるだろうからね」  
老人はこういい終わると自分の村に向けてそりをひた走らせた。家に着くなり、そりをかたづけに出て来た息子に言った。  
「良い娘を捜して来たよ。夜空に輝く星のように美しい娘をたくさん見たが、その娘はその中でも、いつまでも沈むことのない太陽のようにひき立っていた。その娘なら、お前を一生照らし続けてくれるだろうし、私の老いの身をやさしく守ってくれるだろう」



さっぽろ雪まつりはカナダからも参加

諸地域の提携だ  
けを対象に取り上  
げた。  
現在、道内自治

体で北方圏諸地域の都市と姉妹ある  
いは友好都市関係を結んでいるのは  
札幌がポータランド、釧路がバーナ  
ビー、池田がペンジクトン(カナダB  
・C州)、名寄がリンセイ(同オンタ  
リオ州)、紋別がニューポート、江別  
がグレッシュム、積丹がシーサイド(米  
国オレゴン州)、帯広がセワード、根  
室がシトカ、千歳がアンカレジ(同  
アラスカ州)、また、小樽がナホト  
カ(ソ連邦沿海地方)、旭川がユジノ  
・サハリンスク(サハリン州、旧豊  
原市)、北見市がポロナイスク(同  
旧敷香町)、留萌がウラン・ウデ(同  
ブリアート自治共和国)など。いず  
れも主産業や自治体の性格が似てい  
ること、貿易その他関係が深いこ  
とが提携のきっかけとなっている。

しかし、これらはいずれも太平洋  
や日本海の対岸の米国、カナダ、ソ  
連に限られ、北欧諸国との締結は皆  
無。これは北海道とは地理的に遠  
く、詳しく知られていない半面、こ  
の市の木のシャクナゲが市庁舎の前

# 姉妹都市

このところ北方圏構想の浸透など  
とともに道内では海外との交流熱が  
急速に高まっている。これに伴い姉  
妹関係を結んでい

## 道内十四都市が結ぶ

### 友好と親善に大きな役割

れまで経済的関係が薄かったことも  
原因とみられている。

#### 使節団や研修等て交流

ところで、これら都市が今まで行  
って来た事業は共通したものとして  
首長、商工関係者や民間使節団の相  
互訪問、開基記念式はじめ大きな行  
事への招待、紹介写真展の相互開催、  
児童作品の交換などがあげられてい  
る。このほか、それぞれ計画をこら  
しているが、学生交換(札幌、紋別、  
名寄、帯広)、英語弁論大会優勝中・高  
校生を親善使節として派遣(札幌)、  
英語学院生の英語研修提携都市訪問  
(千歳)、交響楽団の派遣(札幌)、物  
産展開催(名寄、帯広)、市の木・市  
の花の苗木や種子贈呈、交換(札幌、  
釧路(名寄)、市民の船派遣(小樽)、  
動物交換(札幌、帯広)などがあり、  
友好親善の増進や国際的視野拡大に  
大きな役割を果たして来た。札幌で  
はポータランドから寄贈を受けたバ  
ラが中島公園、釧路ではバーナビ

# PLANS PACK



プランズパックは、はたらき蟻の集団です。  
生みたてのアイデアをおとどけます。

## ぷらんず ぱっく

札幌市中央区南1条西7丁目フクダビル3F

庭を飾り、市民に親しまれている。また、名寄では姉妹都市というところで英語塾へリンゼイ出身の英語教師が三年間滞在、市としては養豚実習生の派遣、国際親善デー、在日大使館の協力を求め、カナダ議会展なども開いている。

### 市民のバックアップが大切

しかし、全般的に各自治体ともなかなか広く市民を巻き込む趣向の行事、事業を見い出せないのが実情。中には道内各市の提携に刺激され、急ぎ姉妹関係を結んだが、向こう側との折衝、交流もこちらが気負うほど進まず、相手の選定をあやまった？という極端な例もあるが、それ以外にも首長の相互訪問、児童の作品交換、紹介写真展開催程度にとどまっています。ところも見受けられる。事業に対する予算的裏付けが薄いことや担当職員が兼務で、姉妹都市関係事業まで手が回らないことによるもの。また、交流を支え、積極化する市民サイドのバックアップ体制をつくりにくいことも一半の原因となっている。また、相手が外国で連絡を取りにくいのに加え、会計年度の違いもあり、お互いに計画を対応させるべく、市民も協力するようだ。

今後についてはいずこも可能な限り交流を拡大していきたい意向。各市とも児童作品、学生交換などこれまで実施してきた事業の継続を考えているが、新たに少年婦人使節団派遣（札幌）、子供の交流、スポーツ交流（小樽）、リンゼイ通り設置、市職員との交換、冬の年配者向きスポーツのカーリング導入（名寄）、道北市民の船実施（稚内）などの計画も生まれている。

稚内の道北市民の船は道北市長会の協力も得て、今年の夏実施するが、旭川もポロナイスクとの友好都市締結十周年を記念し、両市庁舎に同型同文の記念碑設置、旭川からホルスタイン種の種ウシ一頭寄贈、ポロナイスクからアムール・トラ（シベリア・タイガー）一頭寄贈、博物館の交流、市民五十人招待の話し合いがまとまっている。

### 北方圏構想のなかでとらえる

一方、北海道では社会の国際化に対応、さらに北方圏構想の定着とともに、こうした姉妹都市提携を核とした交流拡大の必要性がますます高まってくるが、これには今までのように自治体中心の交流ばかりでなく、市民にまで底辺を拡大していく

ことが望まれている。市民の組織づくり、全道的な組織設置による情報の交換、姉妹提携の拡大、貿易その他による経済提携の強化等々。

バックアップ体制の組織づくりでは友好協会（千歳）、友好委員会（名寄）、貿易協会（釧路）などの設置も考えられるし、全道的なものとしては北海道姉妹都市連絡協議会設置の希望も多い。現在、全国的には国際親善都市連盟があるが、道内にはこうした組織がなく、また、道内各市の情報も余り同国際親善都市連盟に集まっておらず、事業を計画するに十分な参考例が得られないのが実情になっている。

### 底辺の拡大・経済交流

市民サイドの底辺拡大では自治体同士の姉妹関係締結以外にも商工会議所、ロータリーやライオンズ・クラブ、青年会議所、学校、宗教団体などもその対象にすることが出来、札幌ではポートランドとの間にホテル同士、レストラン同士、その他各種専門店同士の提携もみられ、数は七十三にものぼっている。また、名寄では小、中学、高校生の文通が組織的に行われている。昨年はリンゼイ市アレクサンダー小学校の九十三

通をはじめ、全市内小、中学校からこれまでの最高の五百五十三通のクリスマス・カードが到着、名寄からはカード二百二通と小、中学生の優秀図画、書道作品五十三点を送り、子供を通じ交流意欲を盛り上げている。札幌では民宿の家を登録し、ポートランドからの来訪者を中心に、日本の家庭生活を味わってみたいという人を一カ月程度の範囲内で引き受けてもらうことも行われている。

と同時に、提携をより安定、恒久化するため貿易を通したきずな強化の必要も見落とせない。道内の港湾都市はそれぞれ連からの北洋材を荷降ろししているが、内陸都市にあっても旭川のように家具を輸出し、木材や海産物の輸入を目ざすのも一つの示唆といえる。

旭川の昨年度のソ連貿易は輸入が木材を中心に三十万、輸出が十六万三千だった。また、稚内も現在日ソ共同プロジェクトによってサリン大陸棚で進められている石油開発採掘事業が成功した場合、その天然ガス導入基地設置、サハリン航路開設、貿易強化などを目ざし、市役所に露語習得者を配置、人的交流と同時に経済も通じ、交流のきずなをいっそう強めようと考えている。

石狩川とその支流雨竜川の合流点下流に位置した町。交通が部分廃線となった国鉄札沼線だけだった時は北空知の一員であったが、同線の廃止、バス初め車両運輸が発達した現在、むしろ滝川とのつながりを強めている。しかし、司法関係などまだ深川、旭川と結びつき、旭川圏と札幌圏の接点の面影を残している。町の歴史をみても明治三十年中空知の

### 雨竜町



田中直吉町長

新十津川戸長役場から分かれ、雨竜戸長役場を設けたのが始まりとなっている。

ところで、雨竜といえは別の意味で名を知り、古い記憶を持つ人も多い。日本一といわれる蜂須賀農場があり、また、大正末年から昭和初期にかけて、全国の注目を集めた大小作

争議があったからである。同農場は他町村にもまたがり面積は六千、小作農家数は約千戸、最盛期は年貢米が一萬石あり、昔一萬石の大名でも四六六民で手取り四千石だからその豪勢さがしのばれる。昭和初年村予算が四万一千余円だったのに対し、農場予算はその二倍を超える九



### 尾瀬を凌ぐ高層大湿原 珍しい動・植物の宝庫



暑寒別道立自然公園雨竜沼の浮き島

町の面積は百九十一平方、一口にいて米作オンリーの農業の町である。石狩川、雨竜川初め町内を流れる恵倍別川、尾白利加川流域には平坦、豊かな耕地が広がり、農地三千三百のうちの九五%が水田で、これらを中心に農業総生産は四十二億円にものぼっている。このほか、製造業生産が三億八千万円、商業販売額約三十億円、これが町経済の支えになっている。

町施策の重点は基幹産業の農業の基盤整備と福祉、教育環境の充実。福祉関係では着々と施設も整い、教育面では学校統合でいち早く一町一小学校、一中学校を実現し、集中投資

により近代校舎と立派な設備を誇っている。また、農業基盤整備では二、三年だけでも川上、南竜、豊里、尾白利加、牧岡北、北伏古の区画整理、暗きよ、かん排、客土事業などを矢つぎ早に完成、現在道営事業で州本地区七百二十の総合農地開発、渭津地区三百五十の区画整

理が進められ、さらに川上地区五百の農地開発が計画されている。

しかし、これに水を差しているのが一段と厳しくなった米の生産調整。本年の町への休耕割り当ては全水田面積の二〇%の六百四十のぼり、水稲栽培一色のところだけに町全体を深刻にしている。町は生産対策会議を設け、対応策に頭を痛めているが、なかなか名案も浮ばない。また、この町では雨竜沼を中心とする暑寒別道立自然公園の存在を忘れることが出来ない。同公園は暑寒別岳を囲み、雨竜、増毛両町にまたがるが、本町側のペンケベタン溪谷沿いに登るのが正規のルート。沼は標高九百の溶岩台地に発達した南北二、東西一・八の高層湿原で大小百数十の池と（塘）が散在し、規模は尾瀬（群馬県）以上とされる。道の天然記念物にも指定されている。沼周囲には高山植物が咲き乱れ、珍しい高山チョウ類も多い。交通の便が悪いため登山者は余り多くないが、その道の人からは動植物の宝庫、道内第一級の秘境としての評価が高い。池は数層で隣り合っているがそれぞれ水位が違うのが不思議なところ、中には浮き島を持つものもある。

## 私たちの町村

# 私たちの町村

名寄市北隣の国鉄宗谷本線沿いの町。ここが北見枝幸への美幸線の起点になっている。しかし、この線、利用者が少なく、日本一の赤字線である。全長約七十九キロのうち現在開通しているのは町内仁宇府までの二十一キロだけで、行き止まりなうえ沿線戸数が五百戸ほどしかないことに

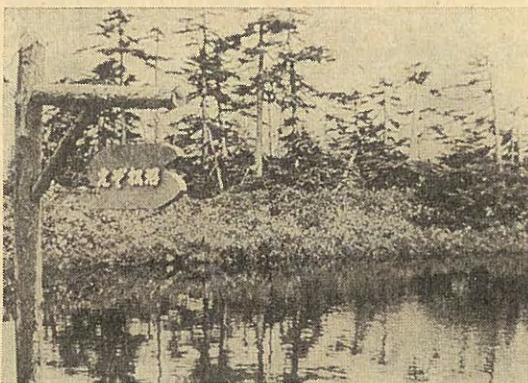
## 美深町



長谷部秀見美深町長

よるもの。思わぬ汚名に長谷部町長は「全通すれば歌登、枝幸との往来も盛んになるのに」ときびきびとみたが、これを逆手にとり「日本一の赤字線に乗って道北の秘境びふか松山湿原へ」と大宣伝、まんまと図にあたって一昨年の湿原祭りには全国から六千人が集まり、開町以来のにぎわいとなった。この結果、一気に四位に上昇、「日本一」の売物はな

## 日本一の赤字線を売り出す 秘境と湿原



自然の静寂をたたえる松山湿原

くなつたが、今年は「日本一赤字線脱出記念びふか松山湿原祭り」を開くと意気盛んなところをみせている。過疎に悩む町のアイデアと心意

中の松山湿原は仁宇府駅から南七キロほどの高さ七九七級の松山山頂付近に広がる高層湿原、数々の高山植物のほか、盆栽のようなアカエゾマツ、ダケカンバが目を楽しませ、道の学術自然保護区にも指定されている。近くには雨霧、女神、激流、不老、長寿の滝、風穴など秘境ならではの景勝も多い。

町の歴史では安政四年松浦武四郎が天塩川を遡り、このあたりを探検しているが、開拓のクワが下ろされたのは遅く、明治三十二年富山県人平喜三郎が入植したのが始まりとされている。しかし、先住民の足跡は古く

まれた盆地。このため冬は寒波がこもり、道内でも最も寒い地帯とされているが、半面、夏は比較的気温が高く、内陸での大規模水稲栽培の北限になっていく。耕地面積は四千九百畝で、うち千六百六十畝が水田、あと飼料作物・牧草二千三百畝、ジャガイモ六百九十畝などが主なもの。ほかに乳牛三千三百頭で約八千トの生乳を出し、これらを含め農業生産は約三十億円となっている。また、全町の八割が森林で五百八十万立方畝という豊かな木材蓄積を持つため林業、製材業が盛んで、従業員四百六十人を有する天塩川木材もあり、製造業の総生産額は六十億円に達している。

町政は産業、生産環境の整備、教育、特に幼児教育の充実の三つを柱にしているが、農業では米の生産調整で栽培面積の七五%にあたる千二百畝が休耕対象にされ、水稲栽培の北限地だけに国の風当たりも強く、安楽死の一步前と四苦八苦。一方、商工振興面では町人口が減っているのに商店数が減らず、このアンバランスが頭の痛いタネとなっている。このため「タバコは町内で買いたしよ」に並べて「買物物は町内の店で

町は雨竜の山並みと天塩山脈に挟

また、赤字線とセットで売り出し

## Question and Answer

QアンドAー。これは会員や読者の質問に対する回答のページです。  
北方圏に関することは、最近次第にわかってきましたが、それでもまだ不明な点が多いようです。本誌はそうした疑問や問い合わせに応じ、できるだけ皆様のご期待にそいたいと考えております。産業、経済、文化、学術なんでも結構です。

### マンモスハンターについて

よくマンモスハンターという言葉が聞かれます。これらの人はシベリアから北海道にも来た(?)といいますが、シベリアの古代人はマンモスとどんな関係を持っていたのですか。

〔答〕マンモスはヨーロッパからシベリア、中国北部、カナダ、北アメリカのほか、北海道からも化石が発見されており、特にシベリアでは氷づけのミイラもたくさん出土しています。そして、古代人とは深い

かわりあいを持っていました。スペインのアルタミラにはマンモスの絵を描いた洞くつがあり、また、シベリアではマンモスの姿を彫り込んだマンモスの牙もみつかっています。盛んにその狩りも行われまし

あたり、先に述べたアルタミラの洞くつ壁画は同最後のマドレーヌ文化期のものといわれます。

事実、チェコスロバキアのプシェドモストからは幼獣も含め約千頭分のマンモスの骨が出ています。ここは春と秋の二回、ウクライナ平原とオーストリア低地の間を移動したマンモスの通り道とされ、この移動を待ちうけて集団で狩ったところと考えられています。また、ウクライナのメジリチ遺跡では全部で百十六頭分のマンモスの骨が出、中には九十

その半分、一日一人一き食べるとして五十人が五十日から二十日間生きながら食料になります。同時に、皮も大きく、住居の天幕への利用価値が高かったことも見逃せないでしょう。集団で湿地帯に追い込んだり、ガケから追い落とし、投げやりで殺したようです。

た。いわゆるマンモスハンターの活躍です。

そのマンモスが姿を消したのは気候変化、これに伴う植生などの自然環境の変化やマンモスハンターの活躍が原因とされています。気候的にはブルム氷期末で、この時代、生息地のツンドラステップ地帯は新たに発生した森林によって南北に分断、マンモスの群れも北と南に分断され、北の群れは南に帰る道を失う

一方、体の構造が冬の深雪に対し無力だったことが死滅を早めたといわれます。これに狩猟圧が加わったわけで、同時期ユーラシア大陸北部ではマンモスのほか、毛サイ、サイガ(ヨーロッパ部)など大型獣や群生獣が大量に殺され、絶滅してしま

居の壁代わりに使った例があり、さらにシベリアでは二十カ所を超える遺跡からマンモスの骨と牙製の遺物が発掘されています。有名なマルタ遺跡では九頭の骨を壁の骨組みに使用、牙から作ったボタン、ハリ、ナイフなど多数の日用品もみつかっています。

また、マンモスはステップ性のト

シベリアのこれら住居跡は大体北緯四〇度から五五度の間に分布し、人類の文化史の上では旧石器時代に

また、マンモスはステップ性のト

ロコンデリ象から進化したもので、シベリア各地から氷づけの形で発見されるのはヨーロッパのより小型で、体高三一・三・五センチ前後で、炭素C14の年代測定によると四万年代、三万年代、一万年代の三つのグループに分かれるそうです。

◆ルーン文字について

— 北歐関係の本を読んでいると、必ずルーン文字の写真が出てきますが、どんな性格の文字ですか。

〔答〕 ゲルマン民族が考え出した文字で、一世紀ころ、特に三世紀以降十四世紀までノルウェー、スウェーデン、デンマークなどスカンジナビア諸国を中心に一部イギリス、ルーマでも使われました。

その起原はギリシア文字、ローマ字、エルトリア文字由来など様々な説がありますが、一番初め使ったのはボヘミア地方にいた中東ゴート族とされ、文字数は当初二十四、アングロ・フリースランドで二十八、十三、次いでノルウェー、スウェーデンで十六、最後二十三字になったといわれます。

字体はすべて直線的で、書き方は左から横書き(時に右書き、中には一行ごと方向を変えたものもある)

る)の特徴を持っています。

今も各地に石に彫られた貴人の墓碑銘や槍、刀剣、指輪に刻まれたものが残っていますが、ルーンは秘密の意味で、神秘、魔術的な力を付与するため主に宗教や呪術、予言に使われたとされています。従って、また、初期には墓誌なども極めて短かく、史料、記録としての意味は薄いようです。

しかし、北歐の精神文化に大きな影響を与えたこの文字も、キリスト教文化、ラテン文字の普及とともに消滅しました。でも、実用的意味とは別にスウェーデンではかなり後まで装飾的に使われました。

写真は The Vikings and their

Origins, THAMES & HUDSON LONDON, 1970 から



ルーン文字の碑

◆ソ連の地名について

— ソ連にはよくペトロパブロフス

ク・ナ・カチムヤトケ、コムソモリスク・ナ・アムールのように「ナ」のついた地名がありますが、どういう意味ですか。

〔答〕 「ナ」は「：」の上に「：

「：」にある「：」の意で、ペトロパブロフスク・ナ・カムチャトケはカムチャッカにあるペトロパブロフスクの意味になります。ペトロパブロフスクはカザフ共和国イシム川流域初め各地にあるためカムチャトカのと断っているわけで、北海道でただ「モンベツ」「エサシ」といってもわかりにくい「北見紋別」「日高門別」「北見枝幸」「渡島江差」と頭に国名をつけ区別しているのと同じです。コムソモリスク・ナ・アムール、ニコラエフスク・ナ・アムールも同じいい方ですが、「ナ」という前置詞は次に来る言葉に前置格の語尾を要求するためカムチャトカがカムチャトケ、アムールがアムールに変わります。ほかに、ペトロパブロフスク・ナ・カムチャトケはペトロパブロフスク・カムチャッキーのいい方もあり、カムチャッキーは「カムチャトカ」という形容詞です。

なお、つけ加えますと地域、地方を表すのによく「ザ」「プリエド」「プ」などの語が使われます。い

ずれも接頭語ですが、うち「ザ」は「：向う」「：以遠の」「：の彼方」の意味で、ザバイカリエはバイカル以東の地、ザフカズィエは外コーカサス、ザボルジエはボルガ川の左岸の土地、ザウラリエはウラル以東の地、ウラルの彼方となります。ヨーロッパ・ロシアからみて「：の外」「：より以遠」を表し、英語の「トランス」と同じです。

「ザ」に対応するのが「プリエド」で、これは「：の前」の意です。プリエドウラリエはウラル山脈に接した西の地、プリエドカフカズィエは内コーカサスです。

「プリ」は「：に近接した」「：に接した」を示し、プリモリーエ海岸地、固有名詞では極東日本海沿いの沿海地方)プリバイカリエ(バイカル湖沿岸地)プリアムーリエ(アムール川沿岸地)ドネエプロビエ(ドネエ川沿岸地)プリバルチカ(バルチック海沿岸地)初め多数の語があります。

「パ」も「：に沿った」ですが、パボルジエのようにボルガ川「流域地方」となります。

北方 重要日誌

☆ 一月 ☆

2日(月)▽中国が低賃金労働者を中心に賃金十数%をアップ。査定には「労働に応じた配分」原則を適用した。  
4日(水)▽米連邦準備制度理事会は公定歩合を、ドル防衛策強化のため公定歩合を年六%から六・五%に引き上げると発表。  
9日(月)▽中国は頭脳導入のため米国籍中国人科学者二百人を招聘、基礎科学の飛躍的発展をはかる計画を明らかにする▽日ソ外相会議で園田外相がグロムイコ・ソ連外相と会談、北方領土四島一括返還の平和条約構想に対し、グロムイコ外相は「領土問題は解決済み」と拒否し、善隣協力条約草案を示す。この結果、共同コミュニケーションは発表出来なかった。  
10日(火)▽ソ連が二人乗り有人宇宙船ソユーズ27号を打ち上げ、十一日宇宙科学ステーション・サリュート6号とドッキング。同ステーションは12月10日打ち上げの二人乗りのソユ

ズ26号と三連結になった。

13日(金)▽日米通商協

議が終了、日米経済紛争が一応決着した。共同声明は日米両国は保護貿易主義台頭を抑えるため協力する、日本は経常収支の均衡化に努力する、日本は五十四年度の實質経済成長七%達成に努力するなどが骨子。  
19日(木)▽カーター米大統領が上下両院合同本会議で一般教書を発表。景気回復のため二百五十億の減税、エネルギー法案の推進、インフレ率の引き下げなど経済重視の内政強化を力説する。  
20日(金)▽ソ連が新型無人宇宙船プログレス1号を打ち上げた。科学ステーション・サリュート6号に燃料、食料の補給が目的。  
23日(月)▽カーター米大統領が前年比八・二%増、総額五千億にのぼる七九会計年度の予算教書を議会に提出した。最重要のエネルギー関係費は二二・九%増、国防費は九・四%それぞれ増▽訪日中のジャクソン・カナダ外相が日加原子力協定の設定交渉妥結に伴い、

☆ 二月 ☆

1日(水)▽オランダ保健省がイスラエルから輸入した水銀入りオレンジを食べた子供五人が入院中と発表。西独でも水銀を検出した。  
3日(金)▽ジュネーヴ西独首相は秘密盗聴事件で辞表を出したレーバー国防相を更迭し、後任にアベル蔵相を任命、六閣僚を入れ替えた。  
12日(月)▽NATO軍が一種の中性子爆弾を保有していると発表、これに関連しソ連は「西側に中性子爆弾を開発するな」とソ連は米が原子力爆弾を造った時と同じことをしなければならぬ」と論評。  
13日(月)▽日本とE.C.共同の貿易不均衡是正のための通商事務レベル協議が始まり、E.C.はエアパス購入を含む七項目の対日要求を出したが、協議は不調に終わった。  
14日(火)▽国連宇宙平和利用委員会科学技術小委員、ソ連代表は原子炉衛星

の落下に関し、衛星の安全性を検討する特別作業部会の設置、宇宙での原子力利用規制に反対し、日本、カナダ提案を拒否。

16日(木)▽モスクワで行われている日ソ漁業協定交渉で、ソ連はサケ・マスに關し日本の二百海里も含む海域では全面漁獲禁止を提案▽日中長期貿易取り決めがまとまり、八年間往復二百億の貿易が調印された。

22日(水)▽ポリヤンスキー・駐日ソ連大使が日ソ善隣条約締結を求めるブレジネフ・ソ連共産党書記長の親書を福田首相に手渡す。同条約草案は二十三日ソ連政府機関紙「イズベスチヤ」に公表されたが、日本側は「北方領土問題が先決」と不問にした。  
24日(金)▽全中国人の統一強化を目ざす中国人民政治協商会議全国委員会が開かれ、鄧小平副首相が議長団の筆頭として司会、台湾解放による祖国統一などを強調。

28日(火)▽マンズフィールド駐日米大使は福田首相を訪ね、五月三日ワシントンで日ソ首脳者会談の開催に同意を伝える。

☆ 三月 ☆

1日(水)▽ソ連が消費物資の価格変更を発表。ガソリンは二倍、乗用車と部品は三五%のほか、コーヒも値上げされた。半面、化学繊維製品は値下げ▽大

蔵省発表の二月末外貨準備高は二百四十一億八千七百

万円で、一月末より八億一

千二百万円増え、史上最高▽ブレジネフ・ソ連共産党書記長補佐官はソ連の「アフリカ」の角、紛争の介入に対し第二次米ソ戦略兵器制限交渉に悪影響と警告。  
3日(金)▽ソ連が日本の日本海サケ・マス漁に對し、中止を申し入れた▽ソ連最高幹部会議が二十六日から開催中の中国全国人民代表者大会第五期第一回會議に両国正常化會談提案のメッセージを送った。  
4日(土)▽ソ連の軌道科学ステーション・サリュート6号のロマンコンコ、グレトコ両飛行士の通算飛行が八十四日間となり、米国の記録を更新。  
5日(日)▽中国全国人民代表大会第五期第一回會議が憲法、新国歌歌詞を採択して終了。首相に華国峰主席の留任を決め、全人代常務委員長に葉劍英副主席、同副委員長に廖承志氏、副首相に鄧小平副主席ら十三人を選出。  
6日(月)▽中国が國民經濟發展十年計を發表した。一九八五年の穀物生産四億ト(伸び率年四・一%)、粗鋼生産六千万ト(同一%)などが骨子▽カーター米大統領はタフト・ハートレー法に基づき、昨年十二月から続いている石炭産業二業に對し、米連邦裁判所に中止命令を求めると続きを開始。

編集後記

☆皆さまに親しまれてきた社団法人・北方圏調査会が北方圏構想推進の総合機関「北方圏センター」として新発足した。この関係記事掲載のため本誌発行を若干延ばしたことをお詫びします。

☆新しい試みとして「北方圏各地だより」を始めた。北方圏各地の実情紹介のため、現地在



**表紙せつめい**

世界で一番新しいフロンティア「カナダ」。世界中から集まった人々が一緒になってつくり上げた若い国である。雄大な自然美と、はかり知れない資源に恵まれた大地の上に山脈が高くそびえ立っている。カナディアン・ロック

その美しい自然の中を、オオンカやブラウンベアが、また湖や山あいの流れにはニジマス、カワマスが人のケも知らずに生き続けている。

写真は、エメラルド色の水をたたえた「ペイトー湖」である。シースンには、アメリカをはじめ日本などからの観光客でにぎわう。

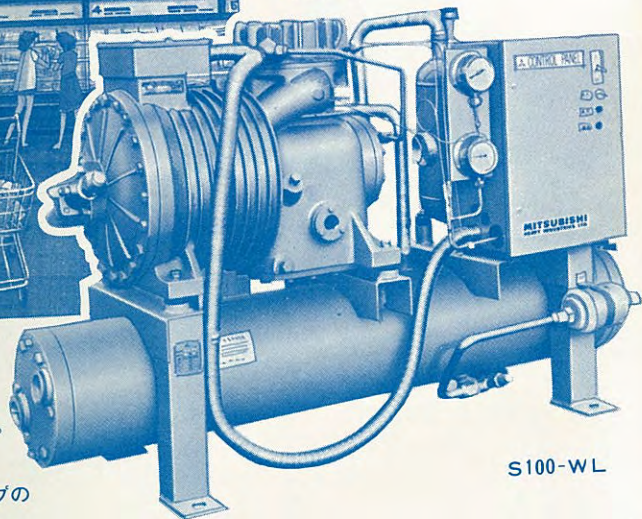
省エネルギーを追求する



信頼の三菱がまた放つ!

3冷媒共用タイプ!! (G12・R22・R502)  
**三菱ダイヤ小形半密閉冷凍機**  
**S形シリーズ** (3・5・8・10馬力)

新発売



S100-WL

みなさまのご愛用をいただいている三菱ダイヤ小形冷凍機に、新しく「Sシリーズ」が加わりました。みなさまのご要望におこたえた3冷媒(R-12、R-22、R502)共用タイプの新機種です。

特長

- 用途に応じて3冷媒を使い分け、低温用から高温用まで広範囲に使用することができます。
- 小形・軽量だから狭い場所にも最適です。
- 入念な防音対策で運転音が気になりません。
- 電装箱内に除霜ヒータ用電磁接触器、除霜タイマー等の内蔵スペースが広くとってあります。
- 各種の保護装置を完備、安全性・信頼性の高い冷凍機です。

【特約販売店】

- ダイヤ冷暖工業株式会社 TEL011-823-0001
- 株式会社東洋製作所 札幌営業所 TEL011-742-2261
- 株式会社東京三冷社 北海道支店 TEL011-231-7552
- 三菱機器販売株式会社 北海道支社 TEL011-742-8111
- 三菱冷熱工業株式会社 札幌営業所 TEL011-221-2505
- 菱和調温工業株式会社 札幌営業所 TEL011-643-5120

**三菱重工業株式会社**

●本社冷熱事業本部 / 〒100東京都千代田区丸の内2の5の1 ☎(03)212-3111  
 ●札幌営業所 / 〒050札幌市中央区北2条西4丁目4の1 ☎(011)261-1541

ラインによる天然ガス導入計画の成否にも関係するため、その見通しと今後の課題をまとめてみた。

☆特集では旭川で開いた「北方圏セミナー」を掲載した。北方圏構想と私たちの住む地域社会や生活とのかかわりを知る参考になれば幸いである。

**北方圏 (第23号)**

一九七八年五月十日発行  
 (年四回発行)  
 定価 三〇〇円  
 (送料二〇円)

発行所 札幌市中央区北四  
 条西七丁目 札幌  
 ホワイトビル

社団法人 北方圏センター  
 電話 〇七 7840

編集 宮 嶋 勲  
 発行人 大日本印刷(株)  
 印刷所 大日本印刷(株)

本誌をご購読される方は年契約にすれば割安になりますので、郵便振替をご利用下さい。

一カ年 一、五〇〇円 (送料とも)  
 振替口座 小梅一八七六四

会員募集

北方圏センター(会長・東条猛猪)は広く会員を募集しています。北国北海道にふさわしい生活文化、産業社会を築きあげるため、情熱を持った各界各層の方々への入会をお待ちしています。

(目的) 北方圏センターは、北海道と北方圏諸国との経済、文化、学術等の交流を積極的に推進し、日本経済、文化、学術の発展振興に寄与するとともに、北海道の開発、繁栄に貢献することを目的としています。

(事業) 一、北方圏に関する調査研究 二、北方圏に関する研究の奨励 三、北方圏に関する講演会、研究会、展示会、講習会等の開催 四、北方圏に関する情報及び資料の作成、収集、提供、交換並びに整備 五、北方圏に関する図書、雑誌その他の刊行 六、北方圏に関する意見の交換及び具申 七、北方圏諸国への視察団派遣及び交流 八、その他この法人の目的達成に必要な事業。

(会費) 北方圏センターの目的及び事業に賛同する法人、団体、個人で組織しています。

(年会費) 法人及び団体の年会費は二〇以上(一〇一万円)個人年会費は一〇以上(一〇五千元)です。右の趣旨にご賛同の方の入会を歓迎しております。

ご希望の方は、本センターにご連絡いただけます。申込書及び必要な書類をお送りいたします。

社団法人 北方圏センター

最近、環境保全の問題がクローズアップされている中で、緑に対する関心も急速に高まっています。

住民が豊かで明るい生活を営むため、都市や周辺地域の緑化を推進し、森林資源を守り育てていくことが必要です。

道では、「この緑、未来を築き夢いっぱい」を合言葉に、北海道緑化推進委員会を中心として、国や関係機関と連携をとりながら、53年度の緑化運動を推進します。

北海道

# 緑豊かな北海道をめざす。

